

平成 2 4 年度
神戸大学附属図書館年次報告

平成 2 5 年 8 月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

＊附属図書館ホームページ掲載＊

<http://lib.kobe-u.ac.jp/www/>

平成24年度神戸大学附属図書館年次報告

1. 達成度評価

- (1) 達成度評価特記事項 p. 1
- (2) 達成度評価表 p. 3

2. 学習・教育支援

- (1) 開館サービス p. 6
- (2) 学生用資料整備 p. 8
- (3) 資料提供サービス p. 9
- (4) 情報リテラシー教育の推進支援 p. 12
- (5) 設備・機器の整備 p. 15

3. 学術研究支援

- (1) 研究用資料の整備 p. 18
- (2) 電子的情報基盤の整備 p. 20
- (3) 蔵書目録データベースの整備 p. 24
- (4) 資料の保存 p. 26
- (5) その他の研究支援サービス p. 27

4. 社会連携・情報発信

- (1) 一般市民への資料提供サービス p. 28
- (2) 震災文庫 p. 30
- (3) 電子図書館システムによる情報発信 p. 31
- (4) 機関リポジトリによる情報発信 p. 33
- (5) 国際連携 p. 35
- (6) 大学文書史料室 p. 36

5. 管理運営等

- (1) 図書館組織と運営 p. 43
- (2) 事務組織と人事管理 p. 44
- (3) 予算及び財務会計業務 p. 48
- (4) 施設整備・システム整備 p. 50
- (5) 図書館界での諸活動 p. 52

<付録>

基本統計表 p. 54

蔵書・受入等の現況（各館室別）

サービス業務の現況（各館室別）

電子的情報サービスの現況

図書館組織図・事務組織図 p. 58

附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿） p. 59

附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費） p. 67

附属図書館活動日誌 p. 69

1. 達成度評価

(1) 達成度評価特記事項

項 目	「業務運営の改善及び効率化」
特記事項	該当なし
項 目	「財務内容の改善」
特記事項	該当なし
項 目	「自己点検・評価及び情報提供」
特記事項	《利用者ニーズ・満足度調査及び年次報告書による自己点検評価》 【取組内容】 ・利用者ニーズや利用者満足度を測るため、「館長と学生との懇談会」を実施。 ・自己点検評価を含めた「平成23年度神戸大学附属図書館年次報告書」を発行し、ホームページで公開。 【成果・効果】 ・利用者の意見を聞き、図書館サービスの向上や資料整備、利用者の環境整備に役立てることができた。 ・「平成23年度神戸大学附属図書館年次報告書」発行により、附属図書館の組織や活動全般について網羅的に点検・評価を行うことができた。
項 目	「その他業務運営」
特記事項	《施設・設備等の整備》 【取組内容】 ・人文科学図書館の建物改修に伴い、全面的な配置の見直し、入退館システム導入、ラーニングコモンズ設置、集密書架・木金混合書架新設等、学習環境の改善を実施。 ・障害学生学習支援設備経費(4,701千円)により車椅子用電動昇降式キャレルデスク(10台)、拡大読書器(9台)及び椅子(19脚)を各館室に設置。 ・障害学生教育強化支援経費(1,117千円)により海事科学分館の障害者用トイレ扉等改修。 ・海事科学分館の玄関前スロープの拡幅改修。 【成果・効果】 ・人文科学図書館の学習環境が改善でき、利用者サービスが向上した。 ・車椅子用キャレルや拡大読書器の設備充実、海事科学分館の玄関前スロープや障害者用トイレの施設整備により、障害者サービスが向上した。
項 目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	《教育基盤環境の充実》 【取組内容】 ・神戸大学で初めてとなる附属図書館ラーニングコモンズを人文科学図書館に設置。 ・情報基盤センター等と連携して神戸大学ラーニングコモンズWGの活動を実施。 ・大学図書館電子学術書共同実証実験(電子書籍)への参加。 ・オンラインサービスを拡充した(モバイルOPAC、及び統合検索)。 ・グローバル人材育成推進事業によるグローバル関係図書を全館室に配置。 【成果・効果】 ・新たな学習支援の場となるラーニングコモンズが人文科学図書館に整備でき、学生の共同学習を支援することが可能となった。またこれは、神戸大学ラーニングコモンズWGで検討されている施設整備のモデルとなるものである。 《情報リテラシー教育》 【取組内容】 ・昨年度大好評であった研究者支援のためのWorkshopを実施。シュプリンガー・ジャパン株式会社と共催で「若手研究者のための英語論文セミナー―執筆と国際誌投稿のノウハウをつかもう!―」を企画・開催。(日程:平成24年12月18日、会場:神戸大学六甲ホール、参加者数:108名) 【成果・効果】 ・これから研究成果を発表しようとしている大学院生・若手研究者等から2年続けて大きな支持を得たことから、図書館の教育研究支援として、これまでの学習レベルの支援から一歩進んで、研究レベルの支援活動の道を開くものとなった。

項 目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	《教育研究基盤資料の充実》 【取組内容】 ・全学経費(1.5億)及び間接経費(1.33億)により、2012年電子ジャーナル(18,029誌)及びデータベース(32種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施した。平成25年度教育研究基盤資料の維持・整備について、値上げ及び為替変動による価格高騰に対して、予測を立てて対応策を、実施していく予定。
	【成果・効果】 ・全学的な教育研究基盤資料である電子ジャーナルや情報データベース等を計画的・安定的に提供することができた。
	《展示会による資料公開》 【取組内容】 ・附属図書館資料展「開学のころ ～110 Years Ago～」(社会科学系図書館)開催期間中の社会科学系図書館来館者数47,408名 ・資料展パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数415名
	【成果・効果】 ・附属図書館の所蔵資料を公開する展示会開催は、一般市民の生涯学習を支援すると共に、附属図書館の存在意義を示す積極的な広報活動となった。
	《大学文書史料室の活動》 【取組内容】 ・第2期中期計画における神戸大学法人文書の移管実施計画を策定。 ・神戸大学文書管理者研修を実施(総務部総務課との共催)。 ・国登録有形文化財である六甲台本館・兼松記念館・社会科学系図書館の案内パンフレット原稿3点を作成。 ・国立公文書館に類する施設としてわが国最初の政令指定を受けた国立大学法人6校の一つであるため後継諸大学のモデルケースとして全国的に注目され、平成24年度は他大学等20機関の教職員81名の見学希望者を受入れた。 ・創立110周年を記念して、神戸大学史特別展「神戸大学110年の歩み」(百年記念館、入場者数559名)及びパネル巡回展(①神戸大学アカデミア館、入場者数548名、②神戸大学東京六甲クラブ、入場者数1,732名)をそれぞれ開催。
	【成果・効果】 ・古い神戸大学法人文書の計画的な遡及移管が可能となった。 ・適正な文書管理のあり方について本学職員に対する理解の浸透に寄与した。 ・本学の代表的な歴史的建築物3館の一般公開及び広報に寄与した。 ・政令指定をめざす後継の他大学に情報提供等の支援を行うことができた。 ・神戸大学史の展示を通じて、一般市民に本学への理解を深める機会を提供するとともに、本学学生及び教職員に対するアイデンティティ確立の一助となった。
	《「震災文庫」の活動:被災地支援》 【取組内容】 ・震災文庫と国会図書館の東日本大震災アーカイブシステムとの連携を実施。 ・人文学研究科地域連携センターと連携し、岩手大学・岩手県立図書館において、東日本大震災資料の収集・公開等に関して意見交換を実施。 ・「被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」(平成25年3月8日、人文学研究科地域連携センター主催、附属図書館共催 参加者数27名)を開催。 【成果・効果】 災害復興や地震研究・防災対策のため、阪神淡路大震災における震災関係資料の収集・保存・公開を実施している「震災文庫」の資料の提供、及び被災地関連機関への活動方法の解説・指導等を通じて、東日本大震災の被災地支援が実施できた。

(2) 達成度評価表

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2) 教育の実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点としてふさわしい、充実した教育を実施するための教育実施体制を強化する。 ・明確な責任体制の下、大学として必要な教育基盤環境を充実させる。	・附属図書館において施設・設備等の計画的な充実を図る。(H22-27)	IV	○施設・設備等の整備について ・障害学生学習支援設備経費(4,701,000円)により車椅子用電動昇降式キャレデスク(10台)、拡大読書器(9台)及び椅子(19脚)を各館室に設置。 ・防犯カメラ等修理。(総合・国際文化図書館、医学分館) ・トイレ照明を感知式に更新。(自然科学系図書館) ・非常口サインを整備。(保健科学図書室) ・書庫内警報ブザー設置。(海事科学分館) ・障害学生教育強化支援経費(1,117,000円)により障害者用トイレ等改修。(海事科学分館) ・玄関前スロープの拡幅改修。(海事科学分館) ・自動貸出返却装置の更新。(海事科学分館) ・グループ学習室整備。(海事科学分館) ・空調機整備(自然科学系図書館、海事科学分館、経済経営研究所)、空調機修理(海事科学分館) ・エコ推進事業による照明設備更新。(保健科学図書室、海事科学分館) ○人文科学図書館改修に伴う整備。 ・入退館管理システム導入。 ・ラーニングコモンズ(A棟南)設置。 ・集密書架(C棟1階南・2階北)新設。 ・木金混合書架(C棟1階北)新設。
	・附属図書館では、利用者の自学自習環境の充実に向けて、閲覧スペース及び収蔵スペースの拡充を図る。また、資料の有効活用を図るため、図書目録選及入力を推進する。(H22-27) ・同じく、自学自習環境の充実のため、平日及び休日の開館時間の延長等サービスの向上を図る。(H22-24) ・開館時間の延長等の結果、サービスの向上に効果があったかどうかを、利用統計やアンケート調査結果等により点検し、必要に応じて見直しや改善を図る。(H25-27)	IV	○重点項目 ・情報基盤センター、学務部等と連携して、神戸大学ラーニング・コモンズワーキンググループを立ち上げ、今後設置されるもの、及び既存の自習施設の機能を一定レベルで整備し連携させるとい、神戸大学スタイルのラーニングコモンズの整備基準の検討を行った。 ・神戸大学ラーニング・コモンズワーキンググループにおいて検討されている整備基準を取り入れて、神戸大学で初めてとなる附属図書館ラーニングコモンズを人文科学図書館に設置した。 ・大学図書館電子学術書共同実証実験(電子書籍)への参加。 ・オンラインサービスを拡充した(モバイルOPAC、及び統合検索)。 ・グローバル人材育成推進事業によるグローバル関係図書を全館室に配置。 ・エコ推進事業による照明設備更新。(保健科学図書室、海事科学分館) ○学習環境の改善について ・人文科学図書館の建物改修に伴い、全面的な配置の見直し、入退館システム導入、ラーニングコモンズ設置、集密書架・木金混合書架新設等、学習環境の改善を実施。 ・神戸大学ラーニングコモンズWGにより、全学の自習施設のあり方を検討。 ・図書目録選及入力35,000冊(予定数：外部委託20,000冊【自然科学系図書館、人間科学図書館】、館員入力15,000冊)を対象として実施。平成24年度選及入力数：37,762冊 【外部委託入力数：自然科学系図書館洋書6,576冊、和書3,065冊、人間科学図書館和書10,569冊】 【職員入力数：研究室返却資料等17,552冊】 ・4月より平日の開館時間を午後8時から9時に延長。(保健科学図書室) ・昨年度、デリバリーサービスを六甲台キャンパスの学部学生に拡大し、2.7倍の利用となった。更に今年度、「どこでも返却サービス」開始。 ・社会科学系図書館リフレッシュルームを試行設置。 ・新着図書コーナー整備。(人間科学図書館) ・図書館公式ツイッターを開設し、図書館からの緊急連絡・ガイダンス等の情報提供を開始。 ・生協による学生への携帯配信を利用した広報を継続。 ・OPACの機能向上や拡充された各種サービスのMy Libraryにおける一元的提供などにより、資料利用の利便性向上を図っている。 ・統合検索サービスにより、利用者を多くの情報源にナビゲートする機能提供を開始。 ・学生のモバイル指向に対応するため携帯版OPACサービス及びスマートフォン版OPACサービス開始。 ・Web及び自動貸出装置による貸出期間延長サービス開始。 ・「館長と学生との懇談会」実施。 ・「学生選書ツアー」による学生用資料充実。
(3) 学生への支援に関する目標 ○学生に対する修学支援、生活支援、キャリア形成支援等を充実させる。 ・修学支援を充実させるため、学習相談をはじめとした支援体制を点検・評価し、改善する。	・附属図書館において、情報リテラシー教育を支援するため、全学共通授業科目「情報基礎」での授業支援活動や対象者・分野を考慮したきめ細かなデータベース講習会及び図書館ガイダンス等を実施する。(H22-27)	III	・全学共通1年次必修授業科目「情報基礎」において、1コマ(90分)を、附属図書館各館室の職員で構成する「情報リテラシー教育支援WG」のメンバーが担当し延べ23回授業を実施。全クラス2,679名が受講。 ・新入生を対象とした図書館ツアー・ガイダンス、留学生オリエンテーション、雑誌論文の探し方ガイダンス、専門講師によるデータベース操作説明会、教員等からの要望にもとづくオーダーメイドガイダンス等を実施。(計147回、1,938名参加) ・平成23年度大好評であった研究者支援のためのWorkshopを実施。シュブリンガー・ジャパン株式会社と共催で「若手研究者のための英語論文セミナー」執筆と国際誌投稿のノウハウをつかもう!」を企画・開催。(日程：12月18日、会場：神戸大学六甲ホール、参加者数：108名)。 ・国際コミュニケーションセンターと語学学修支援に向けた連携について検討し、広報活動に関する協力を実施した。
2 研究に関する目標 (2) 研究実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点として、卓越した研究成果を創出するための研究実施体制等を充実させる。 ・研究者の自律性を尊重し、それぞれの学術領域における研究が発展し得るよう、大学として必要な研究基盤環境を整備する。	・附属図書館は、全学的な教育研究基盤資料である電子ジャーナルや情報データベース等を計画的・安定的に提供する。(H22-27)	III	・全学経費(1.5億)及び間接経費(1.33億)により、2012年電子ジャーナル(18,029誌)及びデータベース(32種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施。 ・平成25年度教育研究基盤資料の維持・整備について、値上げ及び為替変動による価格高騰に対して、予測を立てて対応策を、実施していく予定。
	・附属図書館は、外国雑誌センター館機能を持つ人文・社会科学系分野の拠点図書館として、全国共同利用の観点から資料収集を進めるとともに、利用サービスの改善を図る。(H22-27)	III	・外国雑誌センター館として国内未収集の外国雑誌928誌を収集・整理し、全国に文献複写等の情報サービスを提供。 ・学内外の利用者への迅速な雑誌所蔵情報提供のために、国立情報学研究所全国総合目録データベースへのデータ更新を実施。 ・全国の外国雑誌センター館(9館)で電子的資料を対象とするよう資料収集方針を改正した。
	・附属図書館では、本学が所蔵する知的資源や学術成果のデジタル化を推進する。その一環として「神戸大学学術成果リポジトリ」のコンテンツの充実を図り、国内外の各種情報ポータル等への情報提供を行うことにより、学内研究成果の発信に寄与する。(H23-27)	III	・「神戸大学学術成果リポジトリ」として、コンテンツの充実を図った。(総件数：17,279件、年間ダウンロード数：715,791件) ・学位論文(博士)については、25年度からの学位規則の改正に対応するため、収集・管理体制の検討を行った。(登録総数：1,130件) ・ニュースレター「Kernel通信」を年2回発行し、広報を実施。

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
3 その他の目標 (2) 社会との連携や社会貢献に関する目標 ○国立大学の公的な役割を踏まえ、教育研究成果の社会還元を通じて、積極的な社会貢献を行う。 ・大学の施設・設備の開放、知的資産及び授業の公開等を推進し、地域社会の発展に寄与する。	・附属図書館では、図書館資料を公開する展示会を開催するなど、一般市民の生涯学習を支援し、地域社会への貢献を図る。(H22-27)	Ⅲ	・国立情報学研究所と共催で目録システム地域講習会(図書コース)を開催。職員が講師を務め、近隣の大学図書館等の目録業務担当者の育成を支援した。受講20名(修了19名) ・一般市民への図書館開放(全館室)、学外者への館外貸出サービス(2館)、本学卒業生・修了者及び放送大学学生等への館外貸出サービス(全館室)を継続実施。 ・附属学校再編計画に伴い、附属中等教育学校生徒(高校生)への図書の貸出を実施。(平成24～28年度)(平成24年度 総合・国際文化学図書館103冊、人間科学図書館 5冊) ○図書館所蔵資料による資料展(附属図書館) ・附属図書館資料展「開学のころ ～110 Years Ago～」開催期間中の社会科学系図書館来館者数47,408名 ・資料展パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数415名
	・大学文書史料室において、法人文書のうち歴史的又は学術的に貴重な文書及び神戸大学の歴史に係る資料の計画的な収集、整理、保存及びそれらに関わる調査研究を行うとともに、公開等の利用に供することにより、地域社会との連携を図る。(H22-27)	Ⅲ	・学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成を実施。(移管文書数:1,567点 平成25年3月末現在) ・所蔵史料の目録作成を実施。 8,026件 ・学内職員に対する文書管理の研修実施(新任教職員研修講師派遣、文書管理者研修、室員研修)。 ・「神戸大学附属図書館社会科学系図書館歴史案内」を作成・配付し、附属図書館の広報実施。 ・六甲台本館・兼松記念館の施設案内パンフレット原稿を作成し、同館の一般公開に協力。 ・「神戸商大新聞」「神戸高工新聞」等デジタル画像の作成・公開。画像1,294コマ、見出し6,975件 ・室員(特命職員)が、大学史及びアーカイブズ学に関する調査研究を実施。学会講演報告1件、広報誌寄稿4件、同窓会誌寄稿4件、展示企画3件 ・他機関からの大学文書史料室見学等を受入。20機関、81名 ・大学文書史料室利用数:225件 ・大学文書史料室入場者総数:3,976名(資料利用者60名、見学者81名、展示入場者3,835名) ○神戸大学の歴史に係る資料展 ・神戸大学史常設展「神戸大学史展―百年の歩みと展望―」(百年記念館) 入場者数3,276名 ・神戸大学史特別展「神戸大学110年の歩み」(百年記念館) 入場者数559名 ・神戸大学史パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数548名 ・神戸大学史パネル巡回展(神戸大学東京六甲クラブ)開催予定 入場者数1,732名
	・附属図書館において、「震災文庫」の資料収集とデジタル化を進め、震災関係では最大規模のコレクションとして、これを広く社会に公開するとともに、震災関係資料を収集する他機関との連携を図る。(H22-27)	Ⅲ	・阪神・淡路大震災関連の資料収集を引き続き進めるとともに、震災文庫電子化を継続。 ・「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」、「兵庫県立図書館」と「震災文庫」所蔵図書資料の横断検索システムのデータ更新を継続。 ・国立国会図書館の東日本大震災アーカイブデータベースに対して、震災文庫データの提供を開始した。これにより東日本大震災データと阪神・淡路大震災データとの統合的な利用が可能になり、震災研究に大きく寄与した。 ・人文科学研究科地域連携センターと連携し、東日本大震災資料の収集・公開を行っている機関との意見交換会を、岩手大学・岩手県立図書館(8月2日)、及び本学附属図書館(「被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」(神戸・東北から7機関:3月8日)で実施し、震災資料の整理・分類法、デジタル資料の著作権処理方法等の情報提供を行った。
	・附属図書館では、経済関係資料・古文書等の図書館所蔵資料や学内研究成果等のデジタル化を推進することにより、本学の知的資源を社会に発信する。(H23-27)	Ⅲ	・経済関係資料では、新聞記事文庫のデジタル化について、「科研費補助金(研究成果公開促進費)」が不採択となったため、電子図書館経費より事業を進めている。 ・新聞記事文庫を活用した研究成果を公開し利用を促進するため、ホームページを作成し「活用事例集」として公開中。 ・人文科学研究科地域連携センターとの協力により、所蔵する古文書類についての整理・保存・電子化作業を継続。 ・「神戸大学学術成果リポジトリ」として、コンテンツの充実を図った。(総件数:17,279件、年間ダウンロード数:715,791件)
Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標 1 組織運営の改善に関する目標 ○機動的かつ柔軟な大学経営を実現するため、効果的な人的資源管理を行う。 ・人的資源管理を推進するため、事務職員の採用・配置・養成、並びに人事考課に基づく処遇について、点検・評価し、改善する。	・附属図書館において、専門的情報サービスが行えるよう、専門主題や専門資料に関する知識習得等職員の養成を図る。(H22-27)	Ⅲ	学外の各種図書館関連の専門主題(漢籍・古典籍等)及び専門資料に関わる研修に多数職員を派遣した。その成果は、報告書の提出や報告会の開催の義務付けにより、図書館職員全体の能力開発に役立っている。 ・「公文書管理法セミナー」(1名受講) ・「大学図書館近畿レゾナンス」初級研修(4名受講) ・「古文書会館」(1名受講) ・「韓国海洋大学校研修」(3名派遣) ・人文科学研究科主催「水に濡れた古文書と壊れた古書の修復ワークショップ」(東北大学等との連携による震災復興支援災害科学研究推進活動サポート経費「災害資料学の実践的研究―阪神・淡路大震災の知見を基礎として―」が図書館職員向けに開催。(3月13日、受講者数18名)
	・専門的情報サービスに必要な知識・能力の向上を図るための研修会等に職員を積極的に参加させる。(H22-27)	Ⅲ	専門的情報サービスに必要な知識・能力の向上を図るため、学内外の研修会等に多数職員を派遣した。また各種講師としても活動した。 ・「NACSIS-CAT/ILLワークショップ」(1名受講) ・「学術ポータル担当者研修」(2名受講) ・「目録システム講習会 雑誌コース」(講師1名派遣、1名受講) ・「目録システム地域講習会」(5名受講) ・「アプリケーションソフトウェア研修」(3名受講) ・「ILLシステム講習会」(1名受講) ・「図書館等職員著作権実務講習会」(1名受講) ・「機関リポジトリ新任担当者研修」(講師1名派遣、1名受講) ・「機関リポジトリ中堅担当者研修」(1名受講) ・「学術情報リテラシー教育担当者研修」(1名受講) ・「機関リポジトリ担当者のための著作権ワークショップ」(講師1名派遣)

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
2 事務等の効率化・合理化に関する目標 ○卓越した大学経営を実現するため、業務改善を推進する。 ・定期的に事務業務を点検・評価し、改善するとともに、必要に応じて事務組織の見直しを行う。	・業務の合理化・質的向上と職員の活力向上を図り、研究・教育活動に密着した支援サービスを推進するために、図書館業務の点検・評価を行う。 (H22-23) ・点検・評価結果を踏まえて図書館業務の見直しを実施する。(H24) ・実施後の状況を点検し、必要に応じて改善を図る。(H25-27)	Ⅲ	・各図書館室の平成23年度事業計画書に基づき、「事業達成度及び評価・反省点」の提出と自己評価を実施。 ・各係・WGによる「平成24年度事業計画・課題表」の提出及びそれらに基いた各事業を実施。 ・図書館事業計画の点検・評価結果を基に、デリバリー業務拡大・貸出条件標準化・遊及入力計画策定等の図書館業務の見直しを実施。 ・業務改善ワーキンググループに参加し、業務改善対応策について検討。
	・さらに定型業務の集約化に努め、効率化・合理化できる業務については業務の見直しやアウトソーシングを検討する。(H22-27)	Ⅲ	・経費の効率化のため「時間外開館サービス業務」の複数年契約(2年)を継続実施。 ・各館室に共通する業務や課題については、係横断的なワーキンググループを組織し、業務の合理化・質的向上を図った。 ・課題となっていた「未承継資料及び除却資料の再受入」を開始。(登録総数：436冊) ・平成24年度は、以下のアウトソーシング実施。 ・雑誌製本業務に関連した定型的業務 ・目録データ・装備付き納品業務 ・時間外開館サービス業務 (社会科学系図書館、医学分館) ・遊及入力 (自然科学系図書館、人間科学図書館等) ・資産点検業務 (社会科学系図書館、保健科学図書室)
V その他業務運営に関する重要目標 1 施設設備の整備・活用等に関する目標 ○全学的視点に立った施設マネジメント及び環境マネジメントを更に推進する。 ・全学的視点に立った施設マネジメントを推進するため、施設・設備の有効活用の観点から、継続的に施設点検と評価を実施し、計画的な施設・設備の整備・保全を行う。また、医学部附属病院立体駐車場施設整備等事業及び農学系総合研究棟改修事業をPFI事業として確実に推進する。	・附属図書館では、重複資料、不用資料等の処分を計画的に実施し、収蔵スペースの有効活用を図る。 (H22-27)	Ⅲ	・図書資産管理業務(遊及・重複資料整理等)検討WGにおいて、「H24-27年度遊及入力計画」及び「資料収容力確保策の見直し」を策定。 ・収蔵スペースの有効活用を図るため、重複雑誌等の廃棄を実施。(総合・国際、社会系、自然系、人文、人間、保健、研究所図書館) ・資産点検における不明図書について毎年追跡調査を行い、不明期間が3年以上経過した資料の不用決定を実施。(社会科学系図書館、経済経営研究所図書館、海事科学分館)
	・プレゼンテーション・ホールの利用について点検・評価を行い、関係規則の見直しを検討する。 (H22-24)	Ⅲ	・平成24～25年度改修(人文科学図書館・社会科学系図書館)に伴い、図書・備品等の保管場所として使用するため、プレゼンテーション・ホールの利用を休止。 ・関係規則の見直しを改修後に検討予定。
2 安全管理に関する目標 ○大学の諸活動における安全性の向上を目指すとともに、情報セキュリティ対策を推進する。 ・学生及び教職員の安全並びに情報セキュリティに対する意識を向上させるため、各種法令等の周知・徹底を行う。	・図書館施設・設備の安全点検に努め、利用者・職員の事故等防止のための改善を着実に進める。 (H22-27)	Ⅲ	・職場巡視のためのチェックリスト(図書館版)を作成し、各館室の安全衛生担当者と巡視体制を定めた。 ・安全衛生委員(衛生管理者)の館内点検を、週1回実施。 ・各館室の非常口等を整備し、防災対策を実施。 平成24年度は、安全衛生に関わる営繕工事等について、以下を実施。 ・入退館管理システム導入。(人文科学図書館) ・防犯カメラ等修理。(総合・国際文化学図書館、医学分館) ・非常口サインを整備。(保健科学図書室) ・書庫内警報ブザー設置。(海事科学分館) ・障害学生教育支援経費(1,117,000円)により障害者用トイレ等改修。(海事科学分館) ・玄関前スロープの拡幅改修。(海事科学分館)
	・安全衛生に係る講習会や研修会に職員を積極的に参加させ、意識向上を図る。(H22-27)	Ⅲ	安全衛生に係る講習会等に職員が参加予定。 ・メンタルヘルスマネジメント検定試験Ⅱ種受検を含むメンタルヘルス研修を3名受講し、試験に合格した。 ・衛生管理者のための安全管理研修(3名受講)
・大学の諸活動における安全性の向上を目指すため、安全衛生環境及び管理体制を点検・評価し、改善する。	・附属図書館では、館内点検を継続実施するために、安全衛生管理の有資格者の計画的な増員を図る。(H22-27)	Ⅲ	・附属図書館における安全衛生管理について、チェック項目の見直し及び各館室毎の巡視体制の強化を計画。 ・職場巡視のためのチェックリスト(図書館版)を作成し、各館室の安全衛生担当者と巡視体制を定めた。 ・大学文書史料室員1名が、第一種衛生管理者試験に合格した。今後も各館室に衛生管理者を配置できるよう有資格者の計画的な増員を図る。
	・図書館施設・設備の安全点検に努め、利用者・職員の事故等防止のための改善を着実に進める。 (H22-27)	Ⅲ	・職場巡視のためのチェックリスト(図書館版)を作成し、各館室の安全衛生担当者と巡視体制を定めた。 ・安全衛生委員(衛生管理者)の館内点検を、週1回実施。 ・各館室の非常口等を整備し、防災対策を実施。 平成24年度は、安全衛生に関わる営繕工事等について、以下を実施。 ・入退館管理システム導入。(人文科学図書館) ・防犯カメラ等修理。(総合・国際文化学図書館、医学分館) ・非常口サインを整備。(保健科学図書室) ・書庫内警報ブザー設置。(海事科学分館) ・障害学生教育支援経費(1,117,000円)により障害者用トイレ等改修。(海事科学分館) ・玄関前スロープの拡幅改修。(海事科学分館)
3 法令遵守に関する目標 ○適正な大学運営を行うため、大学の諸活動における法令遵守はもとより、大学倫理を徹底する。 ・大学の諸活動における法令遵守を徹底し、大学の社会的責任を果たすため、学生及び教職員に対する啓発活動を充実させるとともに、内部監査体制等を実質化する。	・ハラスメント防止のため、ポスターの掲示等により、構成員への啓発を推進する。(H22-27)	Ⅲ	・昨年度に引き続きハラスメント防止のため、3名のハラスメント相談員を図書館職員より選出し、相談員を中心として図書館構成員及び利用者への啓発活動をポスターの掲示等により推進。
4 広報活動の充実に関する目標 ○大学の多様な情報を発信するため、戦略的な広報活動を展開する。 ・学内の様々な情報を収集、発信するため、学内組織の連携体制を強化する。	・各種の情報やサービスが統合的にタイムリーに利用できるように図書館ホームページの充実を図る。 (H22-27)	Ⅲ	・8月より図書館公式ツイッターを開設し、図書館からの緊急連絡・ガイダンス等の情報提供をおこなっている。 ・OPACの機能向上や拡充された各種サービスのMy Libraryにおける一元的提供などにより、資料利用の利便性向上を図っている。 ・生協による学生への携帯配信を利用した広報を継続。 ・統合検索サービスにより、利用者をより多くの情報源にナビゲートする機能提供を開始した。
・学生及び保護者、卒業生をはじめとした多様なステークホルダーのニーズに応えた戦略的な広報活動を推進する。	・英語版図書館ホームページの整備・充実を図る。 (H22-27)	Ⅲ	・英語版図書館ホームページの充実を図っている。

2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス

<開館状況>

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-20:00	8:45-21:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-21:00	8:45-20:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-19:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	休 館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休 館	10:00-19:00(注1)	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館
休業期	平日 17:00 まで 土日休館	通常期と同じ	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館
試験期 特別開館	日祝 10:00-18:00	祝 10:00-19:00	日祝 10:00-18:00	平日 21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	通常期と同じ	通常期と同じ	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00

(注1) 毎月第1日曜日は除く

- ・ 平成 24 年度の開館時間帯は上表のとおりである。
- ・ 保健科学図書室で通常期平日の開館時間を 1 時間延長し、21 時までとした。
- ・ 人文科学図書館は、改修工事のために 7 月から 11 月にかけて約 40 日臨時休館した。また、大学全体で節電と職員の労働環境改善を図るための臨時休業が実施されたため、部局の休業に対応して臨時休館（3～4 日）をした館室があった。このため年間開館日数は、前年度に比べ全館のべ日数で 70 日（約 3%程度）少なくなっている。
- ・ 平成 24 年 10 月から総合・国際文化学図書館、海事科学分館において、館内整理のために毎月平日に設けていた定例休館日について見直すべく、廃止・短縮の試行をした。その結果、平成 25 年度からは、総合・国際文化学図書館、保健科学図書室は定例休館日を廃止、海事科学分館は半日に短縮することになった。

<入館状況>

平日 8:45～17:00 時間帯の 1 日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H24/H23	1.00	0.96	1.00	0.86	1.02	0.99	0.98	0.61	0.88	0.95
H23 年度	1013.8	726.7	422.2	252.2	292.3	17.5	272.8	369.9	124.2	386.4
H24 年度	1012.1	695.3	421.6	216.3	297.6	17.4	267.9	227.0	99.9	365.3

- ・ 上表は、平日 8:45～17:00 の時間帯の 1 日あたりの入館者数を平成 23 年度と比較したものである。
- ・ 人文科学図書館は改修工事に伴う臨時休館の影響で前年度比 86%に減少した。
- ・ 平成 23 年度末に入退館管理システムを社会科学系図書館、保健科学図書室に新規導入し、従来から稼動していた医学分館でもシステムの更新を行なった。3 館で減少しているのはその影響と考えられ

る。

- これに対して前年度入退館管理システムの導入を終えた館では、海事科学分館で減少が続いているものの、総合・国際文化学図書館と自然科学系図書館では前年度並み、人間科学図書館では増加した。

<夜間開館>

平日夜間（17:00～）時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H24/H23	0.98	0.50	0.98	0.59	1.07	—	0.99	0.51	0.67	0.74
H23 年度	196.8	307.9	119.6	70.1	53.2	—	86.2	107.2	22.0	126.1
H24 年度	193.3	154.2	116.8	41.6	56.9	—	85.1	54.4	14.8	93.1

- 入退館管理システム新規導入館（社会科学系図書館、保健科学図書室）では、平成23年度と比較してほぼ半減しており、入退館管理システムの影響が特に夜間開館に強く現れている。
- 人文科学系図書館でも改修工事に伴う臨時休館の影響で約40%減少した。

<土曜・日祝開館>

土曜・日祝日の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H24/H23	1.01	0.84	1.09	0.81	1.05	—	0.91	0.49	0.92	0.90
H23 年度	175.8	404.7	170.5	72.3	57.2	—	108.5	145.2	33.4	176.4
H24 年度	177.4	340.2	186.2	58.7	60.3	—	98.5	71.3	30.7	159.2

- 夜間開館同様、入退館管理システム新規導入館（社会科学系図書館、保健科学図書室）で減少、人文科学図書館では改修工事の影響で減少した。
- 前年度に入退館管理システムの導入を終えた館では、海事科学分館以外で増加している。

<24時間開館>

- 自然科学系図書館と医学分館で実施している。
利用者数は右表のとおりである。
- 両者の利用者数に大きな開きがあるのは、医学分館では自学自習のために学部2年次以上の学生、研修医などが利用しているのに対し、自然科学系図書館では、主に院生が雑誌論文の複写のために入館するといった利用が中心となっているからである。

	自然系	医学
H24/H23	0.85	1.12
H23 年度	308	16,899
H24 年度	263	18,907

◆評価と課題

平成24年度の総入館者数は957,140人で、平成23年度と比べて、全体数としては11%（約12万人）減少した。主な原因としては、人文科学図書館での改修工事に伴う臨時休館と、社会科学系図書館、医学分館、保健科学図書室での入退館管理システムの導入・更新に伴う影響の2つが考えられる。

入退館管理システムの未設置館への導入は、図書館利用者の安全・安心の向上のため、平成23年度から2年間にわたって計画的に行ったものである。導入当初は入館者の減少が見られたが、導入2年目になると増加に転じる館がみられた。また、利用を測るもう一つの重要指標である貸出数が、前年度よりも増加している（後述）ことから、入館者数の減少は一時的、心理的なものであると考えら

れる。

改修工事のために遅れたが、人文科学図書館にも平成 24 年 12 月には導入が完了し、これによって、経済経営研究所図書館をのぞく 8 館室で共通の入退館管理システムが稼動することになり、図書館利用者の安心・安全を守る環境が格段に向上した。

また、平成 24 年度の改修によって人文科学図書館に本学初のラーニングコモンズが設置された。今後はラーニングコモンズが、学生が集まり、議論し、共に学んでいくための新しい学修空間として活用され、多くの利用者を図書館へ呼び寄せる端緒となるよう、積極的な企画を提案し、運用していくことが必要である。

（２）学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計の通りである。

＜資料費予算と重点整備＞

- 各館室の学生用資料の整備は、図書館予算（図書館セグメント）から各館室に配分した経費と、各館室のサービス対象部局から拠出された経費（部局セグメント）を合わせて実施することとなっている。
- 平成 24 年度の図書館予算は、前年度と同額の 60,000 千円を確保した。部局拠出分は年々減少の傾向にあるが、附属図書館では、学生用資料整備を教育支援の最重要事項として位置づけ、減額せずに確保してきている。
- 平成 18 年度より震災文庫資料費（500 千円）は独立した予算項目となっている。
- 平成 16 年度より実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館（2,136 冊）、社会科学系図書館（1,911 冊）、自然科学系図書館（2,062 冊）、人間科学図書館（1039 冊）、保健科学図書室（518 冊）において実施し省力化・合理化を進め、その人的資源を目録遡及入力作業等に投入した。

＜各館室の整備状況＞

H24 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	4,739	402	3,375	3,091	299	1,959	190	845	1,110	1,720	17,730
雑誌種数	100	11	35	140	23	113	0	205	104	125	856

- 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

＜選書体制と収集方針＞

- 平成 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
- 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。
- また、総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための試みとして、「学生選書ツアー」（学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの）を平成 22 年度より実施している。平成 24 年度は 11 月 16 日（金）、ジュンク堂書店三宮店において、午前の部（10：00～）と午後の部（14：00～）の 2 回に分けて実施。あわせて 23 名

の学生（学部生 17 名、院生 6 名）が参加して 284 冊が選書され、重複等を除いて最終的に 255 冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取り組みを継続する方針である。

<選書評価>

- ・ 平成 23 年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。（平成 24 年度第 7 回附属図書館運営委員会で報告）

◆評価と課題

平成 17 年度以降、学生用資料費の図書館予算が大幅に増額され、概ね要求は満たされたものとなっており、引き続き教育・学習活動の支援・拡充を図るため、現行の予算規模を維持する必要がある。

平成 18 年度から、前年度に整備した学生用図書について、利用状況の分析等による収集資料の評価を開始した。

平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っているが、平成 24 年度選定分からは、評価方法を見直す予定である。

（３）資料提供サービス

入館者数、貸出冊数等は別添基本統計のとおりである。相互利用サービスについては、3(5)に後述する。

《貸出サービス》

貸出条件の変更

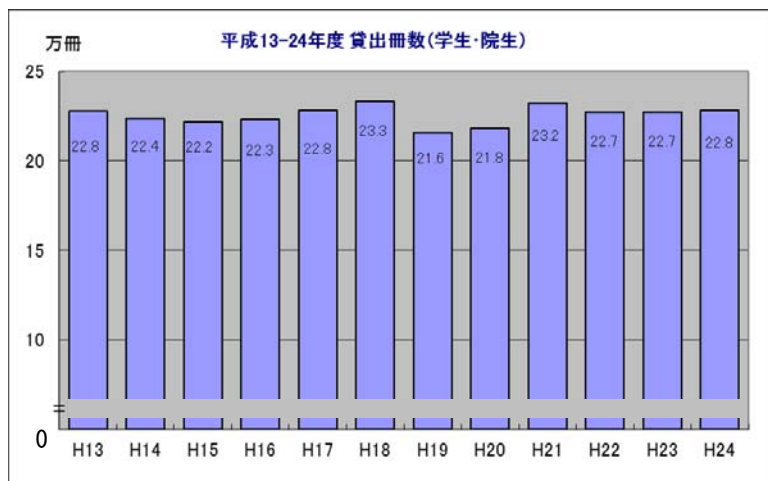
- ・ 人間科学図書館において、開架図書の貸出期間を対象者に関係なく 2 週間に統一した。

サービスの拡充

- ・ 学内のどの館室でも貸出図書を返却できる「どこでも返却サービス」を開始した。
- ・ 貸出期間の延長が Web 画面からできるようになった。
- ・ 総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館で試行していた製本雑誌デリバリサービス（貸出期間 1 週間、貸出冊数 3 冊まで）を正式運用とした。

<貸出冊数（学部生・院生）経年推移>

- ・ 平成 13 年度から平成 24 年度までの経年推移を右に掲げた。
- ・ 12 年間を通して 22 万冊前後の高い貸出数を維持している。



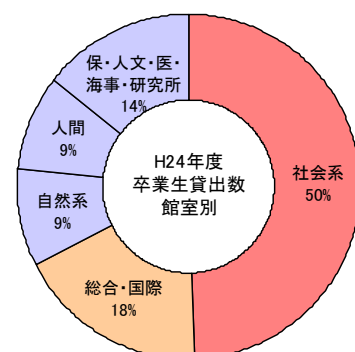
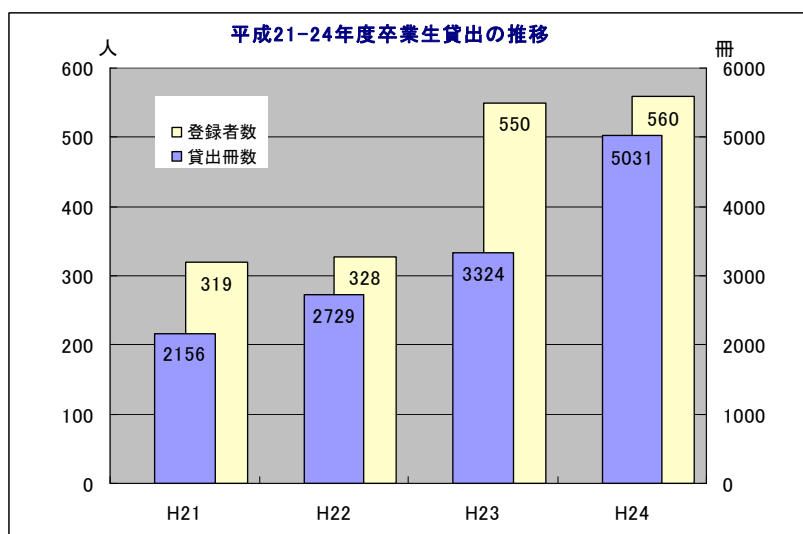
<館室別学部生・院生貸出冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H24/H23	1.08	1.01	1.04	0.76	0.99	0.87	0.98	0.86	1.01	1.00
H23 年度	61,294	59,883	34,479	14,590	20,233	431	7,399	15,027	14,009	227,345
H24 年度	66,172	60,460	35,977	11,031	20,032	373	7,274	12,855	14,110	228,284

- ・ 人文科学図書館での減少は、改修工事に伴う臨時休館の影響と思われる。経済経営研究所図書館、保健科学図書室でも減少したが、総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、海事科学分館の4館で前年度を上回ったため、全体では前年度よりわずかに増加した。

<卒業生及び修了者に対する貸出>

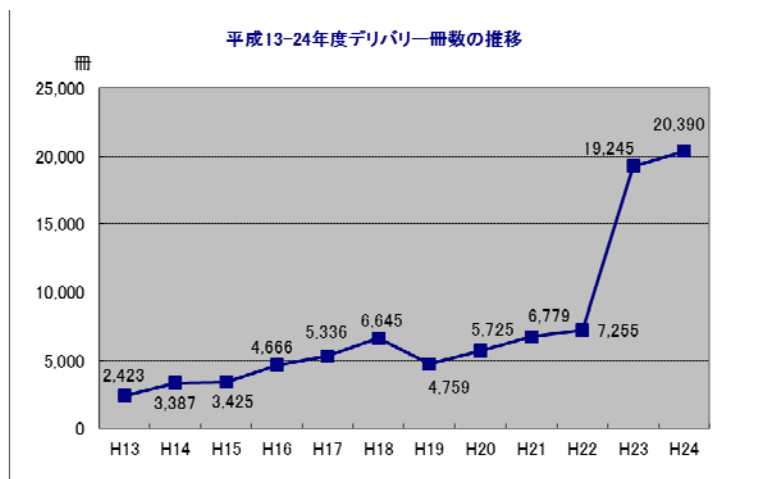
本学卒業生及び修了者に対する図書資料の貸出サービスは、平成21年3月から行っている。4年目になる平成24年度も利用は増え続けており、特に貸出冊数は前年度の約1.5倍になった。館室別では、社会科学系図書館と総合・国際文化学図書館の2館で全体の68%を占めている。



《デリバリ（図書配送）サービス》

<デリバリサービス貸出冊数推移>

デリバリサービスは、平成12年度後期に院生、教職員（異キャンパス間は学部学生も）を対象に始まった。平成23年度に激増したのは、六甲台キャンパス内の学部学生にサービスを拡大したことによる。平成24年度は、前年度のような高い伸び率ではないものの、依然増加傾向が続いており、冊数は2万冊を突



破した。経年変化を右に掲げた。

＜館別デリバリ発送・受取冊数＞

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事
H24/H23	0.94	1.10	1.14	0.83	1.09	—	1.05	1.38	1.31
H23 年度	11,010	8,780	3,101	5,774	5,203	—	827	1,230	2,565
H24 年度	10,385	9,651	4,383	4,785	5,662	—	867	1,697	3,350

- ・ 上の表は、平成 24 年度に他館室へ発送した冊数と他館室から受け取った冊数を館別に合算し、平成 23 年度と比較したものである。
- ・ 前年度に比べて保健科学図書室と海事科学分館で大幅に増加している。

＜附属中等教育学校への図書貸出サービス＞

平成 24 年度から、総合・国際文化学図書館、人間科学図書館の 2 館が所蔵する図書の貸出サービスを開始した。これは附属中等教育学校において、附属学校の再編計画に伴い、後期課程生徒（高校生）向け図書の整備が十分にできない期間が生じるため、平成 28 年度までの 5 年間、時限的特別措置として実施することになったものである。貸出は生徒個人ではなく「中等教育学校図書室」に対して月 2 回、1 回 50 冊まで、貸出期間は 2 週間とし、配送は宅配業者に依頼している。

平成 24 年度の貸出冊数は、総合・国際文化学図書館で 134 冊、人間科学図書館で 7 冊、合計 141 冊だった。

◆評価と課題

平成 24 年度の学部生・院生への貸出総冊数は 228,284 冊で、10 年以上にわたり 22 万冊前後の水準を維持している。中央教育審議会答申にもあるように、学生の学習時間の少なさや読書ばなれが社会問題になっているなか、学生・院生一人あたり貸出冊数の全国平均が 10 冊程度であるのに比べて本学は 13.4 冊と大きく上回っており、活発な利用状況にあると評価できる。

この要因としては、第一に、長年にわたって附属図書館が一定の学生用図書購入費を確保し、教員・職員が一体となって図書の選定・充実を図ってきたことが挙げられる。

第二に、デリバリサービスの実施が挙げられる。本学ならではのキャンパスの地理的な事情から、貸出サービスの利便性を飛躍的に向上させ、サービス水準の維持に大きく貢献しているものである。平成 23 年度に六甲台地区学部学生へのサービス拡大を図ったばかりであるが、平成 24 年度は次のとおりさらに充実を図った。

(1) 「どこでも返却サービス」の開始

どこの図書館・館室で借りた図書であっても、最寄りの館室に返却すればよいようにした。（経済経営研究所図書館を除く）

(2) 配送体制の強化

配送量の激増への対処のため、毎日全館室を巡回するように配送体制を強化すると共に事務処理の簡素化を図ることで、概ね申し込みの翌日には図書が手元に届く状況を堅持した。

このほか、総合図書館をはじめとして職員が定常的で適切かつ迅速な選書に努めたこと。「学生選書ツアー」で購入した図書について、選定した学生自身に推薦文を書いてもらう企画で利用促進をはかったことなども、貸出サービスの堅調を支えた要因と言えよう。

卒業生及び修了者に対する貸出数は年々増加しており、新たに附属中等教育学校への貸出サービスも加わった。様々な利用者層への目配りも忘れてはならない。

今後も基本サービスである貸出サービスを充実していくためには、教育や学習のニーズに合致した

図書を迅速に揃えることを基本としながら、利用者と蔵書をより積極的に結びつけるために、授業内容に密着したパスファインダーの提供やおすすめ本の紹介など、新しい取組みも展開していかなければならない。

（４）情報リテラシー教育の推進支援

＜情報リテラシー教育支援＞

- 平成 16 年度より設けられた全学共通教育必修科目「情報基礎」では、平成 20 年度より 1 コマ（90 分）が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、図書館職員が担当することになった。本年度は、5 月中旬～6 月下旬を中心に計 23 回（補講・再履修を含む）講義（実習を含む）を行った。
- 平成 20 年度より情報リテラシー係と各館室のサービス係員から構成される「情報リテラシー教育支援 WG」を組織して、課題や理解度テスト（ちからだめし）なども改訂し、WG メンバーで分担し講義を行っている。学部新入生全員に補講受講者等を加え、約 2,700 人が受講した。
- 基本となる図書館ホームページ上のサービス紹介をはじめ、レポート・論文作成の際に役立つ、各種データベースの紹介、所蔵検索 OPAC（実習を含む）・各種 Web サービス等を中心とする内容で実施した。
- 次年度に向けて、授業内容やテキスト・課題・理解度テストの再検討を行った。

＜オリエンテーション、ガイダンス＞

- 情報リテラシー係を中心に情報リテラシー教育支援 WG メンバーで以下のガイダンスを開催した。

名称	内容	時期	時間	会場	回数	参加者
留学生オリエンテーション	施設紹介・利用全般	4、10 月	10 分	六甲ホール	2	560
館内ツアー、検索ガイダンス	OPAC の検索方法 資料入手方法、他	4、5 月	15～20 分	各館室	69	181
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	6 月上旬	70 分	自然科学系図書館	4	38
Web of Science 操作説明会 （自然科学編）	Web of Science	6 月上旬	70 分	自然科学系図書館	2	34
SciFinder 講習会	SciFinder	6 月上旬	90 分	自然科学系図書館	2	30
Web of Science 操作説明会 （社会・人文編）	Web of Science	6 月中旬	70 分	社会科学系図書館	2	17
日経テレコン操作説明会	情報収集、操作説明	6 月下旬	70 分	社会科学系図書館	2	21
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	10 月下旬	70 分	自然科学系図書館	4	49
Web of Science 操作説明会 （自然科学編）	Web of Science	11 月上旬	70 分	自然科学系図書館	2	9
雑誌論文の探し方「国内編」 （海事科学編）	CiNii、Jdream 、電子ジ ャーナル	11 月上旬	70 分	海事科学分館	2	20

日経テレコン操作説明会	情報収集、操作説明	11月中旬	70分	社会科学系図書館	2	16
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii, WOS 電子ジャーナル等	11月中旬	70分	社会科学系図書館	4	36
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii, WOS 電子ジャーナル等	11月下旬	70分	人間科学図書館	4	28
PsycINFO 操作説明会	PsycINFO	11月下旬	70分	人間科学図書館	2	24
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	医中誌、PubMed、WOS 電子ジャーナル	12月上旬	70分	保健科学図書室	4	17
CINAHL 操作説明会	CINAHL	12月上旬	70分	保健科学図書室	2	10
オーダーメイドガイダンス	雑誌論文検索方法等 依頼内容を説明	4-2月	60~120分	国文・人間・ 社会・海事・保健等	33	625
				計	142	1715

- Web of Science、SciFinder、日経テレコン 21、CINAHL、PsycINFO のガイダンスは、各キャンパスからの要望にも応えつつ、ベンダーから専門講師を招いて実施した。その他は情報リテラシー係職員が講師を務めた。
- 前期の新入生を含む利用者へは、各館室で図書館ツアーを集中的に実施した。
- 「情報の探し方ガイダンス」は、遠方のキャンパスも含む 4 つの館室で実施した。また、情報リテラシー係主体で、教員からの依頼によるオーダーメイドガイダンスも多数実施した。
- 実施会場には iMac 端末の設置場所を設定し、参加者が端末操作して実習できるようにしている。広い会場には、スピーカとマイクを持ち込んで使用したり、指し棒やポインタの操作を工夫したりして、理解しやすいように努めた。
- ちらし・ポスターや、ホームページ上のお知らせなどに、情報リテラシー系のメールアドレスや HP の URL を組み込んだ QR コードを採用するなど、利用者が参加しやすいように工夫した。

＜ワークショップ＞

- 前年度に引き続き、12月18日に、附属図書館とシュプリング・ジャパン株式会社との共催により、大学院生や若手研究者を対象とした英語論文執筆のためのワークショップ「若手研究者のための英語論文セミナー執筆と国際誌投稿のノウハウをつかもう！」を開催した。参加者は 108 名、身分別では学部生・大学院生・研究生が約 67%、教員が約 15%であった。アンケート回答にも、「Workshop の実践的な練習が大変勉強になった」「どの講演もとても有意義だった」等といった声が寄せられ、大変充実したものとなった。また、合わせて行われた英語論文個別コンサルティングにも多数の応募があり、好評であった。

＜広報＞

- 平成 21 年 6 月から開始した「神大図書館 NEWS」の普及を更に促進すると共に、ガイダンスやトライアル、図書館行事等、様々なニュースを発信して広報に活用した。1 年間で No.84~116 の計 33 回発信した。
- 本年度 8 月より公式ツイッターの運用を開始し、速報性を重視した発信を心がけた。年度終了時点でツイート数が 700 回弱、フォロワー数は 700 名強となり、着実に情報共有の輪が広がっていると



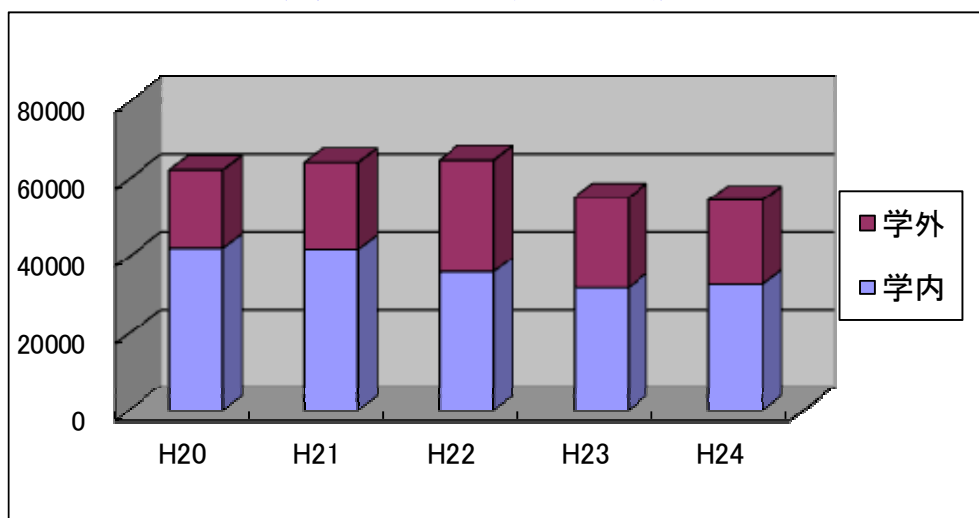
いえる。

- ・ 上記に加えて、生協の携帯配信サービスをガイダンス等の広報に活用した。

＜図書館ホームページの維持・更新＞

- ・ 月平均アクセスは約 54,500 件となっている（月別アクセス数は別添統計【p57】のとおり）。
- ・ 図書館ホームページについては、求める情報に訪問者を効率的に導けるよう、恒常的に調整を図った。
- ・ 平成 24 年 6 月に、統合検索サービス Primo Central を公開し、利用者をより多くの情報資源に、より迅速にナビゲートする機能提供を開始した。また、学生へのスマートフォンの急激な普及に対応するため、平成 24 年 12 月にはスマートフォン版 OPAC の提供を開始した。
- ・ ガイダンスに際して作成した資料をホームページに順次アップした。また、各種情報のメンテナンス及び新着事項の掲載等を引き続き行った。

＜図書館トップページ月平均アクセス数＞



◆評価と課題

必修科目「情報基礎」は 9 年目に入ったが、滞りなく運営できた。「情報の探し方」等のガイダンスに参加できる利用者数は、会場の狭小やテーマの専門性もあり、ある程度限られてくるので、新入生全員を対象とした必修授業において学術情報の利用方法の講義を担当することは、図書館にとって、大学の教育に直接的な貢献ができるだけでなく、図書館利用者の教育という面でも大きな効果を得ることが出来ている。

2 年前より、授業の課題を、テーマに従って検索した図書を実際に図書館で探すという、より実践的な内容として、授業内容の定着を図っている。新入生にとっては、図書館に初めて足を運ぶ機会にもなり、その経験が新鮮なためか、良好な反応が授業後のアンケートにも多数うかがわれる。

「情報の探し方」等のガイダンスと、専門講師を招いての講習会については、ほぼ前年並みの実施回数と参加者数となっている。ただし、職員実施分と専門講師実施分の内容が重なる部分のある点や、専門データベースの紹介がやや少ない点、人文科学図書館や医学分館では未実施である点などについては、今後の改善が必要である。学生数から見れば図書館主催のガイダンス参加者はまだ少なく、広報の工夫や、学生の授業日程を踏まえた開催時期・曜日・時間等の検討が常に必要である。

参加者が端末操作して実習できるように、図書館の情報端末室を会場としたり、場合によっては情

報基盤センターや各部局の演習室などで実施したり等の工夫をしている。複数の会場で実施できる用意があることで、その機会や可能性を広げている一方で、常設の会場を持たないため、実施毎に設営に手間がかかる、恒常的な講習会の日程を組みにくい、といった側面も抱えている。

熱心な受講者や教員から、オーダーメイドガイダンスの依頼は引き続き増加している。特に教員からのオーダーメイドガイダンスは、1 度開催すると翌年以降も申込があり、リピーターとなる確率が高い。たとえば、理学部化学科や医学部保健学科看護学専修などでは、3 年次に学科・専修単位で毎年実施しており、卒業までの履修・学習全体を通した情報リテラシー教育支援を考える上での一例になると思われ、今後も継続していく意義があると考えられる。ただ、申込から実施まで短期間であることから、依頼者の希望内容に沿った資料作成など、準備の負担が大きいことが課題である。

図書館ホームページについては、最新の情報を掲載できるよう留意し、日々維持更新に努めた。しかし、「お知らせ」の多言語化や、留学生の半数以上を占める中国留学生用の中国語版作成の検討、横断・統合検索やパスファインダーの導入を踏まえたシステム更新などは、今後の課題であろう。

広報については、掲示物、ホームページや「神大図書館 NEWS」、生協の携帯配信サービスの配信等従来の形態に加え、新たに公式ツイッターによる速報性を重視した広報も開始した。こうした様々な形態を組合せ、効果的に活用することが必要だと思われる。

（５）設備・機器の整備

施設面の整備については、5(4)で記述することとし、本章では、学習環境改善のための設備・機器に絞った整備について記述する。

<設備更新による学習環境の整備>

- ・ 学習支援に直接係わる事項として次のものがある。

総合・国際文化学図書館	新着図書コーナー整備
社会科学系図書館	中山正實作「壁画青春」及び「壁画青春」画稿デジタル化、リフレッシュルーム試行設置
自然科学系図書館	除湿機増設(書庫)、横引き書架新設、研究室貸出図書用書架更新、コーナーサイン更新
人文科学図書館	入退館管理システム導入、ラーニングコモンズ設置、木金混合書架新設、集密書架新設および更新、パソコンスペース・AVスペース等整備
人間科学図書館	新着図書コーナー整備、グループ学習室整備(ホワイトボード)、貴重書キャビネット増設、自動貸出引出付台増設
経済経営研究所図書館	除湿機増設(書庫)
医学分館	空調設備修理
保健科学図書室	雑誌閲覧室整備(空調機増設・扉更新)、書庫内書架増設、閲覧机の間仕切取付、OPAC 端末移設
海事科学分館	自動貸出返却装置更新、グループ学習室整備(空調機更新・机・椅子・ホワイトボード)、空調設備修理

＜障害学生学習支援となる環境整備＞

全館室（研究所を除く）	車椅子用電動昇降式キャレルデスク(10 台)、拡大読書器(9 台)
海事科学分館	玄関前スロープ拡幅工事、障害者用トイレ扉等改修

＜自動貸出装置等＞

24時間入退館管理システム	自然科学系図書館、医学分館
入退館管理システム	全館室(研究所を除く)
自動貸出装置	全館室(研究所を除く)
BDS(無断持出防止装置)	全館室(研究所を除く)
セルフ式コピー機(コイン式等)	全館室(研究所を除く)

＜情報機器の更新＞

- ・ OPAC 等検索用端末(*2)およびスタンドアロン等の更新及び整理を継続的に行っている。
- ・ 利用者用 PC 等の設置台数は次のとおりである。

	総・国	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合 計
PC 台数	48	44	38	20	17	1	20	14	15	217
教育用端末(*1)	(37)	(28)	(32)	(16)	(13)	(0)	(14)	(10)	(11)	(161)
蔵書検索端末(*2)	(11)	(12)	(6)	(4)	(4)	(1)	(5)	(3)	(3)	(49)
スタンドアロン等	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(7)
情報コンセント	80	21	12	19	9	0	30	4	12	187
無線LANAP(*3)	3	5	3	2	2	0	2	2	2	21

注) (*1) 情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末

(*2) 蔵書検索に加え限定された検索サイト（国会図書館等）もアクセス可能

(*3) 附属図書館内に情報基盤センターが設置

◆評価と課題

人文科学図書館は、人文学研究科 C 棟の耐震改修工事に伴う改修で、大幅なレイアウト変更と、本学初となるラーニングコモンズを設置することで、新たな学習支援が展開できる図書館に生まれ変わった。主な改修内容は次のとおりである。

- (1) 人文学研究科 C 棟 1 階を分断していた中央のピロティ部分を室内化して一続きのフラットな空間とし、この 1 階全フロアを開架図書室とした。（旧配置では開架図書室は 2 階にあった）
- (2) A 棟南側の集密書架を撤去し、演習スペースとフリースペースからなるラーニングコモンズを設置した。このため、収容力確保のため、C 棟開架図書室内に集密書架を新設した。
- (3) 大型図書資料室は旧配置と同じ 2 階としたが、収容力確保のため、ここにも集密書架を新設した。
- (4) 固定書架の更新、パソコンスペース・AV スペース等の整備に加えて入退館システムを導入した。

なお、ピロティ部分や C 棟と A 棟の連結部分等の建物改修に伴う施設整備、及び集密書架新設等の設備整備のため多額の追加経費が必要となり、間接経費から 6,000 千円の追加経費をいただいたが、なおも約 17,000 千円の不足が生じ、附属図書館運営経費で負担することとなった。

これまで発生していなかった所も含めて、書庫にカビの発生が見られるようになったことから、消毒、書庫薫蒸等の対策を実施すると共に、特に問題が大きい箇所には除湿機等を整備した。温暖化の

影響も疑われることから、今後、継続して書庫環境の調査をしていく必要がある。

海事科学分館において課題となっていた障害者用トイレ及び玄関前スロープが障害学生教育強化支援経費等により改修できた。また障害学生学習支援設備経費により車椅子用電動昇降式キャレルデスク・拡大読書機等を設置し、障害学生への学習支援を行った。

社会科学系図書館に学習の合間に気分転換できる場として、以前から希望があった会話や飲食を可能としたリフレッシュルームを試行設置したが、場所が静かな学習スペースである大閲覧室の隣であったため、目的に添った利用方法とならないケースがあった。アクティブとサイレントのエリアを分離させる必要性を踏まえ、平成 25 年度本館改修では新たな学習環境の整備を検討していく予定である。

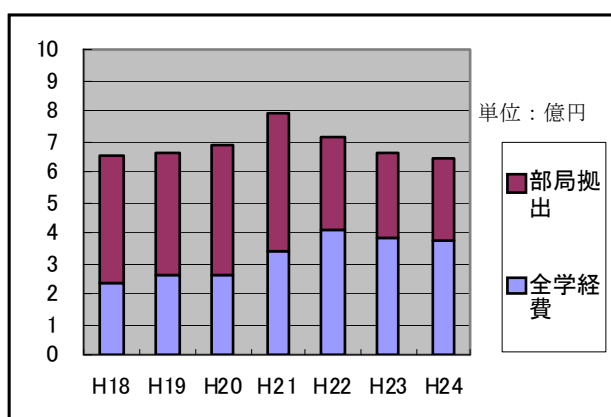
3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は別添統計【p54】のとおりである。

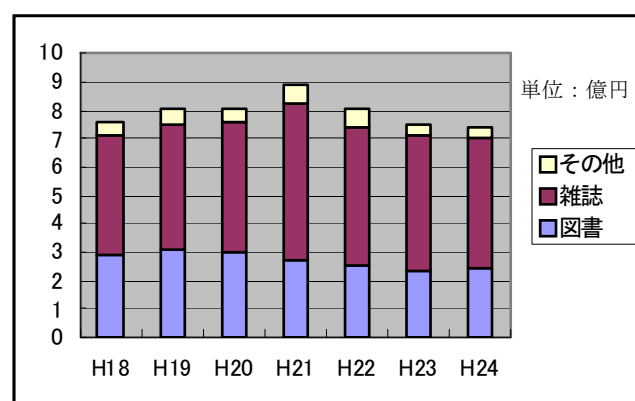
<資料受入状況>

(図 1) <資料費経年推移>



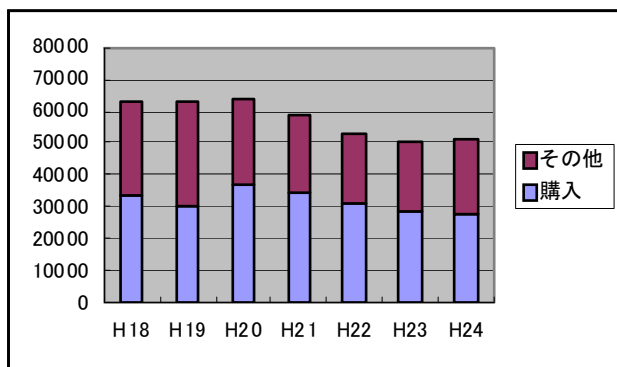
* 一般財源に限る

(図 2) <資料費の用途別内訳推移>



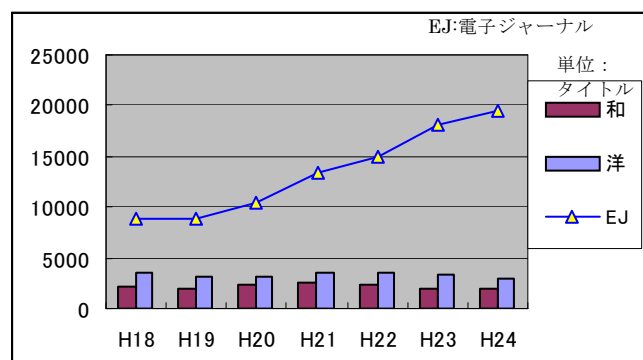
* 電子ジャーナル経費は雑誌として計上

(図 3) <受入図書冊数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

(図 4) <購入雑誌数経年推移>



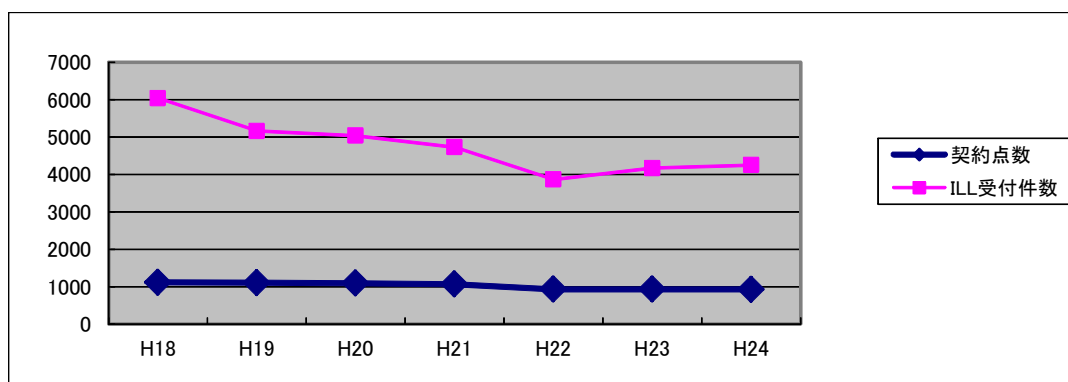
* 「購入」は一般財源のみ

- 資料費（一般財源）は、部局拠出分が減少しているが、電子ジャーナル・データベース等の提供維持のための経費である「教育研究基盤資料整備費」を含む全学経費分は維持され、約 3.8 億円となっている。（図 1）
- 図書資料費は、図書・雑誌ともに平成 23 年度と同程度を維持している。（図 2）
- 受入図書冊数は、平成 20 年度から減少傾向にあったが、平成 23 年度より少し上回った。（図 3）
- 和雑誌・洋雑誌とも購入タイトル数に大きな変化は見られないが、電子ジャーナル数は、平成 24 年度末には、19,554 タイトルとなり、増加を続けている。（図 4）

＜外国雑誌センター館＞

- ・ 外国雑誌センター館は、国内における外国雑誌情報の収集・提供の拠点として、分野別に全国で計 9 大学に設置されているものであるが、当館は 昭和 61 年度に「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、一橋大学と本学が分担収集を行っている。（配架は社会科学系図書館）
- ・ 外国雑誌センター館本来の収集資料は、国内所蔵が希少な外国雑誌雑誌で、その判断は、原則として所蔵館が 3 館以内であることとしている。平成 24 年度は、所蔵館が 4 館以上となった雑誌の中止と、新規雑誌の追加購入により、予約点数は 928 誌となった。
- ・ また、外国雑誌センター館の資料収集方針改正（H24.7）により、電子的資料を収集対象とすることが可能になった。これを受け、平成 24 年度は Springer バックファイルおよび EMeJ200（Emerald の電子ジャーナルパッケージ）を購読した。
- ・ ILL 複写サービスについては、他機関からの複写依頼を常時受け付け、迅速な対応により外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。
- ・ JUSTICE（大学図書館コンソーシアム連合）から外国雑誌センター館に対して、Springer 社の全バックファイル共同購入プログラムへの拠出協力の要請があり（実際には平成 23 年度から打診があったもの）、センター館で協議の上、全センター館が一致して協力することになった。

＜契約点数と ILL 受付件数（社会科学系）の推移＞



◆評価と課題

平成 24 年度は、「教育研究基盤資料整備費」2.83 億円が措置され、電子ジャーナル及びデータベースの提供維持及び 20%の外国雑誌購読経費補填を実施した。今中期計画期間中の教育研究基盤資料整備事業の維持については、値上げ及び為替変動による価格高騰に対して、予測を立てて対応策を実施していくことが課題となっている。

図書館の予算が減額されるなか、平成 24 年度の学生用資料費は、平成 23 年度と同じく予算 60,000 千円が確保された。今後も教育研究支援となる学生用資料の充実のため、予算の維持が望まれる。

外国雑誌センター館の資料収集方針が改正され、電子的資料も収集対象となった。これは、従来のいわゆるレア・ジャーナル（国内での所蔵が希少な雑誌）を主な対象とした収集方針を維持しつつも、電子ジャーナルの包括契約方式（ビッグディール）の普及とその価格高騰に対応して、わが国の学術情報流通基盤としての外国雑誌センターのあり方を模索するものである。当館の外国雑誌センターは、その所在する社会科学系図書館の ILL の年間受付件数が全国大学のトップレベルにあることから、わが国の学術情報流通基盤において一定の役割を果たしていると考えられ、今後もその役割を維持することを求められている。

(2) 電子的情報基盤の整備

<外国雑誌と電子ジャーナル>

有料で導入している主な電子ジャーナルは次のとおりである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	3,000	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション 講読規模維持が条件
Elsevier 社 ScienceDirectBackFile	全分野	H21	2,000	(分野による)	
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	1,700	1997～	発行のほぼ全タイトル(主要部分は創刊号から) 講読規模維持が条件
Wiley-Blackwell 社 WileyInterScience	多分野	H14	1,500	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
JSTOR	自然科学及び社会科学	H14	1,500	創刊号～ (最近 3～5 年は対象外)	Arts & Sciences I (H14～) Arts & Sciences II (H17～) Arts & Sciences III (H19.3～) Arts & Sciences IV (H18.3～) Arts & Sciences V (H23.1～) Arts & Sciences VI (H23.1～) Arts & Sciences VII (H21.4～) Arts & Sciences VIII (H23.1～) Arts & Sciences IX (H23.1～) Life Sciences (H15～) Business III (H23.1～)
Nature 社	自然科学	H15	30	創刊号～	
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去 5 年	
IEEE CSDL	情報通信	H15	30	1968～	会議録年間 300(1995 以降)も利用可能
ACM Portal	情報通信	H15	20	ほぼ創刊号～	会議録等も利用可能
APS	物理系	H16	10	2001～	米国物理学会。 *H16 よりライセンス料要 (以前から利用可能)
Cell Press	生命科学	H16	8	1996～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	50	1996～	H24.1 より 50 誌に
ACS	化学系	H16	40	1996～	米国化学会
Oxford University Press	多分野	H17	250	1996～	発行のほぼ全タイトル(うち 171 誌は創刊号から) 講読規模維持が条件
Cambridge University Press	多分野	H18	300	1997～	発行のほぼ全タイトル(うち 89 誌は創刊号から) 講読規模維持が条件

- ・ その他、単体で購読しているもの等も加えて、平成 24 年度末における電子ジャーナル購読数は 19,554 タイトルとなった。
- ・ 総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。
- ・ 外国雑誌については、平成 19 年度分から大幅な方針変更を行った。

附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入する方針が示され、世界レベルの研究水準を目指す本学の学術情報基盤として重要な電子ジャーナルを含む外国雑誌の維持・整備を図る方向性が定まった。

この答申を受け、平成 19 年度から大手出版社の電子ジャーナルの導入については、従来の冊子体を維持する方法から、電子ジャーナルの利用に当たって冊子体を維持する必要がない電子オンリー中心の包括利用の契約方法に大幅に変更した。

また、附属図書館審議会答申「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」(H21.2.12) に基づいて、平成 22 年度から負担方式を、部局負担分を間接経費に切り替え、全学共通経費と間接経費により、電子ジャーナル等の提供・維持を実施している。

その内容は次のとおりである。

(1) 電子オンリー中心の包括利用契約

大手 5 社（Elsevier 社、Wiley-Blackwell 社、Springer 社、Oxford 社、Cambridge 社）発行のものについては、各社発行電子ジャーナル全タイトルが利用できる電子オンリー中心の包括利用契約を行い、その対象となる冊子体の購読はオプションとする。

なお、冊子体の購読を希望する場合は、購読額の 25% 程度の特別価格で購読できるが（Oxford を除く）、これに関しては、20% の雑誌購読補填は行わない。

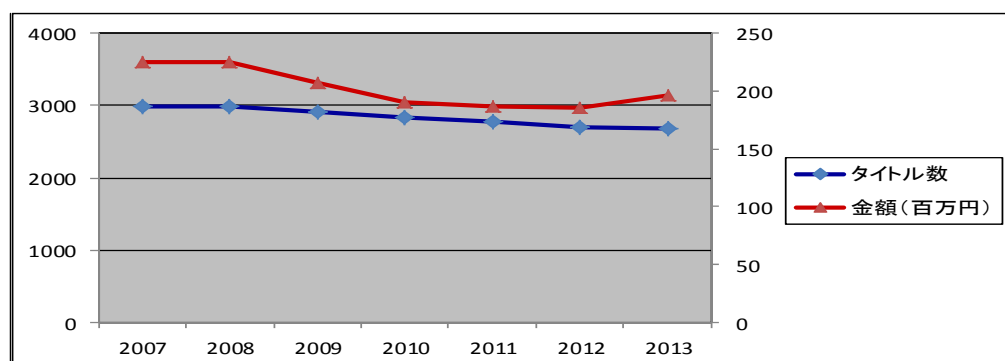
(2) 上記以外の外国雑誌購読に係る経費補填

冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なものについては、全学経費から、当該雑誌購読所要額の 20% を補填する。

- ・ 平成 24 年外国雑誌の契約は、点数・金額とも若干の減少となった。平成 25 年は契約点数が若干減少した一方、契約金額がやや上昇している。これは雑誌の価格上昇に加え、前年度と比較して円安傾向にあったことによる。

平成 24 年契約点数 2,709 点 → 平成 25 年 2,674 点 (1.3%減)
 平成 24 年契約金額 約 186 百万円 → 平成 25 年 約 196 百万円 (5.4%増)

<外国雑誌購読推移>



＜データベースの整備＞

主な導入データベースは次のとおりである。（全てウェブアクセス）

	分野等	導入	範囲	備考
Web of Science SCIE	自然科学 (引用索引)	H15	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science SSCI	社会科学 (引用索引)	H21	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science AHCI	人文学 (引用索引)	H21	1975～	H22 バックファイル追加
JCR Web	全分野	H17		
MathSciNet	数学	H13	1940～	
SciFinder Academic	化学	H16	1840～	利用申請が必要
Readers' Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	H18.4 より Web 版に変更 同時アクセス 1
Business Periodicals Index	経営学	H3	1982～	同上 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	同上 同時アクセス 1
EBSCOhost (Business Source Premier, PsycInfo, PsycArticles, CINAHL)	経営学 心理学 看護学	H22		
HeinOnline	法学	H22		アクセス制限なし
Lexis.com	法学	H22		利用申請が必要
Westlaw International	法学	H22		
OECD iLibrary	多分野	H22		H22 に「Source OECD」より 名称変更
ProQuest Dissertations & Thesis	多分野	H22		抄録と索引のみ
CiNii	多分野	H15	多種	機関別定額制
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
メディカルオンライン	医学	H22		
官報	官報記事	H18	1947.5～	同時アクセス 2
日経テレコン21	新聞記事等	H18	1975～	H19.7 より全学利用可
*JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		同時アクセス 4
*KOD(研究社オンライン・ディクショナリー)	辞典	H21		同時アクセス 5
*MAGAZINEPLUS	国内雑誌記事	H18	1945～	同時アクセス 3
*JDreamII	科学技術・ 医学・薬学	H19		同時アクセス 8 H25 より JDreamIII に変更
*聞蔵 II ビジュアル(朝日新聞)	新聞記事	H12	1879～	同時アクセス 3
*ヨミダス歴史館	新聞記事	H21	1874～	同時アクセス 2

*毎索	新聞記事等	H21	1872～	H23「毎日 News パック」より名称変更 同時アクセス 2
*Marquis bibliographies online	人名録	H21	1985～	H24「Who's Who」より名称変更 同時アクセス 1

- ・平成 15 年度途中に導入した引用索引データベース Web of Science SCIE（自然科学系）は、平成 18 年度までは間接経費、平成 19～24 年度は教育研究基盤資料整備費で契約を維持した。
- ・タイトル先頭に*を付したものは、H18 年度より学生資料費として措置されている「e-study」資料費により契約している。
- ・Business Periodicals Index は、平成 24 年に廃刊となった。
- ・各データベースの利用は別添統計のとおりである。学術分野やデータベースの特性から、個々の利用度は大きく異なっている。

＜電子ジャーナル等バックファイルの整備＞

平成 24 年度は、次の電子ジャーナルバックファイルの整備を行った。

- ・Wiley-Blackwell バックファイル Life Sciences パッケージ 12 誌
- ・Wiley-Blackwell バックファイル Angewandte Chemie International Ed.ほか計 4 誌

＜電子ブックの整備＞

学内で利用できる主な電子ブックは次のとおりである。（全てウェブアクセス）

	分野	購入年度	タイトル数
*Elsevier Handbooks in Economics	経済学	H20-(継続)	30
*Emerald Business, Management and Economics eBook Series Collection	経営学、経済学	H21	450
LWW Doody's Core Collection	医学	H21	129
**NetLibrary: ネットライブラリー	多種	H22-(随時)	451
Oxford Handbooks Online	経営学、哲学、政治学、宗教学	H22	83
ScienceDirect レファレンスワークス	多分野	H23	21
*Springer eBooks Mathematics & Statistics	数学	H17-(継続)	2900

注) *部局予算による購入

**部局予算による購入分を含む

◆評価と課題

電子ジャーナルおよびデータベースは研究者（大学院生を含む）にとって、不可欠な学術情報基盤環境となっている。平成 19 年度から 3 年間は、附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入し、電子ジャーナルを含む外国雑誌及び各種データベース等の維持・整備を図った。また附属図書館審議会答申「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」（H21.2.12）に基づいて、平成 22 年度から負担方式を、部局負担から間接経費に切り替え、全学共通経費と間接経費により、電子ジャーナル等の提供・維持を実施した。

平成 24 年以降は円安傾向が急速に進みつつあることから、値上げに加えて為替変動による価格高

騰への対応が課題となる。また海外から配信される電子コンテンツへ消費税課税する方針が財務省で検討されており、これも視野に入れて将来の予算確保に努める必要がある。

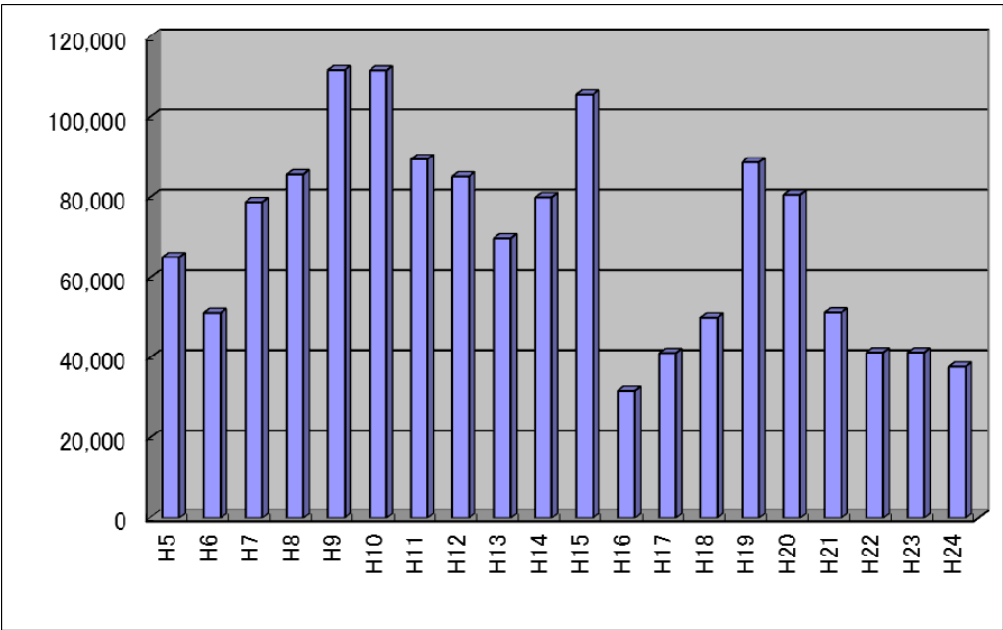
電子ブックについては、海外図書館と比べると、国内図書館において普及が全般的に遅れているのが現状であり、本学においては部局予算による購入がこれまで中心であった。しかし今後、電子ブックの発行点数が増える見通しであることから、図書館の予算でも若干の先行投資をしているところである。国内出版物の電子版は徐々に増えつつあり、今後の電子ブック出版の動向には注意する必要がある。

（３）蔵書目録データベースの整備

＜目録遡及入力事業＞

- 目録遡及入力は学内予算措置を得て平成４年度から事業を開始し本年度で 21 年目となった。この間、科学研究費補助金（社会科学文献・画像データベース作成事業）の獲得や国立情報学研究所との共同事業への参加など外部資金による入力にも努め、遡及入力総数は平成 24 年度実績を加えると約 146 万冊となった。

＜年度別入力冊数＞



- 平成 24 年度計画と経費
外部委託による入力と、館員による研究室からの返納図書等の入力を合わせ、35,000 冊を目標とした。

電子図書館事業経費(6,000 千円)	20,000 冊
館員入力	15,000 冊

- ・ 平成 24 年度入力実績 37,762 冊

電子図書館 事業 (外部委託)	総合・国際文化学図書館	旧教養数学図書	5,400 冊
	自然科学系図書館	旧兵庫農科大学蔵書 数学科図書室図書	4,241 冊
	人間科学図書館	旧姫路師範 兵庫師範 明石分校等蔵書	10,569 冊
館員入力	各館室	研究室戻り等	17,552 冊

◆評価と課題

学内経費による外部委託と館員入力で目標を上回る入力を達成できた。総合・国際文化学図書館においては、理学部数学教室の管理下にある旧教養数学図書を外部委託し、特殊資料を除く遡及入力がほぼ完了した。人間科学図書館においては、旧姫路師範・兵庫師範・明石分校等蔵書を外部委託し、洋書を除き師範学校関係の遡及入力がほぼ完了した。また、自然科学系図書館においては、数学科図書室図書と旧兵庫農科大学図書の一部を外部委託した。次年度以降も、継続して入力を進めていく予定である。

現在、全蔵書の約 80% が OPAC で検索できるようになっており、残る未入力冊数は約 70 万冊で全蔵書の約 20% にあたる。このうち館室配置図書については、和・洋古書、漢籍などの特殊資料と製本雑誌を除いて、第 2 次中期計画期間中（平成 22～27 年度）に入力を完了することを目標に遡及計画を進めていくこととなった。（附属図書館運営委員会[平成 24 年度第 7 回開催]に「平成 24～27 年度遡及入力計画概要」として資料配布の上報告）

< 各館室の主な未入力資料群（平成 24 年度末現在） >

総合・国際文化学図書館	漢籍、和古書、研究室備付図書
社会科学系図書館	マイクロ資料、和洋古書、中央図書、研究室備付図書
自然科学系図書館	旧兵庫農科大学蔵書、研究室備付図書
人文科学図書館	漢籍、和古書、研究室備付図書
人間科学図書館	研究室備付図書
医学分館	研究室備付図書
経済経営研究所図書館	アメリカ文庫、附属企業資料総合センター図書、研究室備付図書

（４）資料の保存

＜貴重資料の保存＞

- ・ デジタル化事業の一環として住田文庫の「御城米送り請取りひかへ」ほか計３点を修復した上でデジタル化した。（デジタル公開中）
- ・ 海事科学分館所蔵の渋谷文庫をより保存環境の良い場所(１号館２階書庫３)へ移設した。一部の資料には、劣化が見られたので移設前に燻蒸とクリーニング処理を行った。

＜一般資料の廃棄＞

- ・ 学内各館室で重複所蔵および蔵書点検後３年以上所在不明の図書・製本雑誌 18,283 冊の廃棄を行った。

館室名	冊数
総合・国際文化学図書館	4,954
社会科学系図書館	1,271
自然科学系図書館	4,844
人文科学系図書館	304
人間科学系図書館	1,902
保健科学図書室	4,809
経済経営研究所図書館	144
海事科学分館	55
合計	18,283

◆評価と課題

平成 24 年度第 7 回附属図書館運営委員会において「資料収容力確保策の見直し」が協議され、「平成 27 年度末時点において、約 5 年間の受入量にあたる収容力を確保するため、収容スペース狭隘化の逼迫度が高い館室について重点的に人員・費用を充てて集中的に整理作業を実施する」ことが了承された。

平成 25 年度からは、上記に基づいて具体的計画を策定し整理作業を進めていくことになる。

(5) その他の研究支援サービス

<相互利用サービス>

区分			総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
複写	受付	H24/H23	0.98	1.02	0.86	0.77	0.84	0.54	0.93	1.13	0.67	0.94
		H23 年度	283	4,170	1,258	655	509	313	1,868	1,072	375	10,503
		H24 年度	278	4,253	1,087	502	426	170	1,738	1,212	253	9,919
	依頼	H24/H23	1.05	1.05	0.93	0.98	1.89	0.57	0.87	2.00	1.41	1.20
		H23 年度	862	742	815	862	747	30	1,323	712	83	6,176
		H24 年度	908	781	753	843	1,410	17	1,149	1,427	117	7,400
貸借	受付	H24/H23	1.01	1.08	1.13	0.92	0.84	0.64	0.42	1.36	0.73	1.02
		H23 年度	270	1,670	149	427	216	28	12	14	93	2,879
		H24 年度	274	1,809	168	393	182	18	5	19	72	2,940
	依頼	H24/H23	1.14	0.99	1.64	0.65	0.79	2.15	2.25	6.67	0.33	0.92
		H23 年度	242	264	76	606	163	20	4	3	3	1,381
		H24 年度	275	261	125	391	128	43	9	20	1	1,253

- ・ 館室によって増減はあるが、全体として前年度と比べて文献複写の受付は 6%減、依頼は 20%増、現物貸借の受付は 2%増、依頼は 8%減となっている。

◆評価と課題

平成 24 年度の利用は全体としては、前年度並みといえる。文献複写依頼が前年度より約 20%増加していることについては、平成 24 年度だけの一時的現象のようにも思われるが、今後の推移に注目していきたい。

受付業務は、文献複写で約 1 万件、現物貸借で約 3,000 件近くの利用がある。特に社会科学系図書館は、複写は全体の約 43%、貸借は約 62%を受付けており社会科学系の外国雑誌センター館として、また地域の中核となる図書館として、その責務を果たしていくことが求められている。

平成 23 年 4 月 1 日より、中華民国(台湾)の國立成功大學図書館と相互利用を開始した。当面は「文献複写」のみに限定して実施することになっている。このような海外の図書館との協力を含め、今後はより多様化するニーズに応えるサービスを展開していかなければならないであろう。

4. 社会連携・情報発信

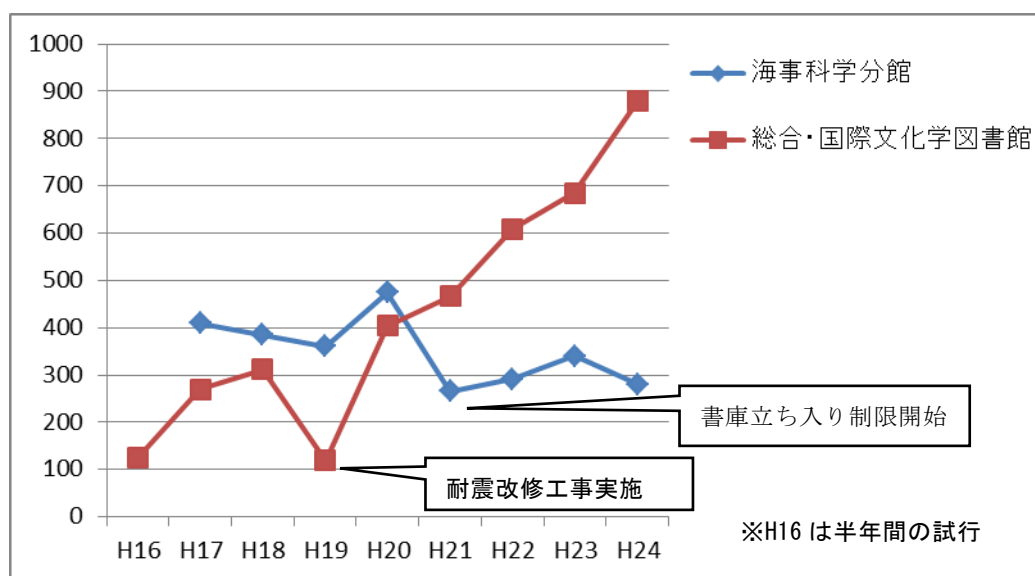
(1) 一般市民への資料提供サービス

<一般市民の図書館利用>

- 総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。平成24年度の利用登録者数は156名で、平成23年度より32名増加した。

貸出冊数は総合・国際文化学図書館で開始当初の約3倍の879冊になった。海事科学分館は書庫立ち入り制限後ほぼ横這いであまり変化がない。

<貸出冊数の推移>



<展示会の開催>

- 資料展

平成24年10月19日(金)～12月18日(火)

「開学のころ ～110 Years Ago～」

会場 神戸大学附属図書館

社会科学系図書館「2階展示コーナー」

時間 月～金曜日 8:45～21:30

土～日曜日 10:00～19:00

(祝日・第1日曜日を除く)

展示内容：以下の4つのサブテーマに分けて、
関連資料やパネルを展示

- 1) 高商の風景
- 2) 神戸そのころ
- 3) 文学と出版
- 4) 社会と世相



- ・ 巡回展

平成 25 年 1 月 18 日（金）～2 月 7 日（木）

「開学のころ ～110 Years Ago～」オープンアカデミー巡回展

会場 神戸大学社会科学系アカデミア館「2 階オープンアカデミー」

時間 月～金曜日 10：00～17：00 （土・日曜日休館）

展示内容 パネル展示のみ

- ・ 本年度は、「開学のころ ～110 Years Ago～」と題して、本学の創立起点となる神戸高等商業学校（神戸高商）が設置された、1902（明治 35）年頃に焦点をあて、当時の様々な出来事と資料に焦点を当てた展示を行った。
- ・ 前年度と同様に、夜間や土・日の来場希望者にも配慮し、開催時間を会場である社会科学系図書館の開館時間に合わせた。
- ・ 会場の「2 階展示コーナー」は、雑誌閲覧室・開架図書室への連絡通路部分であるため、正確な来場者数をカウントすることはできないが、資料展開催期間中に社会科学系図書館に来館した利用者の多くが資料展を観覧したものであると思われる。なお、10 月 27 日（土）の第 7 回神戸大学ホームカミングデイにおける見学者は 343 名で、前年度より 214 名増えた。
- ・ アンケート回収数は 43 件（学内者 20 件、学外者 23 件）で、大半の感想は極めて好意的で、職員にとっても励ましとなるものが多かった。
- ・ 学内各部局、近畿地区各大学、及び近隣の公共図書館等へチラシ、ポスターを送付して広報した。
- ・ 図書館ホームページに展示品目録等を公開している。

＜公共図書館との協力＞

- ・ 前年度に引き続き、兵庫県大学図書館協議会で加盟館の図書館相互協力便覧や一般市民への公開状況を取りまとめ、同協議会ホームページ上で情報公開を行った。
- ・ 平成 20 年度から、兵庫県立図書館で公開されている兵庫県内図書館横断検索に参加し、県内公共図書館等との横断的な所蔵検索が可能となっている。

◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスは、総合・国際文化学図書館では平成 19 年度に改修工事の影響で一時的に貸出数が落ち込んだものの、平成 17 年度の開始以来ずっと増加している。海事科学分館は書庫立ち入り制限の実施によって平成 21 年度に大きく減少し、その後は、ほぼ横這い状態である。これは、総合図書館と専門図書館という両図書館の性格の違いが表れていると思われる。地域社会への貢献活動のひとつとして定着していると思われる。

資料展は、前年度と同様にホームカミングデイを含む期間中に社会科学系図書館内で開催し、その後、館外でパネル巡回展を行うという 2 本立てで実施した。2 回目となった巡回展は、今回もパネル展であったにもかかわらず 415 名の来場者があり、前年度の 373 名を上回った。附属図書館とその所蔵資料を広く知ってもらうための貴重な機会として、今後も継続していくように努めなければならない事業である。

（２）震災文庫

＜資料収集と一般公開＞

- ・引き続き、様々なチャネルから情報収集を行い、購入や寄贈依頼等の積極的な収集活動により関連資料の網羅的収集に努めた。1,592 件（H23 年度は 1,426 件）を収集し、資料所蔵総数は 5 万件を超えた。

	全件数 (タイトル数)	H24 新着		全件数 (タイトル数)	H24 新着
図書資料	7,367 (6,505)	194 (177)	地図資料	137 (131)	3 (3)
雑誌資料	13,296 (3,283)	232 (63)	動画資料	298 (249)	9 (5)
新聞・広報誌資料	16,813 (5,459)	798 (669)	音声資料	100 (80)	3 (3)
パンフレット資料	6,019 (5,879)	132 (98)	コンピュータ資料	93 (90)	5 (3)
一枚もの資料	6,469 (6,466)	216 (213)	www	9 (3)	2 (2)
写真資料	111 (93)	-2 (1)	総合計	50,712 (28,238)	1,592 (1,237)

注) 雑誌等の各号を 1 冊ずつ数えた数が「件」、同一タイトルを 1 と数えたのが「タイトル」。

写真資料はコレクション単位（概ね撮影者単位）を 1 としているため件数が少ないが、写真 2 万枚強のコレクションも含まれている。尚、データを統合したため H24 新着件数が「-2」となっているが、資料自体は減少していない。

＜震災デジタルアーカイブ＞

- ・資料全体のタイトル等だけでなく掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なデータを継続的に作成している。本年度は約 5,000 件を入力し、その結果、データベースのレコード総数は 27 万を超えた。
- ・震災関係資料について、著作権許諾の得られた写真資料 3 件（151 枚）、図書 1 冊をデジタル化公開した。
- ・媒体変換の試行として FD, MO, Photo CD 等 61 点について変換作業を行った。
- ・各機関から、防災資料作成等のための転載許可願いが、写真を中心に 28 件（前年度 29 件）あり、著作権者へ許諾確認を行い回答した。
- ・平成 21 年 1 月より開始した人と防災未来センターと震災文庫の「震災資料横断検索」は兵庫県立図書館を加えて 3 機関での横断検索を継続中であり、年 4 回データ更新を行った。

＜震災文庫の活動＞

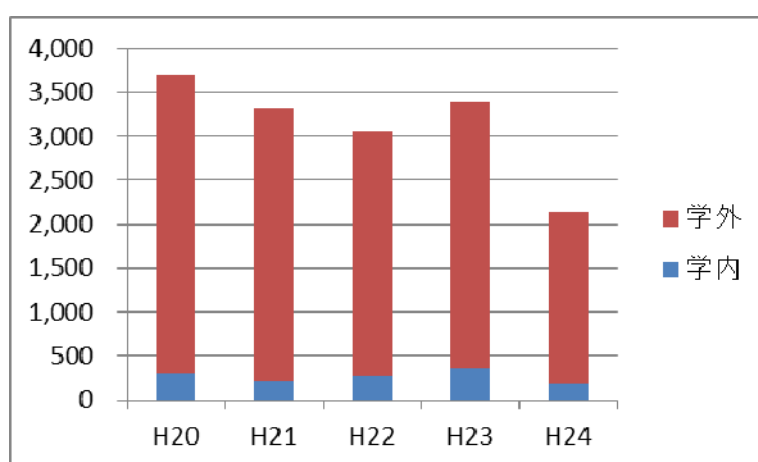
- ・見学 18 回（約 117 名）、取材 4 回（8 名）に震災 WG のべ 32 名で対応した。
- ・平成 25 年 3 月 8 日に、「第 2 回東北被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」を人文科学研究科と協力して開催し、27 名の参加があった。
- ・平成 25 年 3 月 14 日に、総務省、筑波大学知的コミュニティ基盤研究センター、九州大学附属図書館主催「第 2 回 Digital Archive Network ワークショップ」の招待講演で報告を行った。
- ・図書館雑誌編集部からの要請により『図書館の地震対策：マニュアル作成の手引き』への書評を震災文庫 WG として寄稿した。
- ・「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）」と連携し、平成 25 年 3 月 7 日にポータルサイトが正式公開された。

◆評価と課題

平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、震災資料アーカイブの先例として当館「震災文庫」が注目され、被災地からの見学や問合せは本年度も続いた。一方で HP アクセス数は減少している。これは横断検索サイトや震災資料サイトの増加に伴うアクセスの分散化によるものと考えられる。

課題として、引き続き収集資料の媒体の問題が挙げられる。デジタルデータの中にはハードウェアの生産終了やファイルフォーマットのサポート終了などの要因により再生環境が失われ、利用不可能となる恐れのあるデータが生じつつある。貴重な資料を今後も利用可能な状態で保存することが大切であり、早急に収録メディアおよびデータの変換作業（マイグレーション）を行う必要がある。優先順位を決め作業しているが、変換作業完了までには数年間かかる見込みである。

＜震災文庫トップページ月平均アクセス数推移＞



（３）電子図書館システムによる情報発信

＜「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築＞

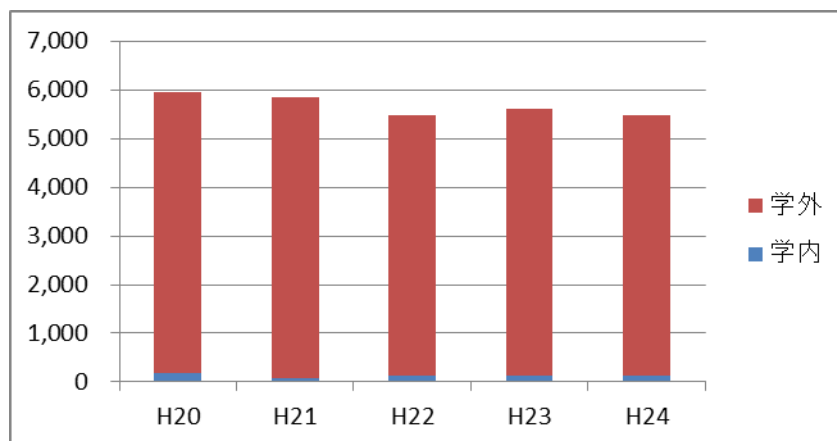
- ・ 同システムは当初全国 5 大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成 10 年度補正予算で措置され、平成 11 年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- ・ 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を 3 本柱に事業を推進し、デジタル化した資料を Web 上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費（平成 11-15 年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成 16-23 年度 戦前期新聞経済記事文庫に措置）を充ててきた。
- ・ コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べたとおりである。

＜経済関係資料デジタル化 1＞

- ・ 新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、科学研究費補助金研究成果公開促進費を申請したが不採択となり、電子図書館事業費（経済関係資料）より捻出してデジタル化を行った（予算額約 39 万円）。このため、追加公開出来た記事数はごくわずかの「政治・行政」分野約 770 記事にとどまった。（累計公開記事数は約 27 万記事）。
- ・ 当文庫データベースの今後の運用に役立てるため「活用事例集」ページを作成し、5 月から HP 上

で公開している。

＜新聞記事文庫トップページ月平均アクセス数推移＞



＜経済関係資料デジタル化 2＞

- ・ 住田文庫資料「御城米送り請取りひかへ」ほか計 3 点を修復・デジタル化公開した。
- ・ 住田文庫古地図「鹿児島縣下徳之島全圖」1 点をデジタル化公開した。

＜学内研究成果資料デジタル化＞

- ・ 機関リポジトリは開設 7 年目となり、平成 25 年 3 月末現在 17,279 件（前年度末 16,075 件）の学術成果を一般公開している。詳細は次項に述べる。
- ・ キク科の染色体数データベース（渡邊邦秋名誉教授作成）のデータ更新を続けている。更新頻度は月 1 回、本年度のレコード増加数は 20,606 件で、累計レコード数は 107,682 件である。
- ・ 引き続き学内研究成果メタデータ（書誌情報）として、紀要類目次情報（546 件入力、累積 38,671 件）、博士学位論文情報（302 件入力、累積 8,998 件）の入力を進めた。
- ・ 博士学位の新規授与分について要旨の電子化公開を行った。また全文公開のため著作権調査を行い、可能なものについて電子化公開を行った（本年度 323 件公開）。3 月に学位規則が改正され、平成 25 年 4 月以降の博士学位論文は要旨・全文ともに原則としてリポジトリからインターネット公表することとなった。

＜社会科学系図書館 大壁画「青春」と「壁画『青春』画稿」のデジタル化公開＞

- ・ 社会科学系図書館本館 2 階に位置する大壁画「青春」の構想の元となった、「壁画『青春』画稿」の修復・デジタル化について六甲台後援会からの依頼を受け、修復とともにデジタル画像化し、神戸大学附属図書館 HP に壁画・画稿の全体画像とあわせてテーマや各シーン、画稿中のデッサンに添えられた言葉を紹介するページを作成し、インターネット公開した。

◆評価と課題

新聞記事文庫はその規模の大きさと希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、HP へのアクセス数は継続してデジタルアーカイブ中トップであり、主に外部からの利用が多数を占める（H24 年度トップページアクセス数 63,992 件のうち 97%以上が学外からのアクセスである）。本年度は科学研究費補助金研究成果公開促進費の不採択により追加公開できた記事数はわずかにとどまったが、次年度は交付内定を受けた。引き続き計画的に電子化をすすめ、戦前期の

完成を目指したい。

「学内研究成果」については、学術論文は機関リポジトリ（次項）へ、その他成果はデジタルアーカイブへ登録している。今後も継続してコンテンツ収集に努めたい。

（４）機関リポジトリによる情報発信

＜コンテンツ収集活動＞

- 平成 18 年度に稼働を始めた神戸大学学術成果リポジトリ（Kernel）は、比較的順調に成長を続けている。平成 24 年度末現在のコンテンツ数は 17,000 件を超え、1 年間で約 1,200 件増加した。

＜機関リポジトリコンテンツ種別件数＞

一般雑誌記事	54	図書	23	会議発表論文	40
データベース	2	紀要論文	14,148	学術雑誌論文	1,528
会議発表用資料	262	研究報告書	81	博士学位論文	1,130
教材その他	11			合 計	17,279

- 学術雑誌掲載論文について、試行的に人間発達環境学・国際文化学・人文学 3 研究科を対象に「論文抜刷キャンペーン」を行い、教員に論文登録用学内便封筒を配布したところ約 70 件の論文をいただき、収録することができた。
- コンテンツの効率的な収集を目的として、各館の職員により「リポジトリ WG」を設置した。

＜広報活動＞

- 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 9 号および第 10 号を発行した。
- 登録者へのサービスとして、毎月 1 回ダウンロード数お知らせメールの自動配信を実施した。

＜CSI 事業＞

- CSI 事業領域 3 において、筑波大学を主管とする「オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト」に引き続き参画し、学協会の著作権ポリシーについて調査を進めた。また、この一環で「機関リポジトリ担当者のための著作権ワークショップ(SCPJ ワークショップ)」(12 月、於：大阪大学)に講師を派遣した。
- CSI 事業領域 2 では、島根大学を主管とする「全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト」に参画し、自治体刊行の遺跡報告書（神戸市 24 点、加古川市 5 点）の電子化を行った。
- CSI 事業としては、他に「平成 24 年度地域ワークショップ(近畿)DRF-Kinki」(9 月、於：神戸松蔭女子学院大学)に 1 名、「平成 24 年度第 1 回機関リポジトリ新任担当者研修」(9 月、於：岡山大学)に 1 名、講師を派遣した。

＜その他＞

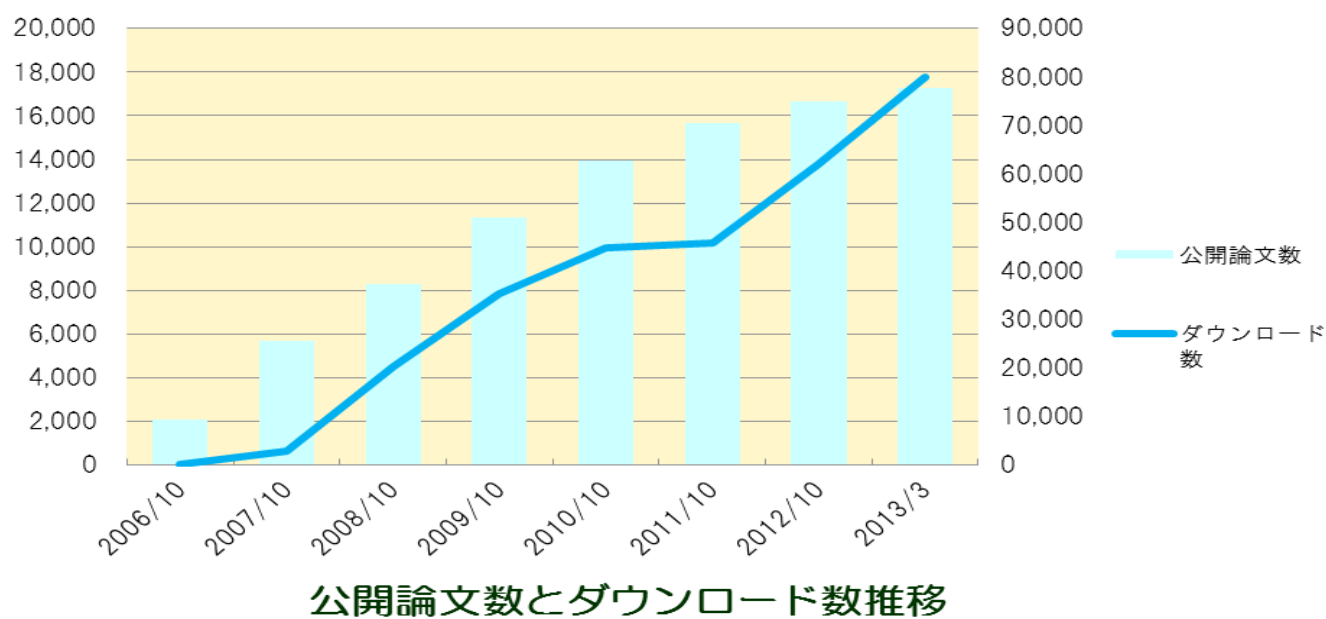
- 博士学位論文「使用許諾書」の英文版を作成・公開した。

◆評価と課題

コンテンツ数の増加率にかかわらず、論文のダウンロード数は順調に増加している。

学位規則の改正により、平成 25 年度より、学位論文の公表に機関リポジトリを利用することとなった。関連部局と連携し、論文データの授受・公開・保存が支障無く実施できるよう体制・手順の検討を行う必要がある。

< Kernel 収録論文数およびダウンロード数推移 >



(5) 国際連携

<韓国海洋大学校図書館との協力推進>

前年度に続き韓国海洋大学校図書館との協定にもとづく職員交流を行った。本年度は図書館長と職員 2 名を韓国海洋大学校へ派遣した。先ず 12 月 5 日、韓国海洋大学校において、図書館業務全般について説明を受けた。その後 2 日間にわたり、ソウル大学図書館、延世大学学術センター・図書館、釜山大学図書館を訪問した。館種や規模の異なる 4 つの図書館を訪問することにより、大韓民国の最新の図書館事情についての理解を深めることができた。

研修日程

月 日	内 容
12 月 5 日	韓国海洋大学校(概要説明、館内見学)
12 月 6 日	ソウル大学図書館、延世大学学術情報センター・図書館見学
12 月 7 日	釜山大学図書館見学

【研修風景】



(於：延世大学学術情報センター・図書館)

◆評価と課題

韓国海洋大学校とは平成 21 年度から 4 年連続で相互に職員を派遣し合い、研修を行っており、貴重な情報交換の場となっている。今後も双方にとって有益な交流を継続していくためには、共通する問題点や互いに学ぶべき点を探りだし、課題を絞った研修を企画することが求められるであろう。

（６）大学文書史料室

大学文書史料室では、公文書管理法に基づき、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関としての責務を全うし積極的な社会貢献を図るため、平成 24 年度においては次の事業を実施した。

＜法人文書移管協議＞

- 平成 24 年度法人文書移管協議は、神戸大学法人文書 5,759 件を対象に 7 月から 12 月までの約 5 ヶ月間実施され、移管 774 件、廃棄 4,985 件が決定された（移管率 13.4%）。この協議結果に基づき、3 月末までに 474 件の法人文書が大学文書史料室に移管された。なお、残り 300 件の移管決定分のうち、12 件は未作成や別文書との統合などによる不存在が判明したため廃棄扱いとなり、288 件は保存期間満了日が平成 24 年度末であるため平成 25 年度移管予定である。

平成 24 年度法人文書移管協議の結果

移管協議の対象	総件数	協議結果		移管年度
		移管決定	廃棄決定	
平成 21 年度末(2010 年 3 月 31 日)保存期間満了分	1,233 件	167 件	1,066 件	H24
平成 23 年度末(2012 年 3 月 31 日)保存期間満了分	2,008 件	258 件	1,750 件	
その他（注 1）	304 件	61 件	243 件	
（小計）	3,545 件	（注 2）486 件	3,059 件	
平成 24 年度末(2013 年 3 月 31 日)保存期間満了分	2,214 件	288 件	1,926 件	H25
合計	5,759 件	774 件	4,985 件	H24-25

（注 1）「その他」の主な対象は、前年度移管協議の対象であった平成 22 年度末保存期間満了文書のうち、まだ移管協議が終わっていないもの。

（注 2）移管決定 486 件のうち 12 件は、移管協議の終了後に、未作成や別文書との統合などによる不存在が判明したため、廃棄扱いとなり移管されなかった。

＜法人文書等の受入れ状況＞

- 平成 24 年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等 1,567 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 283 件（以上、公文書管理法 2 条 7 項が規定する「特定歴史公文書等」に該当）、他大学史等の参考図書 66 件、計 1,916 件である。

平成 24 年度における法人文書等の受入れ状況

受け入れた法人文書等			受入れ件数（注2）	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書（移管協議に基づく移管）	474 件	1,850 件
		法人文書（上記以外の移管）（注1）	645 件	
		学内印刷刊行物	448 件	
	（小計）	1,567 件		
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		283 件	
参考図書	寄贈図書のうち本学とは無関係のもの（他大学史等）		66 件	
合計			1,916 件	

（注 1）「上記以外の移管」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿（神戸大学法人文書管理規則第 10 条）に未掲載の古い法人文書を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。

（注 2）「受入れ件数」の数値は、実際の冊数や目録入力件数とは異なる場合がある。その理由は、移管寄贈寄託受入れ時点では、分冊や関連文書等をまとめて 1 件とする場合があるためである。

<目録入力>

- ・ 平成 24 年度における目録入力の件数は 6,668 件であり、目録総件数は 28,085 件となった。
- ・ インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。

平成 24 年度における目録入力実績の内訳

対象			目録入力件数（注）	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書	3,186 件	6,425 件
		学内印刷刊行物	505 件	
	（小計）		3,691 件	
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		2,734 件	
参考図書	寄贈図書のうち本学とは無関係のもの（他大学史等）		243 件	
[上記の合計] 平成 24 年度目録入力件数（①）			6,668 件	
[参考] 平成 22-23 年度目録入力件数（②）			21,417 件	
目録総件数（①+②）			28,085 件	

（注）「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。なお、「目録入力件数」の数値は、移管寄贈寄託受入れ時点の件数とは異なる場合がある。その理由は、移管寄贈寄託受入れ時点では、分冊や関連文書等をまとめて 1 件とする場合があるためである。

<利用状況>

- ・ 平成 24 年度における資料利用件数は 225 件（60 名）であり、その内訳は下表のとおり。
- ・ 国のガイドラインに沿って前年度末に制定された大学文書史料室利用細則に基づき、「簡便な方法による利用」（簡易閲覧申込による利用）及び「利用者による撮影」を開始した。
- ・ 一般利用者の利用に供するため、展示会及びレファレンス等に積極的に対応した（次項以降参照）。

平成 24 年度における利用状況

	利用件数	利用者数	閲覧	写しの交付
利用請求による利用	160 件	38 名	149 件	82 件(386 枚)
移管元部局利用請求による利用	7 件	1 名	7 件	0 件(0 枚)
簡易閲覧申込による利用	58 件	21 名	45 件	23 件(170 枚)
合計	225 件	60 名	201 件	105 件(556 枚)

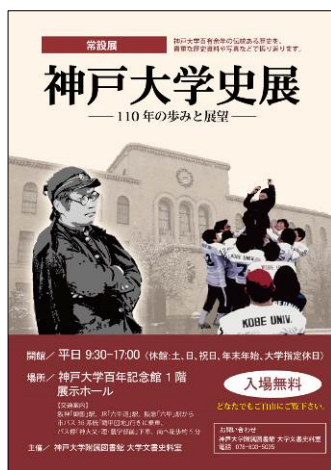
（注）「利用請求」とは、公文書管理法 16 条に基づく「利用の請求」を指し、「移管元部局利用請求」とは、同法 24 条に基づく「移管元行政機関等による利用の特例」を指し、「簡易閲覧申込」とは、国ガイドライン C-13 に基づく「簡便な方法による利用」を指す。「利用件数」とは、利用のあった文書等の件数を指す。なお、利用者の中には、「閲覧」「写しの交付」の両方を利用する場合や、「閲覧」のみ、「写しの交付」のみを利用する場合があるため、「利用件数」と「閲覧」「写しの交付」の件数が異なる場合がある。

<展示会の開催>

- ・ 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—110 年の歩みと展望—」を常時開催（特別展の開催期間は除く）し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 115 点を展示公開した。
- ・ 神戸大学創立 110 周年を記念して「神戸大学 110 年の歩み —創立 110 周年記念—」をテーマに特別展及び巡回展（神戸・東京）を開催した。創立の起点となる神戸高等商業学校をはじめ多くの前身校を有する神戸大学が、前身校からどのような遺産を継承し、それをいかに活かして今日の全国有数の総合大学に発展したのかを主な視点として、貴重な文書・写真・実物史料など約 250 点を展示公開した。巡回展では会場の都合上実物展示ができないためパネル展（パネル 25 点）とした。なお、来場者数を把握するため、会場入口の人体検知センサ式人数カウンターで自動測定した。
- ・ 平成 25 年 3 月 1 日より、常設展の展示物の一部（写真パネル）をリニューアルして、特別展「神戸大学 110 年の歩み—創立 110 周年記念—」で使用した写真付き大型解説パネルに変更した。

平成 24 年度における展示活動の状況

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展 —110年の歩みと展望—	常時（特別展開催時を除く）	神戸大学百年記念館 1 階 展示ホール	3,276 名
特別展	神戸大学110年の歩み —創立110周年記念—	H24.10.24(水)－ H24.11.02(金)	同上	559 名
巡回展 (神戸)	神戸大学110年の歩み —創立110周年記念— パネル展	H24.11.27(火)－ H24.12.12(水)	神戸大学アカデミア館 2 階 オープンアカデミー	548 名
巡回展 (東京)	神戸大学110年の歩み —創立110周年記念— パネル展	H25.02.12(火)－ H25.02.21(木)	神戸大学東京六甲クラブ	1,732 名
合計				6,115 名



(常設展の案内チラシ)



(特別展の案内チラシ)



(特別展における来場者の様子)



(特別展の展示状況(一部))

<レファレンス>

- ・ 学内外から 221 件（108 名）の照会があり情報提供を行った。

平成 24 年度におけるレファレンス活動

対 象		件数(人数)	対 象		件数(人数)
神戸大学	教員	39 件(19 名)	神戸大	関係諸団体(同窓会等)	16 件(7 名)
	教員以外の職員	82 件(40 名)	他大学	教員	9 件(6 名)
	学生	10 件(5 名)		教員以外の職員	1 件(1 名)
	旧教員	9 件(4 名)	一 般	マスコミ関係	3 件(2 名)
	旧職員	1 件(1 名)		その他(周辺住民等)	40 件(18 名)
	卒業生	11 件(5 名)	合 計		221 件(108 名)

<研修の実施>

- ・ 本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。

平成 24 年度における研修実施の内容

研修名	対象者	テーマ	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新任教職員	神戸大学法人文書管理について	H24. 04. 09	91 名	総務部人事企画課主催 総務課との共同で講師派遣
文書管理者研修	神戸大学各部局の文書管理者又は文書管理担当者	神戸大学法人文書の適切な管理に向けて	H25. 03. 13	65 名	総務部総務課との共催
大学文書史料室研修	大学文書史料室員	①神戸大学史の概要 ②歴史資料の裏打ち修復について(工房見学及び実技講習) ③京都大学大学文書館見学会	①H25. 01. 24 ②H25. 02. 21 ③H25. 03. 26	① 4 名 ② 4 名 ③ 3 名	

<デジタル・アーカイブの充実>

- ・ 「デジタル・アーカイブ」の充実を図るため、『神戸商大新聞』など旧制前身校の学校新聞 6 種類について、デジタル画像 1,294 点を作成し、新聞記事の見出し 6,945 件を入力して、大学文書史料室ホームページ上でインターネット公開した。その内訳は下表のとおり。

http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho_c/index.php?content_id=18

平成 24 年度における電子化事業の状況

対象	デジタル画像作成	記事の見出し入力
『(神戸高等商業学校新聞) 丘人』マイクロフィルム	74 点	606 件
『(神戸高等商業学校新聞) 簡台学報』マイクロフィルム	52 点	541 件
『神戸商大新聞』マイクロフィルム	280 点	2,835 件
『神戸経済大学新聞』マイクロフィルム	10 点	76 件
『神戸高工新聞』マイクロフィルム	566 点	(未完) 2,365 件
『神戸高工月報』マイクロフィルム	312 点	522 件
合 計	1,294 点	6,945 件

<規則の改正>

- 大学文書史料室利用等要項の一部改正（平成 24 年 7 月 6 日改正、7 月 9 日施行）
出入国管理法の改正に伴い、大学文書史料室利用等要項第 13 条の外国人登録証明書及び外国人登録原票の写しを本人確認の書類とする規定を新在留管理制度にあわせて改正した。
- 大学文書史料室利用等要項の一部改正（平成 24 年 9 月 28 日改正、10 月 1 日施行）
著作権法の改正に伴い、大学文書史料室利用等要項の附則中、著作権法に係る調整規定を削除。
- 大学文書史料室利用等要項の一部改正（平成 24 年 12 月 20 日改正、同日施行）
不正アクセス禁止法の改正に伴い、大学文書史料室利用等要項第 8 条第 2 号の不正アクセス禁止に係る規定を改正した。

<その他>

・ 室員の人事異動

平成 24 年 4 月 1 日付けで大学文書史料室員の人事異動があり下表のとおり実施された。なお、職名については、同年 4 月 2 日に次のとおり決定された。＜決定事項＞：「人事記録上の職名は「特命専門員」だが、室の円滑な職務遂行のため、附属図書館長が、別の職名として「大学文書史料室長補佐 兼 専門調査員」を使うことを命じた。」

平成 24 年度における室員の人事異動

所属部局	職名	氏名	発令日	異動内容
附属図書館	講師	野邑 理栄子	H24. 04. 01	H24. 03. 31 限り任期満了退職
附属図書館	特命専門員	野邑 理栄子	H24. 04. 01	任期付採用（～H27. 03. 31）

・ 内閣総理大臣への状況報告

平成 24 年 5 月 31 日付けで、公文書管理法第 26 条第 1 項の規定に基づき、平成 23 年度特定歴史公文書館等の保存及び利用の状況を大学文書史料室長名で内閣総理大臣に報告した。

・ 他機関からの見学を受入れ

他機関からの見学（視察）が 20 機関（81 名）あり、その内訳は下表のとおり。

平成 24 年度における見学の受入れ状況

年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
H24. 06. 21	文部科学省職員（研究振興局情報課長ほか）	1 機関（2 名）
H24. 06. 22	第 8 回国大図協マネジメント・セミナー参加者（東京芸術大学、信州大学、茨城大学、京都教育大学、奈良女子大学、山口大学、総合研究大学院大学、放送大学学園など 10 大学）	10 機関（12 名）
H24. 06. 22	東京学芸大学（副学長ほか）	1 機関（3 名）
H24. 06. 26	兵庫医科大学（後援会・同窓会連携室）	1 機関（2 名）
H24. 07. 09	筑波大学（文書館設置準備担当教員）	1 機関（1 名）
H24. 07. 20	武庫川女子大学（学院資料室主任教員）	1 機関（1 名）
H24. 10. 10	灘区（灘区民まちづくり会議委員、灘区行政関係者）	2 機関（52 名）
H24. 11. 06	お茶の水女子大学（大学資料・歴史資料館担当員）	1 機関（1 名）
H24. 11. 29	一橋大学（附属図書館教職員）	1 機関（3 名）
H25. 03. 08	一橋大学（社会学研究科教員）	1 機関（4 名）
合計		20 機関（81 名）

・ 神戸大学広報誌・同窓会誌への寄稿

本学広報誌『KOBЕ university STYLE』（広報室発行）に、以下を寄稿した。

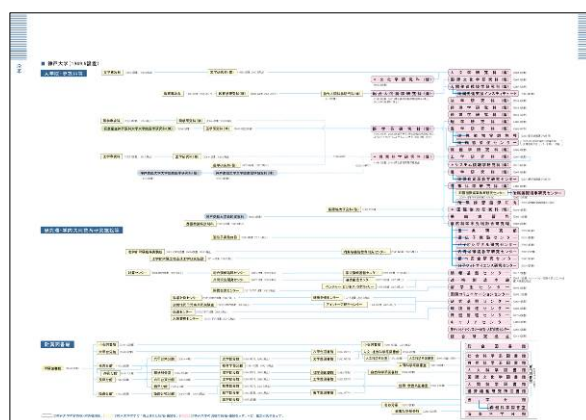
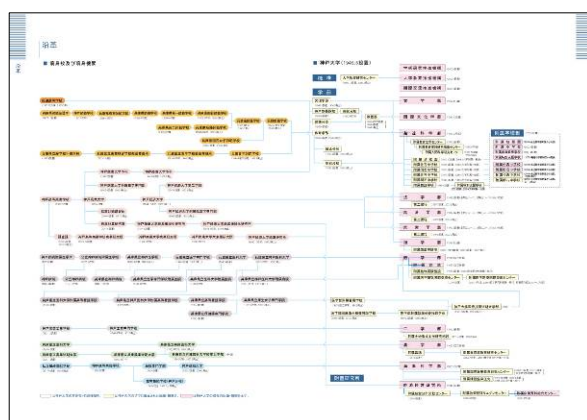
- ・ 「学生寮の今昔」（同誌 Vol.17、平成 24 年 4 月 1 日、14-17 頁）
- ・ 「神戸大学のキャンパス〈その 4〉名谷地区——歴史のひとこま第 196 回」（同誌 Vol.17、22 頁）
- ・ 「神戸大学武道場の歩み」（同誌 Vol.18、同年 10 月 1 日、12 頁）
- ・ 「世紀を超えた神戸大学 ——歴史のひとこま第 197 回」（同誌 Vol.18、20 頁）

本学同窓会誌『凌霄』（凌霄会発行）に、以下を寄稿した。

- ・ 「神戸大学創立の起点について(1)」（同誌 393 号、平成 24 年 5 月号、36 頁）
- ・ 「神戸大学創立の起点について(2)」（同誌 394 号、同年 8 月号、37-38 頁）
- ・ 「神戸大学創立の起点について(3)」（同誌 395 号、同年 11 月号、40-41 頁）
- ・ 「神戸高等商業学校の 2 つの遺構」（同誌 396 号、平成 25 年 2 月号、45-46 頁）

・ 神戸大学沿革図の作成

- ・ 本学学務部発行『学生生活案内 平成 24 年度』掲載の本学沿革図（西暦版）を作成した。
- ・ 本学企画部社会連携課発行『神戸大学概覧 2012』掲載の本学沿革図（元号版）を作成した。
- ・ 本学ホームページ掲載の本学「沿革略図」の更新を担当した。



（『学生生活案内 平成 24 年度』掲載の神戸大学沿革図（左：学部、右：大学院等））

・ 社会科学系図書館の歴史案内パンフレットの原稿作成

平成 24 年 6 月 21 日開催の第 59 回国立大学図書館協会総会（神戸大学附属図書館当番館）で参加者に配布するため、国登録有形文化財である社会科学系図書館の歴史案内パンフレットの原稿（A3 サイズ・両面印刷・二つ折り）を作成した。



（「神戸大学附属図書館社会科学系図書館 歴史案内」パンフレット）

六甲台本館の施設案内パンフレットの原稿作成

経済学研究科からの依頼により、国登録有形文化財である六甲台本館の改修及び一般公開にあわせて、同館の施設案内パンフレットの原稿（A4 サイズ・両面印刷・三つ折り）を作成した。



（「神戸大学六甲台本館 施設案内」パンフレット）

設備の改善

案内サインの設置

前年度末に新設した屋外スロープ付近の3箇所に案内サインを設置した。

展示環境の改善

展示ホール LED 照明化（一部）の開始

節電対策及び経費節減のため、展示ホールの LED 照明化を初めて実施した。平成 24 年度は、史料の退色劣化の原因となる紫外線対策上でも問題視されていた展示ホール入口天井の照明全 4 箇所の白熱電球について、すべて同型の LED 電球（調光器具対応）に変更した。

常設展示物の複製化（一部）の開始

史料原本保護のため、常設展示物の複製化（レプリカ作成）を初めて実施した。平成 24 年度は、①明治初期における医学教育の詳細が分かる神戸医学校生徒直筆の講義筆記ノート 4 冊、②新制神戸大学発足時の状況が分かる現存唯一の「新制神戸大学概観」、の 2 種を対象とした。なお、①のレプリカは表紙及び展示する見開き部分のみ印刷したもの（他頁は白紙）を作成し、②のレプリカは 1 頁目のみ作成した。

◆評価と課題

平成 24 年度は、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」としての責務を果たすため、法人文書移管協議、移管受入れ及び研修実施の定常化、Web 公開目録の定期的な更新、デジタル・アーカイブの充実、展示環境の改善など、アーカイブズ機能の整備と安定化に努めた。また、「簡便な方法による利用」及び「利用者による撮影」の開始、案内サインの増設、常設展一部リニューアルなど、利用者の利便性の向上を図った。さらに、展示会開催、レファレンス、本学国登録有形文化財の一般公開への実質的な協力、本学広報への積極的な協力によって、本学の社会貢献に寄与することが可能となった。

なお、旧百年史編集室所蔵史料のうち個人・団体寄贈史料の一部が未整理及び目録未入力のため、平成 25 年度末までに遡及入力を終了させたい。

5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営

<管理運営全般>

平成 23 年 4 月より部局長経験者である樋口保成館長（理学研究科教授）がその任に当たっている。
3 名の副館長の役割分担も以下のとおり平成 23 年度より継続している。

大塚裕史副館長（法学研究科教授）	社会科学系図書館担当	大学文書史料室長
西野 孝副館長（工学研究科教授）	自然科学系図書館担当	国際交流担当
中山修一副館長（人間発達環境学研究科教授）	評価担当	広報担当

<館内諸会議>

＊開催日時、議事内容等は、巻末添付資料に掲載

① 附属図書館運営委員会

- ・ 平成 24 年度はメール回議を含め 7 回開催した。

② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

- ・ 平成 24 年度は 4 回開催した。

③ 附属図書館評価委員会

- ・ 平成 24 年度はメール回議を含め 4 回開催した。

④ 附属図書館研究開発室会議

- ・ 平成 24 年度はメール回議を含め 2 回開催した。

⑤ 大学文書史料室運営会議

- ・ 平成 24 年度はメール回議を含め 6 回開催した。

⑥ 全学図書系係長会議

- ・ 平成 24 年度は 1 回開催した。附属図書館事務部の部課長、補佐、係長、経済経営研究所図書係長及び大学文書史料室室員がメンバーで、全学図書館業務に係る実務的な会議である。

<教育研究基盤資料の充実>

平成 24 年度は全学経費 1.5 億円及び間接経費 1.33 億円を確保し、18,029 誌の電子ジャーナルと 32 種のデータベースを全学に提供した。

<入退館管理システムの導入>

平成 24 年度には施設改修に合わせ人文科学図書館に入退館管理システムを導入した。これにより、経済系研究所図書館を除く全館室に導入が完了した。

<「大学文書史料室」の運営>

- ・ 大学文書史料室が、平成 22 年 4 月 1 日に附属図書館に設置され、平成 23 年 3 月 30 日付けで、「国

立公文書館等」(＝国立公文書館に類する機能を有する施設)として内閣総理大臣の指定を受けた(平成 23 年内閣府告示第 13 号)。また、国ガイドラインに沿って平成 24 年 2 月 28 日に制定した大学文書史料室利用細則に基づき、「簡便な方法による利用」(簡易閲覧申込による利用)と「利用者による撮影」を開始した。

◆評価と課題

入退館管理システムを、経済経営研究所図書館を除く 8 館室に設置したことにより、利用者の安全・安心の向上を図り、利用環境整備ができた。

大学文書史料室は、公文書管理法に基づき、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関としての責務を全うし積極的な社会貢献を図るため、学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成、メタデータの公開を実施している。他機関からの調査及び見学等を目的とした訪問を受入れ、後継諸機関のモデルケースとして高い評価を受けている。

(2) 事務組織と人事管理

<図書館事務組織>

- 平成 24 年 5 月現在、附属図書館事務部は 2 課 18 係、定員 48 名、非常勤職員 38 名の 86 名となっている。また経済経営研究所図書係は、定員 3 名を配置しており、平成 22 年 4 月に設置した大学文書史料室は定員 1 名、非常勤職員 2 名(平成 24 年度ビジョン推進経費により非常勤職員を別途雇用)を配置している。
- 若手職員の人材育成のため、大阪大学附属図書館との間で人事交流(1 名)を実施している。
- 平成 24 年 4 月から、本部事務(会計系)職員 1 名が管理係に臨時的に増員となった。
- 平成 24 年 7 月に明石工業高等専門学校へ 1 名の出向が解消となり、4 月の新規採用 1 名と合わせて欠員が解消した。
- 平成 22 年度より続いた、自然科学系情報管理係長と自然科学系情報サービス係長の併任を解消した。
- 平成 24 年 5 月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合・国際文化学図書館	情報サービス課長 2 係	5	5	10
	社会科学系図書館	事務部長 情報管理課長 情報管理課補佐 7 係	22	17	39
	自然科学系図書館	情報管理課補佐 3 係	6	4	10
	人文科学図書館	1 係	3	2	5
	人間科学図書館	1 係	3	2	5
楠地区	医学分館	情報サービス課補佐 2 係	3	5	8
名谷地区	保健科学図書室	1 係	2	1	3
深江地区	海事科学分館	情報サービス課補佐 1 係	4	2	6
		計	48	38	86

六甲地区	経済経営研究所図書館	1 係	3	0	3
	大学文書史料室		1	2	3

- ・ 現在のところ、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、図書受入係・雑誌情報係・目録情報係は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- ・ 情報管理課の電子図書館係（社会科学系図書館配置）、同情報システム係（自然科学系図書館配置）及び情報サービス課の情報リテラシー係（総合・国際文化学図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
- ・ 情報管理係は、自然科学系図書館及び医学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

＜職員の採用と育成＞

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用試験図書系専門試験受験者の中から平成 24 年度に職員 1 名を新規採用した。
- ・ 新規採用者は「神戸大学新任職員研修」及び「兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修」を受講した。
- ・ 図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。平成 24 年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果研修計画等に反映した。
- ・ 国立情報学研究所の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。本年度参加の主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの基礎研修	大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」	大学図書館近畿イニシアティブ	6/28-29	係員 4
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	9/5-7	係員 3
	大学図書館職員短期研修	国立情報学研究所	10/2-5	係員 3
	神戸大学若手職員研修	神戸大学	12/17	係員 3
中堅職員向けの研修	大学図書館職員長期研修	筑波大学	7/2-13	係長 1
	研修「コーチングで変える大学図書館」	国立大学図書館協会近畿地区協会	9/5-7	係員 1
	国立大学協会近畿地区支部「中堅職員研修」	国立大学協会近畿地区支部	10/24-25	係員 1
管理職向けの研修	国立大学法人等部課長級研修	学術総合センター	7/17-18	課長 1
	コーチング（課長級）研修	神戸大学	11/27,29	課長 2 補佐 1
	コーチングフォローアップ（課長級）研修	神戸大学	2/14,15	課長 2 補佐 1
個別業務の専門的知識のための研修	目録システム講習会（図書）講師ガイダンス	国立情報学研究所	5/15-16	係員 1
	NACSIS-CAT/ILL ワークショップ ^o	国立情報学研究所	7/18-20	係員 1

	学術ポータル担当者研修 (会場:名古屋大学/NII)	国立情報学研究所	8/1-3(名大) 8/22-24(NII)	係員 2
	目録システム講習会(雑誌コース)	国立情報学研究所	8/22-24	係員 1
	ILL システム講習会	国立情報学研究所	8/31	係員 1
	古文書合宿及び事前指導	人文学研究科	9/4, 9/6-8	課長 1 係員 1
	目録システム地域講習会 (図書コース)	神戸大学・ 国立情報学研究所	9/19-21	係員 3 非常勤 2
	衛生管理者のための安全管理研修	神戸大学	9/24	補佐 2 係員 1
	機関リポジトリ中堅担当者研修	デジタルリポジトリ連合	9/26-28	係長 1
	機関リポジトリ新任担当者研修	デジタルリポジトリ連合	10/18-19	係員 1
	学術情報リテラシー教育担当者研 修	国立情報学研究所	10/24-26	係長 1 係員 1
	学内会計事務研修	神戸大学	11/14-15	係員 1
	メンタルヘルス研修	神戸大学	11/30	課長 1 補佐 1 係員 1
	神戸大学広報研修会	神戸大学	1/16	課長 1 係長 1 係員 1
	国大図協東京地区協会職員研修 「未来の大学図書館」	国立大学図書館協会東京 地区協会	2/20	係員 1
	大学図書館電子学術書共同利用実 験プロジェクトシンポジウム	慶應義塾大学メディアセン ター	3/25	課長 1

1 日以内の講演 会・研修会等	・アプリケーションソフトウェア研修 ・救急講習会 ・電子情報セミナー in 関西学院大 学 2012 ・OSI 委託事業報告交流会(コンテン ツ系) ・ベンダー主催セミナー ・Web of Science アップデート・セミナ ー ・京都図書館大会 ・DRF 地域ワークショップ(近畿) ・フォーラム「男女共同参画の視点 から防災・減災を進める」	兵庫県大学図書館協議会、 国立大学図書館協会、兵庫 県図書館協会、京都大学、 大阪大学、神戸大学ほか (主に近畿地区で開催され るもの)	各半日～1 日	管理職 を含め 延べ 56
--------------------	---	---	---------	---------------------

	・私立大学図書館協会京都地区協議会 ・兵庫県大学図書館協議会研究会 ・全国遺跡資料リポジトリ・シンポジウム ・大阪大学職員研修会 ・京都大学図書館機構講演会 ・情報基盤センターシンポジウム ・国立大学図書館協会学術情報流通セミナー ・阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する研究会 ・兵庫県大学図書館協議会研修会 ・公立大学協会図書館協会近畿地区協議会講演会 ・同志社大学学習支援・教育開発センター講演会			
--	--	--	--	--

- ・ 上記に加え、附属図書館職員の知識習得を目的として内部研修を次のとおり開催した。
 - ・「韓国の図書館の最新事情」報告会（9/27 開催、受講者数：定員非常勤計 23 名）
 - ・水に濡れた古文書と壊れた古書の修復ワークショップ（3/13 開催、受講者数：定員非常勤計 23 名）
- ・ 韓国海洋大学校図書館との協定にもとづき、国際交流となる海外研修に職員を派遣した。
 - ・韓国海洋大学校交流研修（12/5-8、参加者：館長、補佐 1、係員 1）
- ・ 大学文書史料室では、室員が講師となって、学内職員に対する文書管理の研修を次のとおり実施した。
 - ・「神戸大学新任教職員研修」の「法人文書管理について」のコマを担当（受講者数：91 名）
 - ・「神戸大学文書管理者研修」（受講者数：65 名）
 - ・大学文書史料室職員に対する研修：3 回

◆評価と課題

学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題に関わる研修に職員を派遣した。また、学内の救急講習会や人文学研究科の古文書研修を職員に受講させた。その研修成果は、報告書提出の義務付けにより他の職員の能力開発に役立てている。

<業務の改善と効率化・合理化>

① 業務の標準化・合理化

- ・ 係横断的なワーキンググループを組織し、業務の合理化・質的向上を図った。平成 23 年度に引き続き、「情報リテラシー教育支援ワーキンググループ」が研究者支援のためシュプリンガー・ジャパン株式会社と共催で企画・開催した「若手研究者の為の英語論文セミナー ―執筆と国際誌投稿のノウハウをつかもう！―」(12/18、神戸大学六甲ホールで開催、参加者数:108 名)は、大盛況であった。

【附属図書館業務改善検討WG】

- ・ サービス業務の標準化・簡素化推進WG
どこでも返却サービス・各館室の罰則条件統一・貸出条件標準化などに取り組み、利用者へのサービス業務の改善を実施した。
- ・ 図書資産管理業務（遡及・重複資料整理等）検討WG
平成 24～27 年度遡及入力計画・資料収容力確保策の見直しを策定した。また法人化後の課題であった未承継資料及び除却資料の再受入等について検討し、平成 24 年度から再受入を開始した。

② アウトソーシング

- ・ 定員削減等に対応し、業務の軽減方策として、図書館業務に関しては、雑誌製本業務・図書装備付納品・目録遡及入力業務・社会科学系図書館及び医学分館の時間外開館業務・電子化コンテンツの作成業務のアウトソーシングを実施した。
- ・ 資産点検業務は、社会科学系図書館・保健科学図書室において、計約 29 万冊のアウトソーシングを実施した。

③ 業務改善の検討

- ・ 平成 23 年度に立ち上がった神戸大学業務改善ワーキンググループは、平成 24 年度も継続され、新規業務改善提案及び業務改善事項の検討を実施した。
- ・ 附属図書館業務改善事項は、下記(1)～(2)であり、継続検討事項となっている。
 - (1)資産管理計画の策定：遡及入力
第 2 期中期計画において遡及入力事業の終了を目指し推進を図る。
 - (2)資産管理計画の策定：資産点検
資産点検にかかる業務軽減を目的としたアウトソーシングの推進を図る。

(3) 予算及び財務会計業務

<平成 24 年度附属図書館予算・決算>

① 経常運営費

- ・ 平成 24 年度当初予算 171,417 千円 決算額 172,041 千円であった。
- ・ 平成 23 年度の当初予算 175,937 千円、決算 182,769 千円と比較して、経常運営費の当初予算は、大幅な減額となった。この予算の減額と経常事業費の圧迫により決算額も大幅な減額となった。（当初予算額 H23 予算比 4,520 千円 2.6%減、H23 決算比 10,728 千円 5.9%減）

② 経常事業費

- ・ 平成 24 年度当初予算 223,958 千円 決算額 229,107 千円であった。（大学文書史料室管理運営経費を除く）
- ・ 平成 23 年度の当初予算 223,958 千円、決算 218,927 千円と比較して、経常事業費の当初予算は増減なく確保されたが、人文科学図書館建物改修に伴い、決算額が大幅な増額となった。（当初予算額 H23 予算比 増減なし、H23 決算比 10,180 千円 4.6%増）
- ・ 平成 24 年度の学生用資料費は、H23 と同じく予算 60,000 千円が確保された。
- ・ 大学文書史料室管理運営経費（ビジョン推進経費 7,500 千円）により、大学文書史料室の運営

を図った。

③ 臨時的経費

- ・ 教育研究基盤資料整備費により、外国雑誌を含む電子ジャーナル、データベースの維持及び整備を実施した。(2.83 億円【全学経費 1.5 億円＋間接経費（全学共通分）1.33 億円】)
- ・ 教育研究設備維持運営費(5,029 千円)により、人文科学図書館に入退館管理システムを導入した。
- ・ 教育基盤強化支援経費：障害学生(1,117 千円)・営繕事業費(1,250 千円)により、海事科学分館の障害者用トイレ扉及び玄関前スロープの拡幅等を改修した。
- ・ 障害学生教育支援経費(特別経費等 4,701 千円、間接経費 552 千円)等により、車椅子用電動昇降式キャレルデスク、拡大読書器及び椅子を各館室に設置した。
- ・ エコ推進事業(法人内プロジェクト 5,647 千円)により、保健科学図書室・海事科学分館の照明設備を更新した。
- ・ グローバル人材育成推進事業(2,706 千円)により、グローバル関係図書を全館室に配置した。

【人文科学図書館建物改修経費】

- ・ 人文学研究科 C 棟の耐震改修に伴い人文科学図書館改修に、移転費(9,993 千円)、建物新営設備費(4,380 千円)、及び入退館システム導入経費として教育研究設備維持運営費(5,200 千円)が当初配分され、改修時には営繕関係費(645 千円)、施設整備費補助金(1,869 千円)が補填された。
- ・ 人文学研究科 C 棟 1 階中央のピロティ部分や C 棟と A 棟の連結部分等の建物改修に伴う施設整備が発生し、さらに集密・据置書架の新設など想定以上の経費が必要となり、総額で約 17,000 千円の不足額が生じた。附属図書館各館室の設備整備の予算である館長裁量経費、収入確保インセンティブ経費及び館内複写料金等利用者負担金等を含めた図書館運営経費により、人文科学図書館改修にかかる不足分を補填した。
- ・ 神戸大学で初めてとなる附属図書館ラーニングコモンズを人文科学図書館に設置するため、A 棟から C 棟への図書移動(約 42,000 冊)を経費節約のため図書館員で実施すると共に、A 棟集密書架の撤去及び床補修は図書館経費にて捻出した。経費不足のため追加予算要求を行ったことで、共同研究費間接経費(6,000 千円)が配分され、辛うじてラーニングコモンズの設置となった。

④ その他の経費

- ・ 電子図書館事業である新聞記事文庫のデジタル化について、「科学研究費補助金(研究成果公開促進費)」が不採択となったため、電子図書館経費により、可能な範囲で事業を継続したが、ごくわずかしき追加作成出来なかった。

○ 平成 24 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

◆評価と課題

教育研究基盤資料整備費として所要額 2.83 億円の財源を確保し、18,029 誌の電子ジャーナルと 32 種のデータベースを全学に提供維持すると共に、20%の外国雑誌購読補填を実施した。

平成 24 年度経常運営費及び経常事業費の当初予算総額が前年度より 4,520 千円 1.3%減となり、経常事業費は平成 23 年度と同額予算としたが、経常運営費の予算は大幅な減額となった。

人文科学図書館の建物改修に伴う設備整備のための経費不足分は、各館室の設備整備として捻出している館長裁量経費等で補填したが、その為、各館室の設備改善ができず、今後の学習環境の整備が課題となっている。

大学文書史料室の管理運営経費は、ビジョン推進経費が当初配分された。これにより学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成等を継続し、室員(特命職員)による大学史及びアーカイブズ学に関する調査研究等も引き続き実施した。

＜図書資産の管理＞

①図書資産点検

- 平成 24 年度の資産点検は、社会科学系図書館、保健科学図書室の 2 館室で実施し、点検総冊数は 290,381 冊である。

②不明資料の追跡調査

- 平成 21～23 年度資産点検時から不明となっている資料について、追跡調査を実施した。
(資産点検時不明資料 19,395 点、追跡調査による発見資料 14,381 点、追跡調査後不明資料 5,014 点)

③不用決定

- 不明後 3 年以上経過している資料（平成 20 年度資産点検時からの不明資料）を不用決定した。
(262 点、資産価格 1,105,243 円)
- 重複資料やオンラインで利用可能となった資料を不用決定した。
(18,283 点、資産価格 60,505,670 円)

◆評価と課題

図書資産点検は、資産の効率的運用を図るために中期計画期間と同じ 6 年周期で一巡するという計画を立て、第 1 期中期計画期間（平成 16-21 年度）において目標を達成することが出来た。本年度は第 2 期中期計画期間（平成 22-27 年度）の 3 年目であり、社会科学系図書館、保健科学図書室の 2 館において、約 29 万冊の図書資産点検をアウトソーシングで実施した。

平成 21～23 年度資産点検時から不明となっている資料についても追跡調査を実施すると共に、「不明後 3 年以上経過している資料（平成 20 年度資産点検時からの不明資料）」についても追跡調査及び不用決定を実施し、図書資産の管理を継続した。

（４）施設整備・システム整備

＜各館室の施設整備＞

- 平成 24 年度に整備した主な事項は、以下のとおりである。

総合・国際文化学図書館	：雑誌架移設
社会科学系図書館	：リフレッシュルーム試行設置
自然科学系図書館	：トイレ照明感知式に更新
人文科学図書館	：入退館管理システム導入、耐震改修工事に伴う施設整備実施、 ラーニングコモンズ設置
保健科学図書室	：照明設備更新（エコ推進事業）
海事科学分館	：照明設備更新（エコ推進事業）、障害者用トイレ扉等改修、玄関前 スロープ拡幅工事、グループ学習室整備
大学文書史料室	：案内サイン・誘導サイン整備

＜安全点検＞

- ・ 職場巡視のためのチェックリスト（図書館版）を作成し、各館室の安全衛生担当者と巡視体制を定めた。
- ・ 労働安全衛生法に基づく安全衛生委員（衛生管理者）を置き、週 1 回の館内点検を実施。
- ・ 各館室の緊急時対応マニュアルの見直しを実施。
- ・ 社会科学系図書館、館員による消防訓練を実施。
- ・ 各館室の非常口等を整備し、防災対策を実施。

＜平成 24 年度 安全衛生に係る整備事項＞

総合・国際文化学図書館	防犯カメラ等修理
社会科学系図書館	誘導灯ランプ取替
人文科学図書館	入退館管理システム導入
医学分館	防犯カメラ等修理
保健科学図書室	非常口サイン整備
海事科学分館	防犯カメラ増設、書庫内警報ブザー設置、非常口鍵取替
大学文書史料室	案内サイン・誘導サイン整備

◆評価と課題

エコ推進事業により保健科学図書室と海事科学分館の照明設備が更新された。また自然科学図書館のトイレを感知式照明に更新するなど、エコ対策を実施した。

利用者への安全管理のため職場巡視のためのチェックリストを作成し、各館室の安全衛生担当者及び巡視体制を定めた。また全館室で緊急時対応マニュアルの見直しを実施すると共に、社会科学系図書館では館員による消防訓練を実施した。

今後の課題

1. 社会科学系図書館の平成 25 年度歴史的建物整備事業（文化庁）による本館の改修、及び国立大学法人等施設整備実施予定事業による管理棟の耐震改修により、防水及び外壁改修等を含めた大規模工事により、大幅な改善となる予定。
2. 自然科学系図書館外壁タイルについて、浮きやクラックが多数あり落下の危険性があるため早期の改修が必要。
3. 海事科学系分館と医学分館の空調設備は、故障が発生しており、利用者へのサービス低下になっているので更新が必要。
4. 各館室で発生する雨漏りについては、引き続き調査・補修及び防水工事等の対応が必要。

＜システム整備＞

- ・ 平成 22 年 4 月から財務会計システムと図書館システムとの連携を開始した。また平成 23 年 1 月の図書館システム更新において神戸大学シングルサインオンシステムを基盤とした利用者サービスを構築し、利用者へ提供している。

◆評価と課題

システム更新後、不定期ではあるが図書館業務システムのアップデートを行い、不具合の改修のみならず可能な限り新規リリース機能を適用し、業務担当者の支援を行ってきた。

また情報基盤センターが提供する学術認証フェデレーション（学認、GakuNin）も正式にサービス

を開始し、電子的な学術リソース利用に際しての利便性が向上した。学認で利用できる SP には既に Science Direct や Web of Knowledge など、魅力的なコンテンツが含まれ、また新規参加 SP についても積極的に利用申請を行っているところである。ライセンス契約による電子リソースの提供については認証に関する利用者のストレスを極力軽減していくのが望ましいが、その点からも学内の認証基盤を構築する情報基盤センターとは綿密にコミュニケーションを図っていききたい。また当然のことながら図書館システムの安定稼動をめざし、情報管理および情報セキュリティの確保にも努めていく。

（５）図書館界での諸活動

＜国立大学図書館協会＞

- 平成 24 年度国立大学図書館総会（会場：ANA クランプラザホテル神戸、期日：平成 24 年 6 月 21 日）の開催当番館として国立大学図書館協会近畿地区協会の協力を得ながら、円滑な運営に努めた。また翌日のマネジメント・セミナー（期日：平成 24 年 6 月 22 日）は、会場を神戸大学出光佐三記念六甲台講堂に移して開催した。
- 「人材委員会人材育成小委員会」の委員を務めた（情報管理課長）。

＜兵庫県大学図書館協議会＞

- 平成 23 年度に引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。研修事業においては、研修担当館による事業の企画・運営を事務局として補助した。
 - 研究会「図書館員と教員、学生との連携を考える」
 - 研修会「大学図書館は電子書籍をどう取り扱うか」
- 県の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図っている。
- 平成 24 年度の活動成果として、総会において、学内関係組織との協働による教育支援の取り組みについて、図書館の危機管理について、節電対策について、事例報告と質疑応答を行った。活発に情報交換がなされ、今後の大学図書館の展開を模索する上でも貴重な情報共有ができた。

＜研修等への講師・発表者の派遣＞

- 国立情報学研究所等が開催する研修や講習会に、平成 24 年度は次のとおり職員を講師・発表者として派遣した。

研修名	主催	会場	日程	講師
目録システム講習会（雑誌コース）	国立情報学研究所	九州大学	8/1-3	雑誌情報係員
		大阪市立大学	8/22-24	雑誌情報係員
DRF 機関リポジトリ新任担当者研修	デジタルリポジトリ連合	岡山大学	9/6-7	電子図書館係長
目録システム講習会（図書コース）	国立情報学研究所	神戸大学	9/19-21	係長 2 係員 3
DRF 地域ワークショップ（近畿地区）	デジタルリポジトリ連合	神戸松蔭女子学院大学	9/21	電子図書館係員
研修会「資料保存の基礎を学ぶ」	大阪大学	大阪大学	12/6	電子図書館係員
機関リポジトリ担当者のための著作権ワークショップ	筑波大学他	大阪大学	12/13	電子図書館係長
Digital Archive に関するワークショップ	国立情報学研究所	九州大学	3/14	雑誌情報係員

大学図書館電子学術書共同利用実験 シンポジウム	慶應義塾大学	慶應義塾大学	3/25	情報サービス課長
----------------------------	--------	--------	------	----------

＜その他＞

- ・ 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務め、また運営委員会の開催協力を行った。
- ・ 近畿イニシアティブ能力開発専門委員会の主査を務めた（情報サービス課長補佐）。

◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、会員間で緊密な連携と協力を図ることによって、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進している。大学図書館職員の資質向上においてもメリットが大きい。

平成 24 年度国立大学図書館協会総会の開催担当館として平成 23 年度から準備を進め、交通の便の良いホテルを会場とし、会員 91 大学・機関などから計 241 名の出席者を迎え、円滑な運営に努めた。総会後の親睦会は、神戸の郷土料理・神戸大学ブランドである「神戸大学ビーフ」や純米大吟醸酒「神戸の香」の生酒等も取り揃え、盛大に開催した。また翌日のマネジメント・セミナーは、会場を神戸大学出光佐三記念六甲台講堂に移して開催し、終了後は、参加希望者に国の登録有形文化財に登録されている社会科学系図書館や大学文書史料室の見学を実施した。

次年度は兵庫県大学図書館協議会における企画委員会の当番館となっており、研修事業を企画・運営・開催するのが課題である。

附属図書館蔵書・受入等の現況(平成24年度)

			総合・国際		社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
蔵書	蔵書数 (冊)		530,643		1,331,873	487,861	298,230	334,122	278,286	146,193	63,887	256,434	3,727,529
	和洋区分	和漢書	382,808		630,658	259,778	187,767	258,235	121,660	64,246	54,737	199,149	2,159,038
		洋書	147,835		701,215	228,083	110,463	75,887	156,626	81,947	9,150	57,285	1,568,491
	遡及状況	入力済	472,113		1,175,013	297,908	252,694	267,089	172,277	78,884	61,987	256,434	3,034,399
		未入力	58,530		156,860	189,953	45,536	67,033	106,009	67,309	1,900	0	693,130
	所蔵雑誌数 (タイトル数)		2,982		16,371	5,437	4,194	3,642	6,280	3,101	1,057	3,545	46,609
	和洋区分	国内雑誌	1,790		6,462	2,456	3,260	2,443	2,678	1,624	847	2,380	23,940
外国雑誌		1,192		9,909	2,981	934	1,199	3,602	1,477	210	1,165	22,669	
図書受入	受入図書数 (冊)		5,365	4,465	18,802	6,798	3,144	4,302	1,565	2,567	1,621	2,814	51,443
	和洋区分	和漢書	5,217	3,360	10,895	4,674	2,119	3,684	1,133	2,152	1,521	2,471	37,226
		洋書	148	1,105	7,907	2,124	1,025	618	432	415	100	343	14,217
	取得手段	購入(一般財源)	4,903	3,130	8,200	3,435	1,061	2,969	484	892	1,214	1,816	28,104
		補助金による購入	424	984	5,853	1,553	1,272	808	264	879	150	216	12,403
		一般寄贈	0	206	1,295	850	380	207	572	265	42	433	4,250
		再受入	0	93	227	0	80	0	26	0	0	10	436
		製本編入	38	52	3,227	960	351	318	219	531	215	339	6,250
	取得目的	学生用図書	4,739	402	3,375	3,091	299	1,959	190	845	1,110	1,720	17,730
		図書館備付	568	1,078	8,732	480	1,501	605	1,075	796	215	784	15,834
		研究室備付	58	2,985	6,695	3,227	1,344	1,738	300	926	296	310	17,879
	除却・移譲等による減 (冊)		5,378	0	2,010	4,844	304	1,902	144	0	4,926	55	19,563
	和洋区分	和漢書	4,369	0	880	3,208	243	1,825	128	0	4,740	55	15,448
		洋書	1,009	0	1,130	1,636	61	77	16	0	186	0	4,115
	年間増加数 (冊)		-13	4,465	16,792	1,954	2,840	2,400	1,421	2,567	-3,305	2,759	31,880
	和洋区分	和漢書	848	3,360	10,015	1,466	1,876	1,859	1,005	2,152	-3,219	2,416	21,778
		洋書	-861	1,105	6,777	488	964	541	416	415	-86	343	10,102
雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)		130	329	3,002	1,106	1,947	857	811	668	190	504	9,544
	和洋区分	国内雑誌	103	275	952	726	1,678	762	514	438	153	407	6,008
		外国雑誌	27	54	2,050	380	269	95	297	230	37	97	3,536
	取得手段	購入(一般財源)	130	107	2,720	622	331	339	332	229	112	148	5,070
		補助金による購入	0	0	20	0	0	0	0	54	0	1	75
		一般寄贈	0	222	262	484	1,616	518	479	385	78	355	4,399
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	100	11	35	140	23	113	0	205	104	125	856
		図書館備付	4	274	2,757	675	1,924	542	799	385	78	355	7,793
研究室備付		26	44	210	291	0	202	12	78	8	24	895	
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)		7	0	29	13	6	6	11	5	3	13	93
	和洋区分	国内新聞	6	0	23	11	4	6	6	4	3	13	76
		外国新聞	1	0	6	2	2	0	5	1	0	0	17
	取得手段	購入	6	0	29	13	6	6	11	5	3	11	90
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	データベース (年間契約点数)		18	0	8	1	0	0	0	5	2	0	34
	電子ジャーナル (利用可能数)		19,554										19,554
資料購入費	一般財源資料費		307,563,565	17,407,380	168,110,051	47,478,179	15,651,381	17,240,783	21,042,911	31,176,913	10,687,534	10,282,939	646,641,636
	図書館セグメント	学生用資料費	18,036,999	2,585,994	10,131,951	12,943,000	2,766,955	3,378,992	1,011,034	4,562,000	2,739,453	3,008,995	61,165,373
		その他資料費	286,735,582	0	29,966,230	0	0	0	0	0	0	0	316,701,812
	部局セグメント	館室備付	990,504	5,347,379	110,292,291	7,546,471	8,225,637	5,900,946	19,886,171	25,180,978	6,999,790	6,699,993	197,070,160
		研究室備付	1,800,480	9,474,007	17,719,579	26,988,708	4,658,789	7,960,845	145,706	1,433,935	948,291	573,951	71,704,291
	その他の財源 補助金等		5,099,132	5,516,692	45,276,567	15,829,080	8,513,910	4,147,595	1,302,472	9,510,665	764,751	1,518,252	97,479,116
	図書購入費		13,299,674	19,577,550	111,154,468	29,491,024	17,197,332	15,087,656	7,625,645	13,463,133	6,324,735	7,555,896	240,777,113
	和洋区分	和漢書	12,344,009	12,112,556	43,454,251	16,426,342	9,815,116	11,263,992	2,141,688	10,810,770	5,693,869	2,227,246	126,289,839
		洋書	955,665	7,464,994	67,700,217	13,064,682	7,382,216	3,823,664	5,483,957	2,652,363	630,866	5,328,650	114,487,274
	雑誌購入費		19,544,392	1,523,569	88,477,581	25,722,119	4,854,969	5,829,887	13,334,265	18,062,938	4,236,428	3,602,821	185,188,969
	和洋区分	国内雑誌	1,061,309	591,959	16,969,231	6,318,813	1,223,417	2,451,134	3,607,665	3,800,691	1,736,505	1,159,633	38,920,357
		外国雑誌	18,483,083	931,610	71,508,350	19,403,306	3,631,552	3,378,753	9,726,600	14,262,247	2,499,923	2,443,188	146,268,612
	新聞購入費		294,756	0	2,736,237	683,632	297,576	162,540	796,622	247,656	147,960	489,356	5,856,335
	電子資料費		279,227,937	0	6,006,833	2,968,893	0	0	0	7,104,055	340,150	0	295,647,868
	その他の資料購入費		295,938	1,822,953	5,011,499	4,441,591	1,815,414	308,295	588,851	1,809,796	403,012	153,118	16,650,467
	資料購入費 計		312,662,697	22,924,072	213,386,618	63,307,259	24,165,291	21,388,378	22,345,383	40,687,578	11,452,285	11,801,191	744,120,752
	電子コンテンツ作成費		2,498,803										2,498,803
製本費		196,560		7,047,768	2,096,640	782,334	694,512	478,296	1,159,704	469,560	753,957	13,679,331	

* 所蔵雑誌数は雑誌包括所蔵数から誌名変遷数を引いた数値とする(平成23年度変更)

附属図書館サービス業務の現況(平成24年度)

			総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
施設	施設面積合計(㎡)		3,558	10,707	3,287	1,288	1,474	1,084	1,612	848	2,170	26,028
	現行用途別(㎡)	サービススペース	1,954	2,359	1,577	664	538	141	838	653	719	9,443
		書庫スペース	1,208	5,771	449	535	714	887	431	38	1,051	11,084
		事務スペース	130	605	351	48	89	27	163	35	159	1,607
		その他	266	1,972	910	41	133	29	180	122	241	3,894
	閲覧座席数	閲覧座席数	400	468	223	119	153	24	203	88	144	1,822
		上のうち、教員用	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	書架収容力	棚板延長(m)	11,613	49,030	10,535	7,890	7,857	6,833	5,634	1,860	7,258	108,510
収容可能冊数		322,600	1,361,900	292,600	219,200	218,300	189,800	156,500	51,700	201,600	3,014,200	
利用者端末台数			48	44	38	20	17	2	20	12	15	216
利用者	利用対象者総数		5,013	4,611	5,821	785	1,436	63	2,589	942	1,357	22,617
	利用者別	学部学生	4,223	2,227	2,494	355	833	-	543	545	792	12,012
		大学院生	232	1,324	1,875	218	323	-	532	228	242	4,974
		教職員	383	498	1,339	149	202	63	1,452	134	226	4,446
		その他	13	125	0	16	8	0	38	0	36	236
		学外登録者総数	162	437	113	47	70	0	24	35	61	949
		内訳:卒業生706、放送大学等87、一般市民 156										
開館入館	開館日数	年間	266	323	275	226	265	233	288	251	262	2,389
		土曜(内数)	33	46	33	25	33	0	48	33	32	283
		休日(内数)	5	39	5	4	5	0	0	0	4	62
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	751.5	1,066.5	792.0	437.0	684.0	0.0	952.0	668.0	535.0	5,886
		土曜開館	264	414	264	200	264	0	384	264	256	2,310
		休日開館	40	351	40	32	40	0	0	0	32	535
	入館者数	年間入館者総数	269,783	230,483	127,807	50,106	79,571	4,057	108,182	60,918	26,233	957,140
		(内訳)時間内(含:土日)	237,504	194,402	106,987	44,322	69,837	4,057	69,017	51,831	23,681	801,638
		平日時間外	32,279	36,081	20,557	5,784	9,734	0	20,258	9,087	2,552	136,332
		閉館時(無人)	-	-	263	-	-	-	18,907	-	-	19,170
		土曜(内数)	5,210	16,545	5,568	1,498	1,965	0	4,729	2,352	829	38,696
		休日(内数)	1,532	12,374	1,508	205	327	0	0	0	276	16,222
		学外者(内数)	5,430	14,780	2,351	763	3,017	78	1,683	1,174	839	30,115
		(内訳)卒業生	1,907	7,972	1,279	552	1,100	8	634	590	491	14,533
		他大学生・研究者等	660	2,282	339	118	244	51	255	172	144	4,265
	一般市民	2,863	4,526	733	93	1,673	19	794	412	204	11,317	
貸出	貸出総冊数		74,341	74,886	39,187	13,584	22,217	1,606	11,334	14,407	16,494	268,056
	利用者別	学生	47,812	25,586	23,845	3,418	12,952	73	6,308	9,869	9,017	138,880
		院生	18,360	34,874	12,132	7,613	7,080	300	966	2,986	5,093	89,404
		教員	3,806	5,991	1,652	1,779	1,117	1,016	881	941	1,202	18,385
		職員	2,275	3,192	1,016	570	500	209	2,798	357	602	11,519
		その他	158	19	9	0	38	0	226	3	126	579
		学外者総数	1,930	5,224	533	204	530	8	155	251	454	9,289
		卒業生(内数)	914	2,486	460	199	443	8	155	231	135	5,031
一般市民(内数)	879	-	-	-	-	-	-	-	281	1,160		
参考調査	参考調査件数		3,328	4,380	3,552	2,305	2,262	244	1,310	1,507	1,310	20,198
	利用者別	学生	2,704	2,584	2,913	1,025	1,933	150	580	896	786	13,571
		教職員	364	263	426	80	312	69	452	100	78	2,144
		学外者	260	1,533	213	1,200	17	25	278	511	446	4,483
複写相互利用	来館複写件数		3,483	6,913	6,691	4,141	3,363	1,678	11,505	5,245	483	43,502
	利用者別	学内者	2,613	5,298	4,325	3,743	2,715	1,594	8,139	4,223	371	33,021
		学外者	870	1,615	2,366	398	648	84	3,366	1,022	112	10,481
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	77	276	88	150	80	72	216	124	84	1,167
		ILL文献複写 依頼	277	90	86	103	387	28	85	192	31	1,279
	図書配送	発送申込冊数	5,710	4,905	1,499	1,353	2,632	-	463	1,278	2,550	20,390
		受取申込冊数	4,675	4,746	2,884	3,432	3,030	-	404	419	800	
		申込者数	1,039	750	692	405	432	-	83	100	158	3,659
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	278	4,253	1,087	502	426	170	1,738	1,212	253	9,919
		ILL文献複写 依頼	903	781	753	843	1,410	17	1,149	1,427	117	7,400
		ILL現物貸借 受付	274	1,809	168	393	182	18	5	19	72	2,940
		ILL現物貸借 依頼	275	261	125	391	128	43	9	20	1	1,253
	海外ILL	文献複写 受付	0	26	0	1	0	0	0	0	0	27
		文献複写 依頼	1	7	0	7	0	0	0	2	0	17
		現物貸借 受付	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
		現物貸借 依頼	0	5	0	4	0	0	0	0	0	9

電子の情報サービスの現況 (H24)

電子ジャーナルタイトル数 (H24.10)

19,554(洋:18,192+和:1,362)

電子ジャーナルアクセス状況 (2012.1～12)

フルテキストへのアクセス数

	2012.1	2012.2	2012.3	2012.4	2012.5	2012.6	2012.7	2012.8	2012.9	2012.10	2012.11	2012.12	合計
Elsevier ScienceDirect	33,479	32,336	28,442	33,812	38,812	36,191	35,023	29,236	34,248	42,763	45,421	32,375	422,138
SpringerLINK(旧)	6,418	5,926	5,688	6,041	7,557	6,407	5,861	4,654	5,048	3,327	267	25	57,219
* SpringerLINK(新)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	3,379	5,422	5,831	14,632
Wiley-Blackwell	9,300	8,058	7,280	8,866	10,979	9,760	8,536	7,617	7,972	11,237	10,088	8,735	108,428
JSTOR	5,210	3,943	3,150	2,778	3,717	3,352	3,392	2,291	2,622	4,054	3,801	3,946	42,256
Nature	8,512	8,741	6,156	6,315	7,865	6,775	7,044	5,102	5,733	6,207	6,699	7,970	83,119
Science Online	1,032	950	916	1,207	1,262	1,178	1,385	1,119	1,181	1,630	1,280	2,149	15,289
IEEE CSDL	2,410	1,268	434	1,115	1,355	1,635	1,746	1,492	1,727	5,696	1,252	1,331	21,461
ACM Portal	735	469	401	528	981	881	551	430	147	606	455	476	6,660
APS	1,186	1,103	801	843	1,250	1,144	1,248	744	719	1,219	1,076	934	12,267
LWW via Ovid	1,189	1,073	1,026	1,050	1,505	1,202	1,371	1,250	1,166	1,324	1,262	1,217	14,635
ACS	5,609	4,807	3,554	5,860	8,389	7,200	6,115	4,110	5,185	8,895	7,743	5,146	72,613
Oxford UP	1,786	1,742	1,516	1,781	2,454	2,133	2,001	1,430	1,610	2,356	2,116	1,663	22,588
Cambridge UP	406	592	378	569	506	568	504	369	340	627	768	556	6,183
EBSCOhost	805	786	1,188	1,041	1,317	1,148	1,684	974	1,544	1,019	1,245	970	13,721
HeinOnline	5,917	4,349	3,309	4,595	4,339	3,536	3,505	4,186	3,389	4,649	4,519	4,295	50,588
* SIAM	*	*	*	*	*	*	*	*	27	22	16	18	83

* は2012導入

導入データベース数 (H25.3)

全学利用	45 WWWアクセス(外部サーバ41, CD-ROMサーバ4)※官報除
キャンパス限定(医学)	1 医学1 (Up to date)

データベースアクセス状況 (2012.1～12)

各項上段がセッション数、下段(カッコ)が検索数

	2012.1	2012.2	2012.3	2012.4	2012.5	2012.6	2012.7	2012.8	2012.9	2012.10	2012.11	2012.12	合計
Web of Science SCIE	6,056 (8,685)	5,785 (11,081)	4,464 (8,150)	5,635 (9,575)	7,415 (13,901)	7,246 (13,070)	6,477 (13,696)	6,622 (14,157)	4,831 (13,865)	6,504 (17,488)	6,095 (12,240)	4,530 (10,805)	71,660 (146,713)
JCR	494 (742)	444 (634)	434 (565)	598 (723)	641 (751)	749 (1,038)	633 (931)	439 (649)	419 (606)	649 (781)	607 (1,056)	517 (679)	6,624 (9,155)
医学中央雑誌	7,482	7,888	7,691	10,985	12,392	9,487	8,686	9,881	7,575	9,410	9,213	8,487	109,177
MathSciNet	2,421 (3,209)	2,540 (3,216)	2,987 (3,604)	3,860 (4,771)	4,848 (5,984)	2,860 (3,975)	3,229 (4,148)	3,357 (4,119)	3,672 (4,522)	4,658 (5,527)	2,632 (3,415)	135 (3,671)	37,199 (50,161)
SciFinder	478 (2,474)	509 (2,448)	387 (2,268)	518 (2,533)	612 (3,170)	580 (2,767)	534 (2,659)	432 (2,098)	579 (3,015)	711 (3,530)	493 (2,067)	395 (1,729)	6,228 (30,758)
Readers Guide to Periodical Literature	23 (76)	7 (18)	14 (70)	19 (39)	23 (102)	13 (61)	26 (181)	28 (176)	17 (67)	30 (108)	35 (94)	41 (167)	276 (1,159)
* Social Sciences Abstract	* *	* *	* *	14 (29)	18 (65)	8 (32)	25 (151)	26 (169)	18 (65)	24 (104)	34 (91)	43 (166)	210 (872)
EconLit	69 (346)	78 (417)	59 (379)	136 (500)	136 (464)	89 (322)	113 (960)	139 (1,356)	84 (281)	122 (455)	98 (274)	82 (333)	1,205 (6,087)
Index to Legal Periodicals & Books	8 (10)	7 (33)	16 (77)	17 (36)	18 (64)	10 (39)	19 (137)	24 (164)	14 (58)	20 (71)	33 (114)	40 (159)	226 (962)
House of Commons Parliamentary Papers	21 (10)	2 (1)	25 (5)	7 (3)	3 (2)	6 (4)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (14)	5 (10)	78 (49)
Business Source Premier	492 (724)	387 (678)	419 (1,299)	669 (1,312)	672 (1,420)	544 (1,046)	702 (2,076)	428 (2,036)	483 (1,159)	665 (1,338)	674 (1,273)	524 (1,015)	6,659 (13,058)
CINAHL	32 (133)	38 (210)	27 (139)	102 (332)	40 (137)	29 (116)	56 (325)	40 (211)	24 (109)	36 (188)	48 (146)	75 (387)	547 (2,433)
ProQuest Dissertations & Theses Complete [A&I]	31 (103)	20 (23)	24 (100)	37 (66)	45 (75)	61 (125)	17 (24)	20 (32)	30 (66)	38 (70)	36 (80)	35 (73)	394 (837)
PhycINFO	171 (825)	80 (485)	42 (263)	61 (269)	61 (262)	48 (221)	78 (426)	73 (422)	55 (447)	148 (893)	137 (824)	152 (844)	1,106 (6,181)
PhycARTICLES	227 (901)	131 (567)	137 (347)	141 (416)	197 (334)	185 (411)	243 (682)	145 (373)	188 (364)	239 (805)	216 (597)	189 (757)	2,238 (6,554)
OECD iLibrary	41	35	27	30	59	39	60	48	32	36	45	98	550
メディカルオンライン	4,351	5,157	4,746	5,209	6,845	6,205	5,606	5,119	4,773	5,390	5,445	5,041	63,887
Lexis/Nexis.com	21	183	46	12	49	31	14	13	10	26	32	46	483
Westlaw International	70 (327)	162 (380)	74 (528)	172 (37,005)	658 (50,239)	31 (25,161)	13 (20,235)	2 (125)	49 (775)	100 (1,271)	69 (5,916)	54 (6,140)	1,454 (148,102)
* The Making of the Modern World	* *	* *	15 (2)	9 (31)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (5)	5 (4)	52 (42)
JapanKnowledge + NRK	437 (4,507)	299 (1,997)	217 (1,277)	353 (3,540)	627 (5,261)	688 (6,547)	567 (5,020)	224 (1,254)	245 (1,219)	496 (4,554)	582 (4,875)	540 (4,072)	5,275 (44,123)
CiNii	6,629 (25,929)	5,137 (17,631)	2,675 (9,216)	6,136 (21,584)	8,316 (31,577)	7,475 (27,007)	6,956 (27,915)	4,414 (16,676)	3,945 (14,518)	7,478 (29,078)	6,867 (24,252)	6,292 (21,624)	72,320 (267,007)
日経テレコン21	200,037	176,406	169,070	296,016	466,370	721,332	280,547	377,556	350,036	404,134	335,776	235,798	4,013,078
聞蔵Ⅱビジュアル	715 (13,592)	458 (9,979)	321 (5,407)	399 (4,939)	665 (6,846)	711 (9,742)	629 (9,838)	655 (11,125)	331 (11,220)	784 (16,951)	855 (12,162)	520 (19,663)	7,043 (131,464)
ヨミダス歴史館	1,592	1,017	489	656	2,208	1,683	1,717	769	368	1,719	1,301	1,084	14,603
毎索	475 (1,994)	243 (741)	159 (418)	405 (3,025)	566 (2,566)	627 (5,540)	573 (3,424)	402 (1,524)	161 (478)	517 (2,047)	479 (1,934)	262 (1,000)	4,869 (24,691)
KOD(研究社オンライン・ディクショナリー)	125	65	38	110	175	154	128	92	59	96	82	64	1,188
MAGAZINEPLUS	197 (260)	127 (178)	94 (101)	179 (276)	323 (510)	340 (517)	245 (398)	176 (274)	140 (248)	278 (405)	385 (565)	203 (268)	2,687 (4,000)
Marquis Biographies Online (Marquis Who's Who)	109	2	0	5	6	0	0	3	17	5	1	1	149
JDreamII	317	236	292	753	503	612	396	275	136	443	653	294	4,910

※官報は統計データ未公開

* は2012導入

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計(H24.4～H25.3)

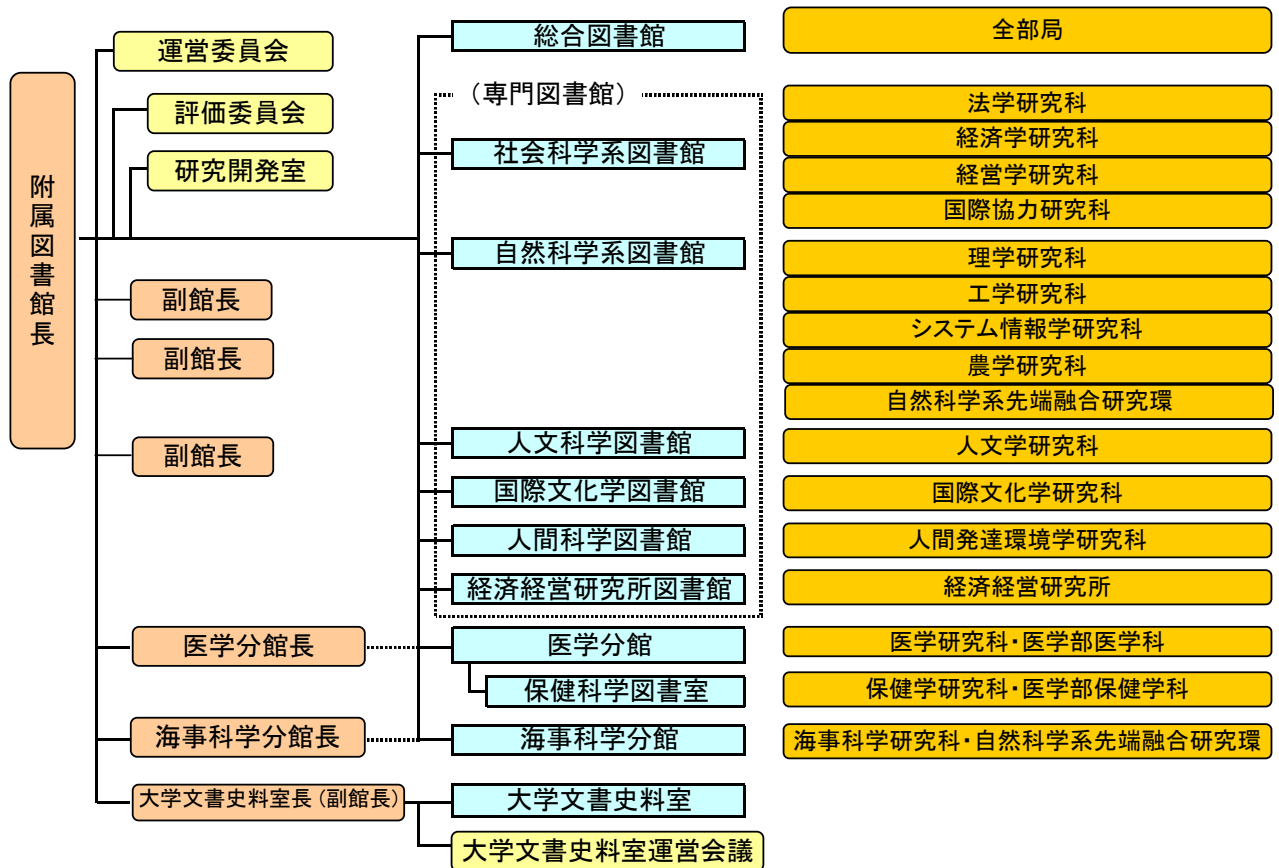
	H24.4	H24.5	H24.6	H24.7	H24.8	H24.9	H24.10	H24.11	H24.12	H25.1	H25.2	H25.3	合計
図書館トップページ	54,011	68,807	62,756	63,662	48,888	41,985	62,073	59,400	50,918	55,702	45,366	40,177	653,745
(うち学内)	33,216	46,598	40,568	37,750	26,638	23,834	39,562	37,203	29,254	30,920	25,172	22,346	393,061
(うち学外)	20,795	22,209	22,188	25,912	22,250	18,151	22,511	22,197	21,664	24,782	20,194	17,831	260,684
震災文庫トップページ	1,769	2,051	2,037	1,723	1,614	1,637	2,224	1,790	1,768	3,290	1,691	1,730	23,324
(うち学内)	249	266	222	194	180	158	244	187	115	140	192	167	2,314
(うち学外)	1,520	1,785	1,815	1,529	1,434	1,479	1,980	1,603	1,653	3,150	1,499	1,563	21,010
新聞記事文庫トップページ	6,146	6,392	6,172	5,435	4,826	4,759	4,977	5,408	5,604	5,305	4,595	4,373	63,992
(うち学内)	140	202	301	202	277	60	108	94	76	115	55	33	1,663
(うち学外)	6,006	6,190	5,871	5,233	4,549	4,699	4,869	5,314	5,528	5,190	4,540	4,340	62,329
OPAC延べ検索回数	113,316	151,975	148,356	148,289	90,290	77,179	133,283	129,674	107,992	117,975	88,698	68,492	1,375,519
(うち学内)	84,011	119,336	113,384	111,864	61,459	48,162	95,067	91,809	72,458	79,802	53,561	37,961	968,874
(うち学外)	29,305	32,639	34,972	36,425	28,831	29,017	38,216	37,865	35,534	38,173	35,137	30,531	406,645

リンクリゾルバ(SFX)利用統計(H24.4～H25.3)

	H24.4	H24.5	H24.6	H24.7	H24.8	H24.9	H24.10	H24.11	H24.12	H25.1	H25.2	H25.3	合計
電子ジャーナルアクセス数	25,304	31,077	27,468	25,776	18,822	18,972	27,549	25,384	18,968	18,756	16,884	13,251	268,211
電子ジャーナルリスト	6,309	7,999	6,710	6,626	5,062	5,023	7,383	6,236	5,090	5,772	5,519	4,436	72,165
DBからのアクセス数	18,995	23,078	20,758	19,150	13,760	13,949	20,166	19,148	13,878	12,984	11,365	8,815	196,046
→フルテキスト	13,241	15,985	14,933	14,173	10,470	10,656	14,961	12,850	9,988	10,129	9,953	8,134	145,473
→所蔵検索数	6,111	8,175	6,449	6,109	4,103	3,576	6,310	6,191	4,426	3,734	2,618	2,110	59,912
→文献複写依頼	655	760	898	726	579	462	954	1,133	603	478	408	385	8,041

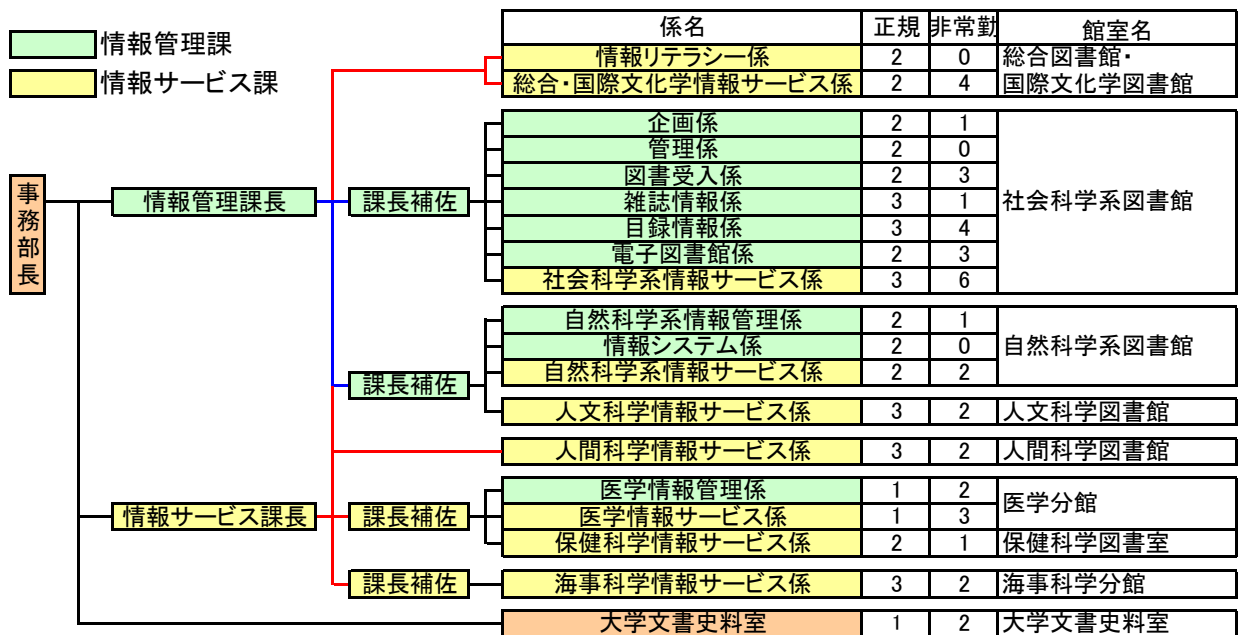
※ アクセス数:電子ジャーナルリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数:OPAC、Webcatのアクセス回数
各DB(CiNii、WOS、JDreamII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

附属図書館組織



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

事務組織と職員配置



附屬図書館 正規職員47名 非常勤職員37名
 大学文書史料室 特命職員 1名 非常勤職員 2名 (平成25年6月現在)
 *非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	0	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

平成24年度附属図書館諸会議一覧

<附属図書館運営委員会>

第1回： 6月7日（木） 13:20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成23年度決算について
- (2) 平成24年度電子図書館事業について
- (3) 2013年外国雑誌購読調査について
- (4) 平成24年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (5) デジタルコンテンツ削除依頼について
- (6) 資料の不用決定について
- (7) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成24年度施設整備について
- (4) OEDについて
- (5) 平成23年度年度計画の実績について
- (6) 平成24年度前期図書館ガイダンスについて
- (7) その他

第2回： 7月3日（火）～6日（金） （メール回議）

審議事項

- (1) 大学文書史料室利用等要項の改正について

第3回： 9月26日（水）～28日（金） （メール回議）

審議事項

- (1) 部局等の年次計画について
- (2) 大学文書史料室利用等要項の一部改正について

第4回： 10月18日（木） 9:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成24年度年次計画進捗状況報告及び平成25年度年次計画について
- (3) 資料の不用決定について
- (4) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 若手研究者のための英語論文セミナーについて
- (4) 平成24年度附属図書館資料展について
- (5) 学生選書ツアーについて
- (6) 平成24年度後期図書館ガイダンスについて

- (7) Primo Central 検索サービスの提供開始について
- (8) 学認 (GakuNin) を使った電子ジャーナル・データベースの利用について
- (9) 電子ジャーナル利用上の注意点について
- (10) 大学図書館電子学術書共同実証実験について
- (11) その他

第5回： 12月17日（月）～20日（木） （メール回議）

審議事項

- (1) 大学文書史料室利用等要項の一部改正について

第6回： 1月15日（火） 13:20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成25年度附属図書館予算要求について
- (2) 平成25年度電子図書館事業について
- (3) 平成25年度学生用資料費について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成25年度年度概算要求状況について（施設整備等：社会科学系図書館）
- (4) 平成26・27年度教育研究基盤資料整備事業について
- (5) 監事監査報告について
- (6) 平成24年度附属図書館資料展について
- (7) 館長と学生との懇談会について
- (8) 若手研究者のための英語論文セミナーについて
- (9) SCOAP3 について
- (10) 大学図書館電子学術書共同利用実験について
- (11) その他

第7回： 3月22日（金） 10:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成25年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成25年度附属図書館学生用資料について
- (3) 図書館関係規則制定及び改正について
- (4) 資料収容力確保策の見直しについて
- (5) 資料の不用決定について
- (6) その他

報告事項

- (1) 平成23年度選定学生用図書の分析・評価結果について
- (2) 各図書館・室報告について
- (3) 大学文書史料室報告について
- (4) 平成24年度部局年次計画報告の報告について
- (5) 遡及入力計画について
- (6) 学位規則の一部改正について

- (7) 社会科学系図書館の改修工事日程について
- (8) 人文科学図書館のラーニング・コモンズ設置について
- (9) 図書延滞者への罰則の内容変更について
- (10) 平成25年度版附属図書館利用案内について
- (11) その他

<附属図書館長・副館長・分館長懇談会>

第1回： 6月3日（金）14:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成23年度決算について
- (2) 平成24年度電子図書館事業について
- (3) 2013年外国雑誌購読調査について
- (4) 平成24年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (5) デジタルコンテンツ削除依頼について
- (6) 資料の不用決定について
- (7) その他

報告事項

- (1) 平成24年度施設整備について
- (2) OEDについて
- (3) 平成23年度年度計画の実績について
- (4) その他

第2回： 10月17日（木）10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成24年度年次計画進捗状況報告及び平成25年度年次計画について
- (3) 資料の不用決定について
- (4) その他

第3回： 1月11日（金）9:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成25年度附属図書館予算要求について
- (2) 平成25年度電子図書館事業について
- (3) 平成26・27年度教育研究基盤資料整備事業について
- (4) 平成25年度学生用資料費について
- (5) その他

第4回： 3月22日（金）9:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成25年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成25年度附属図書館学生用資料について
- (3) 図書館関係規則制定及び改正について
- (4) 資料収容力確保策の見直しについて

- (5) その他

<附属図書館評価委員会>

第1回： 9月7日（金） （メール回議）

議題

- (1) 附属図書館年次報告について

第2回： 9月25日（火） （メール回議）

議題

- (1) 平成24年度部局年次計画の進捗状況報告について
(2) 平成25年度部局年次計画について
(3) 各部局等における年次計画の重点事項について

第3回： 2月14日（木） （メール回議）

議題

- (1) 平成24年度部局年次計画の実施状況報告について

第4回： 3月26日（火） （メール回議）

議題

- (1) 「平成24事業年度に係る業務の実績」文書報告について

<附属図書館研究開発室会議>

第1回： 5月23日（水） 10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

報告事項

- (1) 平成23年度電子図書館事業報告について
(2) 平成23年度学術成果リポジトリ事業報告等について
(3) 平成24年度遡及入力事業計画について
(4) その他

協議事項

- (1) 平成24年度電子図書館事業計画について
(2) 平成24年度電子図書館経費配分について
(2) その他

第2回： 1月7日（月） （メール回議）

審議事項

- (1) 平成25年度電子図書館事業について
(2) 平成25年度電子図書館事業経費要求について
(3) 平成25年度遡及入力事業計画について

<附属図書館大学文書史料室運営会議>

第1回： 5月28日（月） 8:50～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- （1） 平成23年度事業報告について
- （2） 平成23年度決算について
- （3） 平成24年度予算について
- （4） 平成24年度特別展の企画について
- （5） 平成24年度移管文書の受入れについて
- （6） 平成24年度利用制限事由の該当性に関する事前審査の方針について
- （7） 大学文書史料室利用等要項の一部改正について

報告事項

- （1） 平成23年度「国立公文書館等」利用状況について
- （2） 大学文書史料室報告（4月～5月）

第2回： 6月20日（水） （メール回議）

協議事項

- （1） 法人文書の移管協議等スケジュールの変更について

第3回： 9月4日（火） （メール回議）

協議事項

- （1） 大学文書史料室利用等要項の一部改正について

第4回： 10月24日（水） （メール回議）

協議事項

- （1） 平成24年度法人文書の移管協議について

第5回： 12月13日（木） 8:50～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- （1） 平成24年度法人文書の移管協議について

報告事項

- （1） 内閣総理大臣への状況報告「平成23年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況調査」について
- （2） 大学文書史料室報告（5月末～11月）

第6回： 2月7日（木） （メール回議）

協議事項

- （1） 平成24年度研修実施計画について

<全学図書系係長会議>

第1回： 11月28日（水） 15:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

内容

- （1） 避難マニュアル及び避難訓練について

- (2) 図書館将来構想について、
特に教育・学習支援機能のリニューアルに関するディスカッション

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職 名	氏 名	任 期 等
附属図書館長	理・教授	樋口 保成	H23. 4. 1～H25. 3. 31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	法・教授	大塚 裕史	H23. 4. 1～H25. 3. 31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	工・教授	西野 孝	H23. 4. 1～H25. 3. 31
副館長 (附属図書館評価委員長)	発・教授	中山 修一	H23. 4. 1～H25. 3. 31
医学分館長	医・教授	横崎 宏	H23. 6. 1～H25. 5. 31
海事科学分館長	海・教授	嶋田 博行	H24. 4. 1～H26. 3. 31
大学教育推進機構	教 授	山内 乾史	H23. 4. 1～H25. 3. 31
人文学研究科	教 授	市澤 哲	H23. 4. 1～H25. 3. 31
国際文化学研究科	教 授	窪田 幸子 石塚 裕子	H24. 4. 1～H24. 9. 30 H24. 10. 1～H26. 3. 31
人間発達環境学研究科	教 授	伊藤 篤	H24. 4. 1～H26. 3. 31
法学研究科	教 授	中野俊一郎	H23. 4. 1～H25. 3. 31
経済学研究科	教 授	石川 雅紀	H24. 4. 1～H26. 3. 31
経営学研究科	教 授	末廣 英生	H24. 4. 1～H26. 3. 31
理学研究科	教 授	大西 洋	H24. 4. 1～H26. 3. 31
保健学研究科	教 授	松尾 博哉	H22. 4. 1～H24. 3. 31
工学研究科	教 授	水畑 穰	H23. 4. 1～H25. 3. 31
システム情報学研究科	教 授	南部 隆夫	H24. 4. 1～H26. 3. 31
農学研究科	教 授	川村 恒夫	H24. 4. 1～H26. 3. 31
国際協力研究科	教 授	松永 宣明	H24. 4. 1～H26. 3. 31
自然科学先端融合研究環	システム・教授	淵野 昌	H23. 4. 1～H25. 3. 31
経済経営研究所	教 授	趙 来勲	H24. 4. 1～H25. 3. 31
情報基盤センター	教 授	鳩野 逸生	H22. 4. 1～H24. 3. 31
附属図書館	事務部長	山田 周治	-----

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職 名 (委員は全て官職指定)	氏 名	備 考
附属図書館長	樋口 保成	
副館長	大塚 裕史	
副館長	西野 孝	
副館長	中山 修一	委員長
医学分館長	横崎 宏	
海事科学分館長	嶋田 博行	
事務部長	山田 周治	
情報管理課長	郷原 正好	
情報サービス課長	前川 敦子	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

職 名		氏 名	備 考
総括	附属図書館長	樋口 保成	室長
震災関係資料 電子化部会	副館長（発）	中山 修一	部会長
	国文・教授	大月 一弘	～H26. 3. 31
	都市安・教授	有木 康雄	～H26. 3. 31
	文・教授	奥村 弘	～H26. 3. 31
経済関係資料 電子化部会	副館長（法）	大塚 裕史	部会長
	経済・准教	橋野 知子	～H26. 3. 31
	文・准教	河島 真	～H26. 3. 31
	研究所・講師	高槻 泰郎	～H26. 3. 31
学内研究成果 電子化部会	副館長（工）	西野 孝	部会長
	農・教授	前藤 薫	～H26. 3. 31
	国協・教授	木村 幹	～H26. 3. 31
	バイオ・准教	向井 秀幸	～H26. 3. 31
（部会に属さず）	基盤セ・教授	鳩野 逸生	～H26. 3. 31

<附属図書館大学文書史料室運営会議委員名簿>

	所 属 等	職名	氏 名	任 期 等
議長 1号委員	館長・理学研究科	教授	樋口 保成	H23. 4. 1～H25. 3. 31
室長 2号委員	副館長・法学研究科	教授	大塚 裕史	H23. 4. 1～H25. 3. 31
室員 3号委員	大学文書史料室	講師	野邑理栄子	H23. 4. 1～H25. 3. 31
4号委員	附属図書館	事務部長	山田 周治	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	人間発達環境学研究科	教授	船寄 俊雄	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	農学研究科	教授	金子 治平	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	人文学研究科	准教授	河島 真	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	総務部総務課	専門員	中野下 勉	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	企画部社会連携課	情報公開 係長	影山 廣道	H23. 4. 1～H25. 3. 31

事 項	平成24年度 当初予算額	平成24年度 予算(増減)	平成24年度 最終予算額	平成24年度 支 出 額	比較増減	摘 要
経常運営費						
備品・消耗品費	8,100		8,100	11,193	△ 3,093	備品類、事務用品、図書館用品、用紙類、電算用品、蛍光灯類、P C更新、整備付納品消耗品費、中山正實作「壁画青春」及び「壁画青春」画稿デジタル化 人間科学図書館：貴重書キャビネット、自動貸出引出付台 海事科学分館グループ学習室整備 《机、椅子、ホワイトボード、掃除機、ごみ箱》、その他
事務用図書費	600		600	566	33	事務用図書、事務用雑誌
印刷製本費	700		700	779	△ 79	利用案内、督促用封筒
光熱水料	23,777	106	23,883	24,199	△ 316	電気代、ガス代、上下水道、【生協光熱水料の組替(106)】
通信運搬費	7,620		7,620	7,110	509	切手代、郵便料、電話料、学内資料搬送、メール便、その他
借料及び損料	3,550		3,550	3,699	△ 149	複写機、タクシー
雑役務等諸経費	36,620		36,620	35,427	1,192	EV保守、特高設備保守、廃棄物処理、清掃請負、警備請負、各種営繕、備品修理、消防設備保守、空調保守、電話交換、水槽設備清掃、諸会費、雑費、蔵書点検経費 施設・設備整備等 《総合・国際文化学図書館：雑誌架等組替移動・防犯カメラ修理、自然科学系図書館：書庫除湿機設置・トイレ感知式照明更新、保健科学図書室：雑誌閲覧室空調機更新・雑誌閲覧室扉更新・書庫用書架増設、海事科学分館：防犯カメラ増設・グループ学習室空調機更新・非常口鍵取替、経済経営研究所図書館：書庫除湿機設置》
非常勤職員給与等	89,000		89,000	87,629	1,370	
電子計算機維持経費	50		50	50	0	情報基盤センター利用負担金
職員旅費	1,400		1,400	1,385	14	会議・研修会・講習会旅費、バス地下鉄私鉄カード
施設面積調整額施設状況変動分	0	69	69	0	69	【平成24年度施設状況変動分として追加配分(69)】
小 計	171,417	175	171,592	172,041	△ 449	
経常事業費						
時間外開館経費	20,000	174	20,174	18,778	1,395	
外部委託経費	8,400		8,400	8,239	160	
開館要員(学生)賃金	11,600	174	11,774	10,539	1,234	【国際文化学部から組替(174)】
電子図書館事業	15,000		15,000	15,882	△ 882	
外部委託経費(コンテンツ作成)	1,950		1,950	1,973	△ 23	震災関係資料、経済関係資料の電子化
外部委託経費(学術成果リポジトリ)	800		800	926	△ 126	リポジトリに登録する学術成果の電子化、貴重資料の整備保存と電子化
外部委託経費(遊及入力)	6,000		6,000	5,311	688	
リンクリゾルバ維持経費	2,200		2,200	2,157	42	
アルバイト経費	4,000		4,000	5,481	△ 1,481	
消耗品費	50		50	31	18	
その他事業費	1,000		1,000	876	123	
展示会経費	1,000		1,000	876	123	「浄土寺縁起」修復
図書館資料費	96,500	1,150	97,650	94,867	2,782	
学生用資料費	60,000	1,150	61,150	61,165	△ 15	【業務改善経費から組替(1,150)】
震災文庫資料費	500		500	395	104	
外国雑誌センター館経費	35,000		35,000	29,571	5,428	
電子的情報基盤資料整備経費	1,000		1,000	3,735	△ 2,735	
製本費	10,000	3,240	13,240	12,844	395	【業務改善経費から組替(3,240)】
業務改善経費	6,120	△ 4,390	1,730	2,052	△ 322	
雑誌製本業務	3,240	△ 3,240	0	0	0	【製本費に組替(3,240)】
目録登録業務	2,880	△ 1,150	1,730	2,052	△ 322	【学生用資料費に組替(1,150)】 自然科学系図書館：研究室貸出図書用書架、海事科学分館：自動貸出装置更新
附属図書館長裁量経費	11,115		11,115	19,582	△ 8,467	人文科学図書館改修に伴う整備 《ヒロティ増築・給排水主管改修、2階集密書架新設、木金混合書架新設、A棟集密書架解体・撤去、流し台、浄水器》 総合・国際文化学図書館ミニcommons整備 《机、椅子、ホワイトボード、ディスプレイ、iPad、展示架》 自然科学系図書館ミニcommons整備 《机、椅子、ソファ、ホワイトボード、スクリーン、パンフレット台、掲示板、iPad、書架、コーナーサイン》
小 計	159,735	174	159,909	164,885	△ 4,976	
運営費＋事業費	331,152	349	331,501	336,927	△ 5,425	
電算機借料						
図書館システム	64,223		64,223	64,222	0	情報化推進経費
小 計	64,223	0	64,223	64,222	0	
大学文書史料室						
管理運営経費	7,500		7,500	7,500	0	
小 計	7,500	0	7,500	7,500	0	
経常経費 計	402,875	349	403,224	408,649	△ 5,425	

事 項	平成24年度 当初予算額	平成24年度 予算(増減)	平成24年度 最終予算額	平成24年度 支 出 額	比較増減	摘 要
臨時的経費						
教育研究基盤資料整備費	283,000		283,000	283,000	0	外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベースの維持及び整備のための経費
教育研究設備維持運営費	5,200	△ 170	5,029	5,029	0	人文科学図書館：入退館システム導入、【残金返納(170)】
教育基盤強化支援経費：障害学生	0	1,117	1,117	1,117	0	海事科学分館：身障者用トイレ改修
営繕事業費(施設部営繕事業)	0	1,250	1,250	1,250	0	海事科学分館：身障者用玄関前スロープ拡幅改修、身障者用トイレ改修不足分
営繕事業費(施設部営繕事業)	0	5,647	5,647	5,647	0	保健科学図書室・海事科学分館：エコ推進事業による照明設備更新
障害学生教育支援経費						車椅子用電動昇降式トイレ10台及び拡大読書器9台
運営費交付金(特別経費等)	4,701		4,701	4,701	0	
間接経費	552		552	552	0	
人文科学図書館改修						
移転費	9,993		9,993	10,799	△ 806	人文科学図書館：図書館・事務室移転作業費、iMac移設、ネットワーク移設、電話移設、監視カメラ取り外し経費、仮事務室復旧
建物新営設備費	4,380		4,380	4,893	△ 513	人文科学図書館：1階集密書架新設、2階集密書架レール設置
営繕関係費	0	645	645	645	0	人文科学図書館：監視カメラ取付費、流し台工事費
施設整備費補助金	0	1,869	1,869	1,869	0	人文科学図書館：館内サイン
共同研究費間接経費	0	6,000	6,000	6,000	0	人文科学図書館ラーニングcommons整備 《間仕切り室内工事、机、椅子、ホワイトボード、プロジェクタ、スクリーン、教壇、展示架、A V機器、スタンドサイン、パンフレット架》
ビジョン推進経費	0	861	861	861	0	社会科学系図書館：外壁調査
グローバル人材育成推進事業	0	2,706	2,706	2,706	0	【予算(2,810)、残金返納(103)】
SciFinder 利用者負担金	3,720		3,720	3,720	0	受益者負担
前年度繰越分	1,546		1,546		1,546	
小 計	313,092	19,927	333,019	332,793	226	
その他の臨時的経費						
収入確保インセンティブ経費	0	6,972	6,972	2,766	4,205	ILL文献複写相殺
教員等館内複写料金	0	2,223	2,223	0	2,223	
小 計	0	9,195	9,195	2,766	6,429	
外部資金						
山口藍子奨学寄付金	675		675	675	0	山口文庫資料購入
小 計	675	0	675	675	0	
臨時的経費 計	313,767	29,123	342,891	336,235	6,655	

図書館セグメント 計	716,642	29,472	746,115	744,884	1,230
------------	---------	--------	---------	---------	-------

* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません

平成24年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

単位:千円

館 室 名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	電子的情報 基盤資料整 備経費	教育研究基盤資料 整備費	計 ***
	予算額 *	決算額 *	比較増減	図書購入冊数				** 電子ジャーナル等	
総合図書館	17,937	18,036	△ 99	4,739			3,735	283,000	304,772
社会科学系図書館	10,132	10,131	0	3,375	395	29,571			40,098
自然科学系図書館	12,943	12,943	0	3,091					12,943
人文科学図書館	2,567	2,766	△ 199	299					2,766
国際文化学図書館	2,486	2,585	△ 99	402					2,585
人間科学図書館	3,129	3,378	△ 249	1,959					3,378
経済経営研究所図書館	1,000	1,011	△ 11	190					1,011
医学分館	4,062	4,562	△ 500	845					4,562
保健科学図書室	2,735	2,739	△ 4	1,110					2,739
海事科学分館	3,009	3,008	0	1,720					3,008
小 計	60,000	61,165	△ 1,165	17,730	395	29,571	3,735	283,000	377,867

注* 図書の他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

注** 電子ジャーナル経費・外国雑誌購読料補填経費

注*** これ以外に、電子コンテンツ作成費 2,498千円がある

(部局セグメント)

単位:千円

館 室 名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	990	1,800	2,790
社会科学系図書館	110,292	17,719	128,011
自然科学系図書館	7,546	26,988	34,535
人文科学図書館	8,225	4,658	12,884
国際文化学図書館	5,347	9,474	14,821
人間科学図書館	5,900	7,960	13,861
経済経営研究所図書館	19,886	145	20,031
医学分館	25,180	1,433	26,614
保健科学図書室	6,999	948	7,948
海事科学分館	6,699	573	7,273
計	197,070	71,704	268,774

(部局セグメント)

単位:千円

館 室 名	補助金等による購入				
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計
総合図書館	461	0	0	4,637	5,099
社会科学系図書館	36,927	1,764	103	6,481	45,276
自然科学系図書館	11,087	1,310	3,125	305	15,829
人文科学図書館	7,068	481	200	763	8,513
国際文化学図書館	5,361	0	0	155	5,516
人間科学図書館	3,488	208	183	267	4,147
経済経営研究所図書館	869	353	0	80	1,302
医学分館	1,150	3,635	3,286	1,437	9,510
保健科学図書室	554	100	27	81	764
海事科学分館	1,381	0	0	136	1,518
計	68,350	7,854	6,927	14,347	97,479

単位:千円

合計
312,662
213,386
63,307
24,165
22,924
21,388
22,345
40,687
11,452
11,801
744,120

* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません

平成24年度附属図書館活動日誌

<4月>

- 5 (木) ～ 11 (水) 図書館ツアーガイドンス <於：人文科学図書館>
 6 (金) 入学式 <於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長>
 9 (月) 留学生オリエンテーション <於：六甲ホール>
 9 (月) ～ 10 (火) 神戸大学新任教職員研修
 <於：理学研究科棟 講師：サービス課長・室員 受講：2名>
 9 (月) ～ 13 (金) 図書館ツアーガイドンス <於：総合・国際文化学図書館>
 9 (月) ～ 13 (金) 図書館ツアーガイドンス <於：人間科学図書館>
 9 (月) ～ 13 (金) 図書館ツアーガイドンス <於：保健科学図書室>
 11 (水) ～ 13 (金) 図書館ツアーガイドンス <於：社会科学系図書館>
 11 (水) ～ 24 (火) 図書館ツアーガイドンス <於：海事科学分館>
 13 (金) 「震災文庫」見学：いわき明星大学より1名来室
 16 (月) オーダーガイドンス <於：情報基盤センター分館・自然科学系図書館>
 16 (月) ～ 20 (金) 図書館ツアーガイドンス <於：自然科学系図書館>
 17 (火) 兵庫県大学図書館協議会 役員会・企画委員会合同会議
 <於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他>
 18 (水) 「震災文庫」見学：愛知県立大学他5名来室
 23 (月) 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会
 <於：京都大学 出席：部長・管理課長>
 国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務部長懇談会
 <於：京都大学 出席：管理課長>
 国立大学図書館協会近畿地区協会 総会
 <於：京都大学 出席：館長・部長・両課長>
 23 (月) ～ 27 (金) 図書館ツアーガイドンス <於：医学分館>
 24 (火) オーダーガイドンス <於：情報基盤センター分館>
 28 (土) 大学教育改革地域フォーラム <於：関西国際大学 出席：管理課長>

<5月>

- 2 (水) オーダーガイドンス <於：社会科学系図書館>
 8 (火) ～ 10 (木) 兵庫県下教育機関事務系職員(新規採用者)研修
 <於：国立淡路青少年交流の家 受講：1名>
 9 (水) 第1回人間科学図書館 図書委員会
 共通教育「情報基礎」授業開始
 社会科学系図書館取材：自然総研
 11 (金) 目録システム／ILLシステム講習会 地域担当者説明会
 <於：国立情報学研究所 出席：目録情報係長>
 14 (月) 神戸大学創立百十周年記念式典・祝賀会 記念式典
 <於：ポートピアホテル 出席：館長・部長・両課長>
 「震災文庫」見学：人と防災・未来センター1名来室
 目録システム／ILLシステム講習会(図書) 講師ガイドンス
 <於：国立情報学研究所 受講：1名>
 16 (水) 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
 <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐(海事)>

- 17 (木) 外国雑誌センター館会議
 <於：一橋大学 出席：部長・管理課長・雑誌情報係長>
- 18 (金) 第1回自然科学系図書館 図書委員会
 日本医学図書館協会 近畿地区会例会
 <於：兵庫医科大学 出席：サービス課長補佐(医学)>
- 20 (日) 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第一次試験
- 21 (月) 兵庫県大学図書館協議会 企画委員会 <於：神戸学院大学
 出席：部長・両課長 他>
- 電子情報セミナー in 関西学院大学 2012
 <於：関西学院大学 参加：4名>
- 22 (火) 第1回海事科学分館 図書委員会
- 23 (水) 第1回附属図書館 研究開発室会議 <於：社会科学系図書館>
 「SPEEDA」操作説明会 <於：社会科学系図書館>
 目録システム／ILLシステム講習会(雑誌) 講師ガイダンス
 <於：国立情報学研究所 受講：1名>
- 23 (金)～24 (木) 日本医学図書館協会 第83回通常総会
 <於：日本科学未来館 出席：サービス課長補佐(医学)>
- 28 (月) 第1回附属図書館大学文書史料室運営会議 <於：社会科学系図書館>
- 29 (火) 第1回医学分館 図書委員会
 大和ハウスCM撮影 <於：社会科学系図書館>
- 30 (水) 第1回社会科学系図書館 図書委員会
 第1回人文科学図書館 図書委員会
- 31 (木) オーダーガイダンス <於：海事科学研究科>
- <6月>**
- 4 (月) 第1回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
- 5 (火)～6 (水) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：自然科学系図書館>
- 7 (木) 第1回附属図書館 運営委員会 <於：社会科学系図書館>
 Web of Science 操作説明会 <於：自然科学系図書館>
 国立公文書館・実務担当者による意見交換会
 <於：秋葉原コンベンションホール 出席：室員>
- 8 (金) 「国際アーカイブスの日」記念講演会・全国公文書館長会議
 <於：秋葉原コンベンションホール 出席：室員>
- 11 (月) オーダーガイダンス(SciFinder 授業) <於：情報基盤センター分館>
- 12 (火) 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会 <於：大阪府立大学
 出席：部長・サービス課長・サービス課長補佐(海事)>
- CSI 委託事業報告交流会(コンテンツ系)
 <於：国立情報学研究所 参加：1名>
- 13 (水) 第1回国際文化学図書館 図書委員会
 SciFinder 説明会 <於：情報基盤センター分館>
- 19 (火) 台風接近による暴風警報発令のため全館12時より臨時閉館
- 21 (木) 第59回国立大学図書館協会総会
 <於：ANAクラウンプラザホテル 神戸大当番館>
- 22 (金) 第8回国立大学図書館協会マネジメントセミナー
 <於：神戸大学六甲台講堂 神戸大当番館>

- 22 (金) ～ 7月2日 第2回人間科学図書館 図書委員会(メール回議)
 25 (月) 公文書管理法制セミナー <於：全国町村議員会館 受講：室員>
 26 (火) オーダーガイダンス <於：国際協力研究科>
 大学文書史料室見学：兵庫医科大学2名来室
 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
 <於：大阪大学 出席：サービス課長補佐(海事)>
 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第1次試験合格発表
 27 (水) 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 機関訪問
 <於：社会科学系図書館>
 第1回経済経営研究所図書館 図書委員会
 日経テレコン21操作説明会 <於：社会科学系図書館>
 学術情報ソリューションセミナー in 大阪
 <於：ヒルトンプラザウエスト 受講：1名>
 28 (木) ～ 29 (金) 大学図書館近畿イニシアティブ 「初任者研修」 <於：大阪大学
 研修実施要員：サービス課長補佐(海事) 受講：4名>
 29 (金) 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 機関訪問
 <於：社会科学系図書館>

<7月>

- 1 (日) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 専門試験
 <於：京都大学 出席：部長・両課長>
 2 (月) ～ 13 (金) 大学図書館職員長期研修 <於：筑波大学 受講：1名>
 3 (火) ～ 6 (金) 第2回附属図書館 運営委員会(メール回議)
 4 (水) Web of Science(社会・人文科学分野) 操作説明会
 <於：社会科学系図書館>
 4 (水) ～ 6 (金) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 面接
 <於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他>
 5 (木) オーダーガイダンス <於：海事科学研究科>
 9 (月) 「大学文書史料室」見学：筑波大学より1名来室
 10 (火) オーダーガイダンス <於：情報基盤センター分館>
 17 (火) ～ 18 (水) 国立大学法人等部課長級研修
 <於：国立情報学研究所 受講：サービス課長>
 18 (水) ～ 20 (金) NACSIS-CAT/ILL ワークショップ
 <於：国際高等セミナーハウス(軽井沢) 参加：1名>
 20 (金) 「大学文書史料室」見学：武庫川女子大学より1名来室
 25 (水) 第1回保健科学図書室 図書委員会
 26 (木) Mendeley(機関版)説明会 <於：自然科学系図書館>
 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
 <於：大阪大学 出席：サービス課長補佐(海事)>
 データベース・ワークショップ(紀伊國屋書店主催)
 <於：ラマダホテル大阪 参加：2名>
 27 (金) 兵庫県大学図書館協議会総会 <於：神戸学院大学
 出席：館長・部長・両課長・管理課長補佐(社会)・企画係長>

<8月>

1 (水) ~ 2 (木)	東日本大震災被災地調査・研究会 <於：盛岡市 参加：管理課長>
1 (水) ~ 3 (金)	学術ポータル担当者研修 <於：名古屋大学 受講：1名> 目録システム講習会(雑誌コース) <於：九州大学 講師1名派遣>
6 (月) ~ 7 (火)	人文科学図書館 改修に伴う事務室移転作業のため臨時休館
7 (火)	オーダーガイダンス <於：保健科学図書室> 全国遺跡資料リポジトリプロジェクト担当者連絡・調整会議 <於：大阪大学 出席：1名>
9 (木)	Web of Science アップデート・セミナー <於：アクセス梅田フォーラム 参加：1名>
10 (金)	社会科学系図書館見学：奈良県立畝傍高校より生徒1名来館
10 (金) ~ 17 (金)	保健科学図書室 休館(臨時休業と夏季一斉休業)
13 (月) ~ 15 (水)	夏季一斉休業
16 (木) ~ 17 (金)	海事科学分館、大学文書史料室 休館(臨時休業)
16 (木) ~ 21 (月)	経済経営研究所図書館 休館(臨時休業)
16 (木) ~ 24 (金)	人文科学図書館 休館(臨時休業と改修に伴う停電) 人間科学図書館 休館(臨時休業と館内整理)
20 (月)	アプリケーションソフトウェア研修(エクセル応用編) <於：百年記念館 受講：1名>
21 (火) ~ 22 (水)	アプリケーションソフトウェア研修(アクセス基礎編) <於：百年記念館 受講：1名>
22 (水)	監事監査 <於：社会科学系図書館> 第21回京都図書館大会「図書館のPR力を高める図書館の魅せ方」 <於：国立国会図書館関西館 参加：3名>
22 (水) ~ 24 (金)	目録システム講習会(雑誌コース) <於：大阪市立大学 受講：1名 講師1名派遣>
23 (木)	学術ポータル担当者研修 <於：国立情報学研究所 受講：1名>
24 (金)	監事監査 <於：海事科学分館> 外国雑誌センター館打合せ <於：一橋大学 参加：管理課長、雑誌情報係長>
27 (月)	アプリケーションソフトウェア研修(パワーポイント編) <於：百年記念館 受講：1名>
29 (木)	監事監査 <於：医学分館>
31 (金)	ILLシステム講習会 <於：大阪大学 受講：1名>

<9月>

3 (月) ~ 7 (金)	第2回海事科学分館 図書委員会(メール回議)
4 (火)	古文書合宿事前指導 <於：文学部 参加：管理課長他1名>
5 (水)	学内会計監査 <於：社会科学系図書館>
5 (水) ~ 7 (金)	図書館等職員著作権実務講習会 <於：京都大学 受講：3名> 研修ーコーチングで変える大学図書館ー <於：京都工芸繊維大学 受講：1名>
6 (木) ~ 7 (金)	DRF 機関リポジトリ新任担当者研修 <於：岡山大学 講師1名派遣>
6 (木) ~ 8 (土)	古文書合宿 <於：篠山フィールドステーション 参加：管理課長>
7 (金)	Ex Libris 社製品セミナーEx Libris ソリューションデイ

1 1 (火) ～ 1 4 (金)	＜於：慈慶医療科学大学院大学 参加：2名＞
1 2 (水)	第2回社会科学系図書館 図書委員会（メール回議）
1 4 (金)	第2回経済経営研究所図書館 図書委員会
	JUSTICE 版元説明会
1 8 (火)	＜於：関西学院大学 参加：管理課長、雑誌情報係長＞
1 8 (火) ～ 1 9 (水)	学内会計監査 ＜於：自然科学系図書館＞
1 9 (水) ～ 2 1 (金)	海事科学分館 休館（臨時休業）
2 1 (金)	目録システム講習会 ＜於：国際協力研究科 受講：5名 聴講：1名＞
	DRF 地域ワークショップ（近畿地区）
2 4 (月)	＜於：神戸松蔭女子学院大学 講師1名派遣 聴講：4名＞
2 4 (月) ～ 2 5 (火)	衛生管理者のための安全管理研修 ＜於：工学部 受講：3名＞
2 5 (火)	第3回人間科学図書館 図書委員会（メール回議）
	大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
2 6 (水) ～ 2 8 (金)	＜於：関西福祉科学大学 出席：サービス課長補佐（海事）＞
	機関リポジトリ中堅担当者研修 ＜於：国立女性教育会館 受講：1名＞
2 7 (木)	第3回附属図書館 運営委員会（メール回議）
	「韓国の図書館の最新事情」報告会
3 0 (日)	＜於：社会科学系図書館 講師：稲葉前情報管理課長＞
	台風接近による暴風警報発令のため臨時閉館（社会科学系図書館）

＜10月＞

2 (火) ～ 5 (金)	大学図書館職員短期研修 ＜於：京都大学 受講：3名＞
4 (木) ～ 2 3 (火)	人文科学図書館 改修に伴い臨時休館
5 (金)	灘区民まちづくり会議・神戸大学キャンパスツアー、見学
	＜於：「大学文書史料室」、「震災文庫」、社会科学系図書館＞
7 (日)	日本地理学会秋期大会開催に伴い震災文庫臨時開室
1 1 (木)	第2回国際文化学図書館 図書委員会
1 2 (金)	留学生オリエンテーション ＜於：六甲ホール＞
1 7 (水)	第2回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 ＜於：社会科学系図書館＞
1 8 (木)	第4回附属図書館 運営委員会 ＜於：社会科学系図書館＞
	兵庫県立男女共同参画センター設立 20 周年記念フォーラム
	＜於：神戸クリスタルタワー 参加：1名＞
1 8 (木) ～ 1 9 (金)	DRF 機関リポジトリ新任担当者研修 ＜於：NII 受講：1名＞
1 9 (金)	私大図協京都地区協議会研究会 ＜於：天理大学 参加：3名＞
	NHK「月刊ラジオ深夜便」社会科学系図書館、「震災文庫」取材
1 9 (金) ～ 1 2 月 1 8 日	資料展「開学のころ ～110 Years Ago～」
	＜於：社会科学系図書館 主催：附属図書館＞
2 2 (月)	社会系図書館見学：大阪府立豊中高校 PTA
2 2 (月) ～ 2 6 (金)	第2回医学分館 図書委員会（メール回議）
2 3 (火)	兵庫県大学図書館協議会研究会：図書館員と教員、学生との連携を考える
	＜於：関西学院大学 参加：5名＞
2 4 (水)	NHK神戸放送局、神戸新聞、神戸大学史特別展取材
	＜於：大学文書史料室＞
2 4 (水) ～ 2 5 (木)	国立大学協会近畿地区支部「中堅職員研修」

	＜於：大阪大学 受講：1名＞
24（水）～26（金）	学術情報リテラシー教育担当者研修 ＜於：大阪大学 受講：2名＞
24（水）～11月2日	神戸大学史特別展「神戸大学110年の歩み」 ＜於：百年記念館1階展示ホール 主催：大学文書史料室＞
25（木）	読売新聞 資料展「開学のころ」取材 ＜於：社会科学系図書館＞
26（金）	附属中等教育学校4年生「課題研究」授業における来館利用 ＜於：総合・国際文化学図書館＞ 図書館国際セミナー「ディスカバリーサービスと未来の図書館システム」 ＜於：キャンパスプラザ京都 参加：1名＞
27（土）	第7回神戸大学ホームカミングデー ＜於：六甲台 社会科学系図書館・展示会・震災文庫 見学受入＞ 産経新聞、神戸大学史特別展取材 ＜於：大学文書史料室＞
31（水）	館長と学生との懇談会 ＜於：社会科学系図書館＞
31（水）～11月1日	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：自然科学系図書館＞

＜11月＞

2（金）	Web of Science 操作説明会 ＜於：自然科学系図書館＞
5（月）～9（金）	トライやる・ウィーク 神戸市立上野中学校（2名） ＜於：社会科学系図書館＞
8（木）	会計監査法人による期中監査
9（金）	雑誌論文の探し方（国内編） ＜於：海事科学研究科＞ 年次計画等に関するヒアリング ＜於：本部事務局＞
12（月）～16（金）	トライやる・ウィーク 神戸市立鷹匠中学校（2名） ＜於：社会科学系図書館＞
12（月）～25（日）	人文科学図書館 書架設置及び移転作業に伴い臨時休館
14（水）	労働契約法改正に伴う説明会 ＜於：瀧川学術交流会館 参加：2名＞
14（水）～15（木）	学内会計事務研修 ＜於：理学研究科 受講：1名＞
15（木）	全国遺跡資料リポジトリ・シンポジウム ＜於：大阪大学 参加：1名＞
16（金）	学生選書ツアー ＜於：ジュンク堂書店三宮店＞
20（火）	日経テレコン21操作説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
20（火）～22（木）	第14回図書館総合展 ＜於：パシフィコ横浜 出張：5名＞
21（水）～22（木）	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：社会科学系図書館＞
26（月）	大学図書館電子学術書共同利用実験第1回全体会 ＜於：慶應義塾大学 出席：サービス課長、雑誌情報係長＞
27（火）	コーチング（課長級・課長補佐級）研修 ＜於：人文学研究科 受講：管理課長＞ 雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：発達科学部＞
27（火）～12月12日	神戸大学史巡回展「神戸大学110年の歩み」パネル展 ＜於：アカデミア館 主催：大学文書史料室＞
28（水）	第1回係長会議 ＜於：社会科学系図書館＞ 第2回保健科学図書室 図書委員会 PsycINFO/PsycARTICLES 説明会 ＜於：発達科学部＞
29（木）	コーチング（課長級・課長補佐級）研修 ＜於：人文学研究科 受講：サービス課長、補佐1名＞

- 「大学文書史料室」見学：一橋大学江夏館長他2名来室
雑誌論文の探し方（国内編・海外編）＜於：発達科学部＞
30（金）人文科学図書館 入退館ゲート設置工事に伴い臨時休館
メンタルヘルスマネジメント試験対策セミナー及び検定試験
＜於：瀧川学術交流会館 受講：サービス課長、補佐1名、係長1名＞
マッチラベルコレクション受贈 ＜於：館長室＞
30（金）～12月7日 第2回保健科学図書室 図書委員会（メール回議）

<12月>

- 4（火）～5（水）雑誌論文の探し方（国内編・海外編）＜於：保健科学図書室＞
5（水）第3回国際文化学図書館 図書委員会
5（水）～8（土）韓国海洋大学校への研修出張 ＜出張者：館長他2名＞
6（木）CINAHL説明会 ＜於：保健科学図書室＞
大阪大学職員研修 ＜於：大阪大学 講師1名派遣 参加：2名＞
大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
＜於：近畿大学 出席：サービス課長補佐（海事）＞
7（金）国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務長懇談会
＜於：国立民族学博物館 出席：管理課長＞
国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会
＜於：国立民族学博物館 出席：部長・両課長＞
13（木）第5回附属図書館大学文書史料室運営会議 ＜於：社会科学系図書館＞
機関リポジトリ担当者のための著作権ワークショップ
＜於：大阪大学 講師1名派遣＞
14（金）救急講習会 ＜於：保健管理センター 参加：1名＞
17（月）神戸大学若手職員研修 ＜於：神大会館 受講：3名＞
17（月）～20（木）第5回附属図書館 運営委員会（メール回議）
18（火）若手研究者のための英語論文セミナー（共催 Springer 社）
＜於：六甲ホール＞
京都大学図書館機構講演会 ＜於：京都大学 参加：2名＞
20（木）神戸大学情報基盤センターシンポジウム
＜於：六甲ホール 聴講：8名＞
21（金）施設キャラバン ＜於：社会科学系図書館
出席：館長・部長・両課長・管理課長補佐（社会）・管理係長＞
電子学術書共同実験モニター説明会
＜於：社会科学系図書館、自然科学系図書館 各1回実施＞
22（土）人文科学図書館 書架撤去作業に伴い臨時休館
海事科学分館 停電に伴い臨時休館
27（木）保健科学図書室、大学文書史料室 休館（臨時休業）
28（金）海事科学分館を除き休館（臨時休業）

<1月>

- 4（金）医学分館と保健科学図書室を除き休館（臨時休業）
10（木）毎日新聞社、震災文庫取材

11 (金)	第3回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館> 読売テレビ、震災文庫取材
15 (火)	第6回附属図書館 運営委員会 <於：社会科学系図書館>
16 (水)	神戸大学広報研修会 <於：瀧川学術交流会館 参加：3名>
18 (金)	『KOBE university STYLE』のための写真撮影 <於：社会科学系図書館>
18 (金)～2月7日	資料展「開学のころ ～110 Years Ago～」オープンアカデミー巡回展 <於：アカデミア館オープンアカデミー 主催：附属図書館>
24 (木)	国立大学図書館協会学術情報流通セミナー <於：東京大学 参加：部長>
31 (木)	大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会 <於：関西福祉科学大学 出席：サービス課長補佐(海事)>

<2月>

4 (月)	会計監査法人による期中監査 目録システム／ILL システム講習会担当学会議 <於：国立情報学研究所出席：目録情報係長>
5 (火)、7 (木)	オーダーガイダンス <於：保健科学図書室>
8 (金)	概算要求(特別経費)及び事業計画に関するヒアリング <於：本部事務局>
12 (火)～21 (木)	神戸大学史巡回展「神戸大学 110 年の歩み」パネル展 <於：神戸大学東京六甲クラブ 主催：大学文書史料室>
14 (木)	「情報基礎」担当教員との打合せ <於：自然科学系図書館> コーチングフォローアップ(課長級・課長補佐級)研修 <於：人文学研究科 受講：サービス課長>
15 (金)	コーチングフォローアップ(課長級・課長補佐級)研修 <於：人文学研究科 受講：管理課長、補佐1名>
15 (金)～28 (木)	第3回保健科学図書室 図書委員会(メール回議)
19 (火)	阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する研究会 <於：人と防災未来センター 参加：管理課長>
20 (水)	六甲台1団地6部局合同・自衛消防訓練 <於：六甲台1団地本館・六甲台正門前 参加：6名> 図書館業務外部委託の状況についての勉強会 <於：社会科学系図書館> 「震災文庫」見学：日韓学生会議参加の日韓の学生23名 国大図協東京地区協会職員研修「未来の大学図書館」 <於：東京外国語大学 参加：1名>
21 (木)	大学文書史料室研修(室員勉強会)「歴史資料の裏打ち修復について」 <於：工房レストア 参加：大学文書史料室員4名、図書館職員3名> 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会 <於：関西大学 出席：部長・サービス課長・サービス課長補佐(海事)>
22 (金)	兵庫県大学図書館協議会研究会：大学図書館は電子書籍をどう取り扱うか <於：関西学院大学 参加：6名>
22 (金)～27 (水)	第3回社会科学図書館 図書委員会(メール回議)
23 (土)	前期入学試験に伴い休館(国際、社会、自然、人文、人間、保健、 海事)
25 (月)	前期入学試験に伴い休館(医学分館を除く)
26 (火)～27 (水)	人間科学図書館 前期入学試験に伴い休館
26 (火)～3月7日	第3回医学分館 図書委員会(メール回議)

- 27 (水) 図書館業務外部委託の状況についての勉強会 <於：社会科学系図書館>
平成24年度公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会講演会
<於：大阪市立大学 参加：2名>

<3月>

- 2 (土) 「近代建築探訪・神戸大学に残る国登録文化財を訪ねる」見学会
<於：社会科学系図書館 講師：大学文書史料室室長補佐
主催：神戸市教育委員会文化財課、神戸大学>
- 4 (月) 「震災文庫」見学：マレーシアからの研修チーム一行8名
- 4 (月)～8 (金) 第3回海事科学分館 図書委員会（メール回議）
- 5 (火)～8 (金) 海事科学分館 エコ対策照明工事に伴い臨時休館
- 6 (水) 第4回国際文化学図書館 図書委員会
第3回人文科学図書館 図書委員会
第5回人間科学図書館 図書委員会
- 6 (水)～13 (水) 第3回自然科学図書館 図書委員会（メール回議）
- 8 (金) 第2回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会
<於：社会科学系図書館 人文学研究科地域連携センターとの共催>
「震災文庫」見学：宮城県図書館の職員2名
「震災文庫」「大学文書史料室」見学：一橋大学の教員4名、
後期入学試験に伴い休館（医学分館を除く）
- 12 (火) 社会科学系図書館見学：附属明石小学校5年生約80名
- 13 (水) 水に濡れた古文書と壊れた古書の修復ワークショップ
<於：社会科学系図書館 参加：18名>
- 13 (水)～15 (金) 保健科学図書室 照明工事に伴い臨時休館
- 14 (木) Digital Archiveに関するワークショップ
<於：九州大学 講師1名派遣>
- 14 (木)～15 (金) 人文科学図書館 ラーニング・コモンズ什器搬入設置に伴い臨時休館
- 18 (月) 「震災文庫」見学：四川大学の教員1名
同志社大学学習支援・教育開発センター講演会
<於：同志社大学 参加：管理課長>
- 22 (金) 第4回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
第7回附属図書館 運営委員会 <於：社会科学系図書館>
- 25 (月) 大学図書館電子学術書共同利用実験シンポジウム
<於：慶應義塾大学 参加：サービス課長>
- 26 (火) 神戸大学学位授与式 <於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長>
- 27 (水) 社会科学系図書館自衛消防訓練